

The 69th National Convention of IPSJ
平成19年



第69回全国大会 大会案内 / プログラム

—情報処理は社会に何を与えるか?—

2007.3.6(火) ▶ 8(木)

会場：早稲田大学大久保キャンパス
東京都新宿区大久保3-4-1

《大会会期中》

Tel/Fax (03)5286-8085

《聴講参加費》(税込)

正会員3,000円 正会員(CD付)8,000円 非会員6,000円 学生無料

《講演論文集》(税込)

4冊セット(CD-ROM1枚付) 43,000円

分冊 9,000円

CD-ROM 7,000円

《懇親会参加費》(税込)

一般5,000円 学生3,000円

第69回全国大会スポンサー

とめ

株式会社とめ研究所



社団法人 情報処理学会

Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp/>

プログラム目次

会場案内図	1
早稲田大学周辺案内図／早稲田大学大久保キャンパス図	2
館内案内図	3
プログラム概要	6
講演論文集分類と内容	10
全国大会イベント企画／会場別プログラム	11
全国大会イベント企画概要	14
講演プログラム詳細	30

(第1分冊 アーキテクチャ)

1A ハイパフォーマンスコンピューティング (一般セッション)	30
2A システム LSI 設計技術 (1) (一般セッション)	30
3A システムソフトウェア構成法 (一般セッション)	30
4A システムの運用と性能評価 (一般セッション)	30
1K コンパイラとマルチスレッド (学生セッション)	30
2K 並列・分散処理アーキテクチャ (学生セッション)	30
3K ハイパフォーマンスコンピューティング (学生セッション)	30
4K プロセッサアーキテクチャと設計事例 (学生セッション)	31
5K OS 構成法 (学生セッション)	31
6K 分散システム構成法 (学生セッション)	31
1L システム LSI 設計技術 (2) (学生セッション)	31
2L 可視化 (学生セッション)	31

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

5A ビジネスプロセスと要求 (一般セッション)	31
6A 設計と品質保証 (一般セッション)	32
1B 数理モデルとプログラミング (一般セッション)	32
3L プログラミング (学生セッション)	32
4L プログラムの解析と保守 (学生セッション)	32
5L Web とサービス指向 (学生セッション)	32
6L ビジネスプロセスとモデル駆動開発 (学生セッション)	32
1M 進化的計算とバイオインフォマティクス (学生セッション)	32
2M 数理モデル化とその応用 (学生セッション)	33
3M アルゴリズム (学生セッション)	33
4M 要求と開発管理 (学生セッション)	33
5M 設計と開発支援環境 (学生セッション)	33

(第1分冊 データベースとメディア)

1D データベース実装, データベース応用 (一般セッション)	33
2D ブログ解析, XML (一般セッション)	33
3D 情報検索 (一般セッション)	33
4D Web サービス, システム, メディア処理 (一般セッション)	34
5D コンテンツ管理と著作権 (一般セッション)	34
1S コンテンツの作成と共有 (学生セッション)	34
2S コンテンツ応用とレコメンデーション (学生セッション)	34
3S Web サービスとセマンティック Web (学生セッション)	34
4S 地理情報処理とウェブ画像処理 (学生セッション)	34
5S XML, 先端 DB 応用 (学生セッション)	34
6S ユーザビリティ (学生セッション)	34
1T ウェブログ解析, ウェブデータ・クラスタリング (学生セッション)	35
2T 情報活用と権利保護 (学生セッション)	35
3T 分散処理 (学生セッション)	35
4T ソーシャルネットワーク (学生セッション)	35

5T 情報検索と Web (学生セッション)	35
6T 情報検索 (学生セッション)	36
デモセッション	36

(第2分冊 人工知能と認知科学)

2B 知識表現・オントロジー (一般セッション)	37
3B 画像処理・符号化 (一般セッション)	37
4B 画像処理・理解 (一般セッション)	37
5B 医用画像処理 (一般セッション)	37
6B 生体・視覚情報処理 (一般セッション)	37
1C 自然言語処理 (1) (一般セッション)	37
2C 自然言語処理 (2) (一般セッション)	37
3C 遺伝的アルゴリズム (一般セッション)	37
4C 音楽情報科学 (3) (一般セッション)	38
5C マルチエージェント (一般セッション)	38
6C ニューラルネット (一般セッション)	38
1N オントロジー・知識表現 (学生セッション)	38
2N 音楽情報科学 (1) 音楽理解 (学生セッション)	38
3N 音楽情報科学 (2) 検索・推薦 (学生セッション)	38
4N 遺伝的アルゴリズム (学生セッション)	38
5N 音楽情報科学 (4) 表現・音合成 (学生セッション)	39
6N 音楽情報科学 (5) 作曲・楽曲生成 (学生セッション)	39
1P 画像解析・合成 (学生セッション)	39
2P 画像分類・検索 (学生セッション)	39
3P 視覚インタフェース・視線分析 (学生セッション)	39
4P 追跡・監視 (学生セッション)	39
5P 顔画像処理 (学生セッション)	40
6P 3次元画像処理と GIS (学生セッション)	40
1Q ニューラルネット (学生セッション)	40
2Q ニューラルネット・人工生命 (学生セッション)	40
3Q 自然言語処理 (1) (学生セッション)	40
4Q 推論探索 (学生セッション)	40
5Q 音声対話 (学生セッション)	40
6Q 自然言語処理 (2) (学生セッション)	41
1R ロボット・学習 (学生セッション)	41
2R ロボット・コミュニケーション (学生セッション)	41
3R 画像処理・認識 (学生セッション)	41
4R マルチエージェントシステム (学生セッション)	41
5R マルチエージェント・Robocup (学生セッション)	41
6R ゲーム・エージェントモデル (学生セッション)	42
4ZB 自然言語処理システム (学生セッション)	42
5ZB 文, 文章の分類 (学生セッション)	42
6ZB 音響・音声認識・音声合成 (学生セッション)	42

(第3分冊 ネットワーク)

6D ネットワーク運用・制御・評価 (一般セッション)	43
1E モバイルコンピューティング (一般セッション)	43
2E モバイルネットワーク (一般セッション)	43
3E 分散システム (1) (一般セッション)	43
4E 分散システム (2) (一般セッション)	43
5E ITS (1) (一般セッション)	43
6E ITS (2) (一般セッション)	43
1U 分散システムと Web サービス (1) (学生セッション)	43
2U 分散システムと Web サービス (2) (学生セッション)	44
3U アドホックネットワーク (学生セッション)	44
4U ネットワーク運用・評価 (学生セッション)	44
5U ネットワーク制御 (学生セッション)	44
6U 情報家電とホームネットワーク (学生セッション)	44
1V ITS (学生セッション)	44
2V 歩行者ナビゲーション (学生セッション)	45

3V	位置情報システム (学生セッション).....	45
4V	センサネットワーク (1) (学生セッション).....	45
5V	センサネットワーク (2) (学生セッション).....	45
6V	センサネットワーク (3) (学生セッション).....	45
1W	P2P (学生セッション).....	45

(第3分冊 セキュリティ)

1F	セキュリティ (1) (一般セッション).....	46
2F	セキュリティ (2) (一般セッション).....	46
3F	セキュリティ (3) (一般セッション).....	46
4W	セキュリティ (1) (学生セッション).....	46
5W	セキュリティ (2) (学生セッション).....	46
6W	セキュリティ (3) (学生セッション).....	46
	デモセッション.....	47

(第4分冊 インタフェース)

4F	作業支援とインタフェース (一般セッション).....	48
5F	コミュニケーションとインタフェース (一般セッション).....	48
6F	マルチメディアインタフェース (一般セッション).....	48
1G	CG 応用 (一般セッション).....	48
2G	CG ヒューマン (2) (一般セッション).....	48
3G	グループウェア (一般セッション).....	48
1X	CG ヒューマン (1) (学生セッション).....	48
2X	描画と NPR レンダリング (学生セッション).....	49
3X	分析と可視化 (学生セッション).....	49
4X	仮想現実感 (学生セッション).....	49
5X	コミュニケーション支援 (学生セッション).....	49
6X	協調作業支援 (学生セッション).....	49
1Y	コミュニケーションとインタフェース (学生セッション).....	49
2Y	マルチメディアインタフェース (学生セッション).....	49
3Y	インタフェースデザインと評価 (学生セッション).....	50
4Y	感性情報と知的インタフェース (学生セッション).....	50
5Y	CG: 高速化と線・面 (学生セッション).....	50
6Y	反射と自然現象 (学生セッション).....	50
	デモセッション.....	50

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

4G	エンタテインメントコンピューティング (一般セッション).....	50
5G	教育支援システム (3) (一般セッション).....	50
6G	情報教育 (一般セッション).....	51
1H	情報システムの運用 (1) (一般セッション).....	51
2H	企業情報システム (一般セッション).....	51
3H	e ラーニング (1) (一般セッション).....	51
4H	災害情報システム (一般セッション).....	51
5H	情報システムと社会 (一般セッション).....	51
6H	情報システムの運用 (2) (一般セッション).....	52
1J	教育システム (1) (一般セッション).....	52
2J	教育システム (2) (一般セッション).....	52
3J	バイオと医療のインフォマティクス (一般セッション).....	52
1Z	教育支援システム (1) (学生セッション).....	52
2Z	教育支援システム (2) (学生セッション).....	52
3Z	エンタテインメントコンピューティング (ゲーム・ネットワーク・音楽) (学生セッション).....	53
4Z	エンタテインメントコンピューティング (ストーリーテリング) (学生セッション).....	53
5Z	e ラーニング (2) (学生セッション).....	53
6Z	e ラーニング (3) (学生セッション).....	53
1ZA	情報システムと組織・社会 (学生セッション).....	53
2ZA	情報システムと人間社会 (学生セッション).....	53
3ZA	災害・情報配信システム (学生セッション).....	54
4ZA	情報システムとインタラクション (学生セッション).....	54

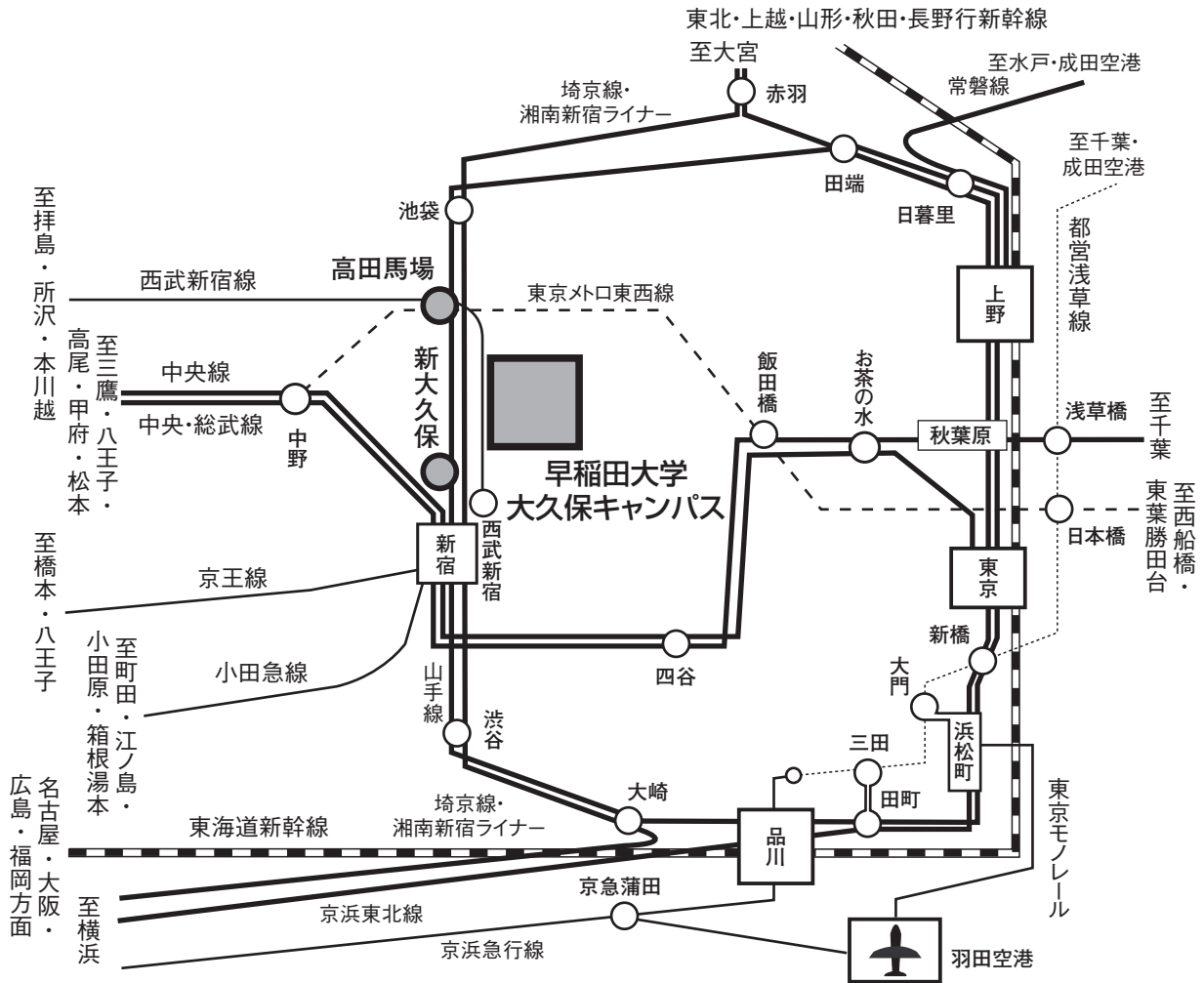
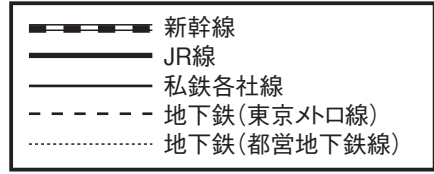
5ZA	情報システムの実例 (学生セッション).....	54
6ZA	教育システム (4) (学生セッション).....	54
1ZB	医療システム・インフォマティクス (学生セッション).....	54
2ZB	バイオインフォマティクス (学生セッション).....	55
3ZB	教育システム (3) (学生セッション).....	55
	デモセッション.....	55

会場案内図

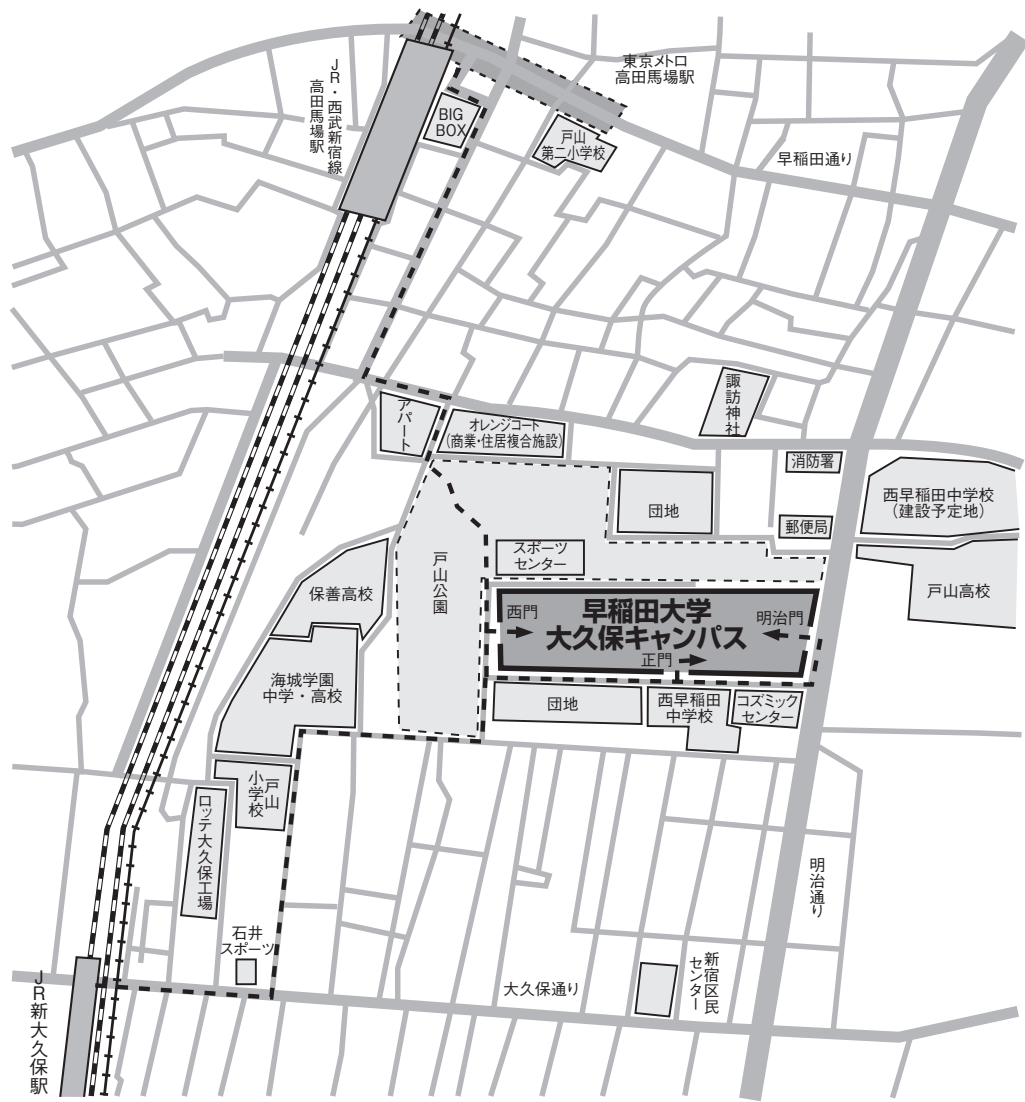
■電車[高田馬場駅 (JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線) → 徒歩約10分]
[新大久保駅 (JR山手線) → 徒歩約10分]

◎最寄駅までのアクセス

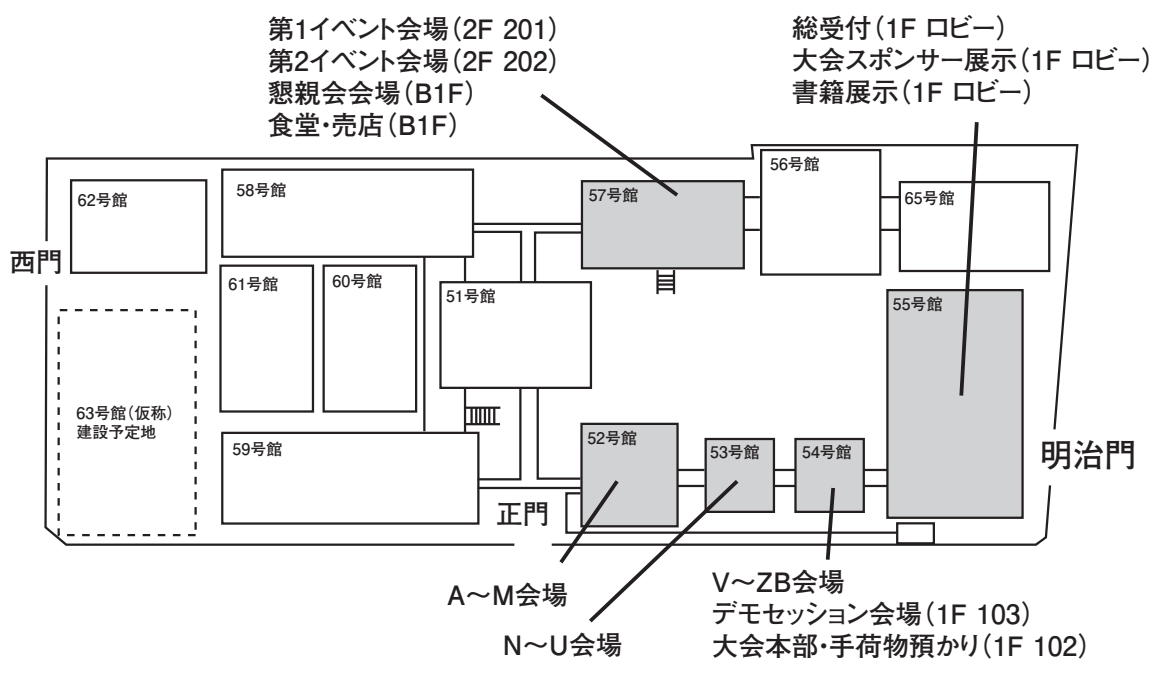
- ・東京駅 (JR中央線快速) → 新宿駅 (JR山手線) → 新大久保駅
- ・上野駅 (JR山手線) → 高田馬場駅
- ・池袋駅 (JR山手線) → 高田馬場駅
- ・羽田空港 (京浜急行線) → 品川駅 (JR山手線) → 新大久保駅
- ・横浜駅 (JR湘南新宿ライン) → 新宿駅 (JR山手線) → 新大久保駅



早稲田大学周辺案内図



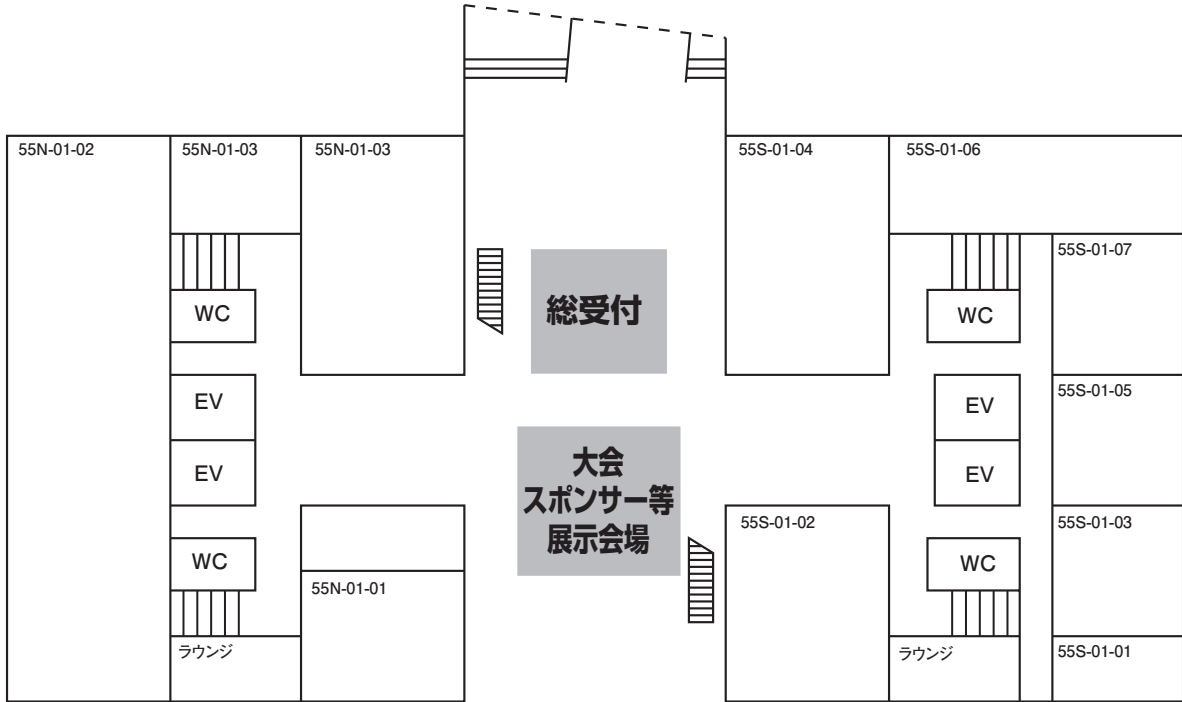
早稲田大学大久保キャンパス図



館内案内図

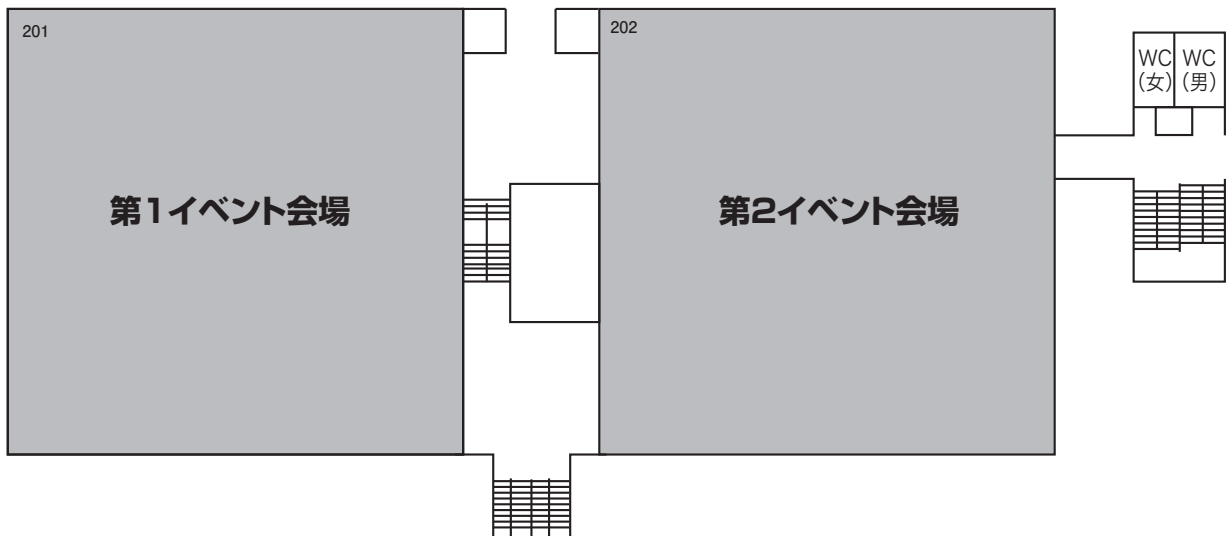
55号館

1F



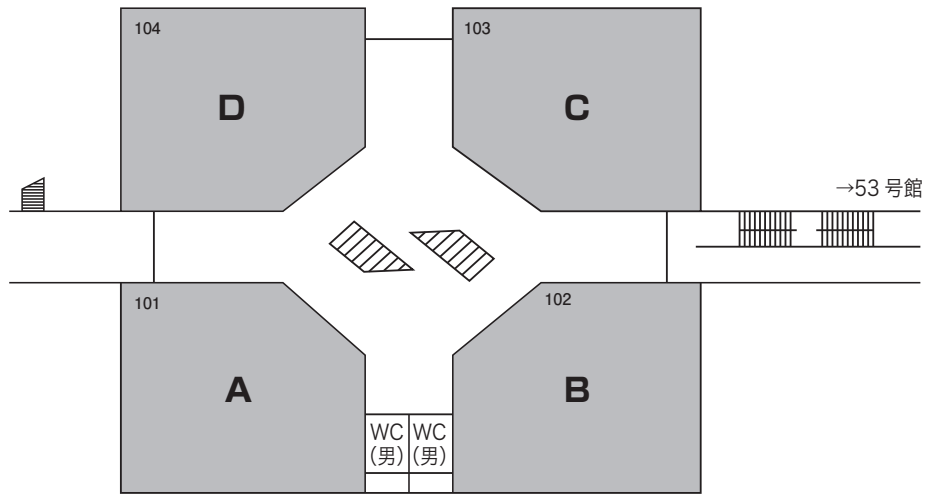
57号館

2F

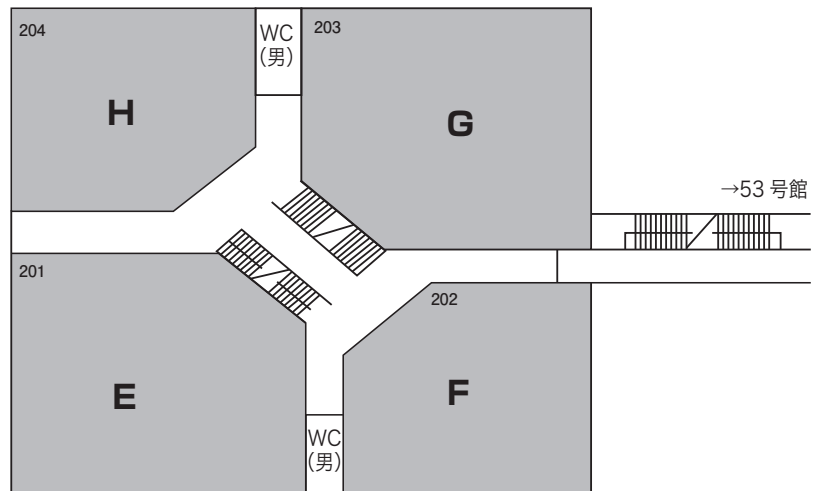


52号館

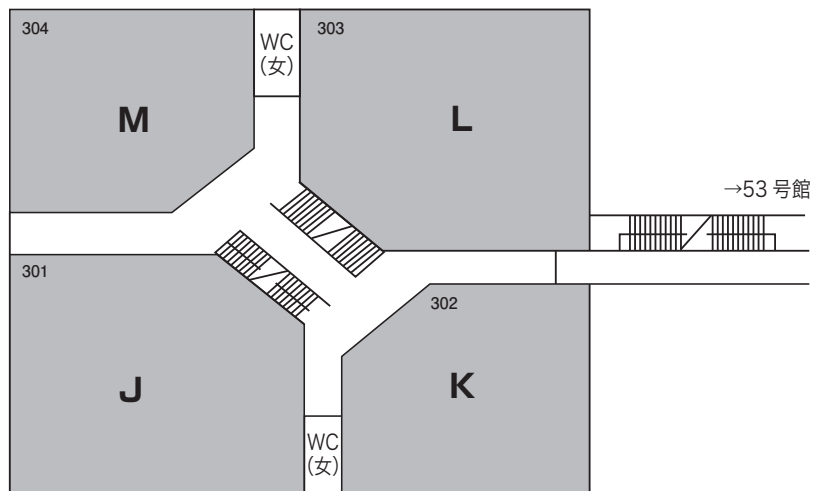
1F



2F



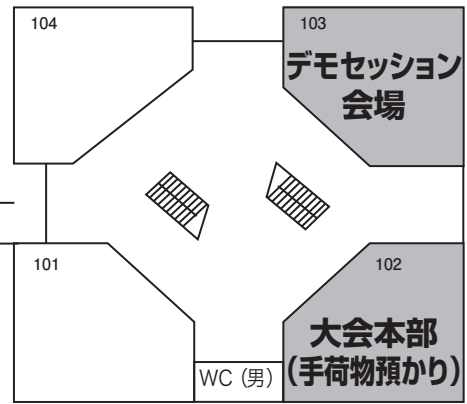
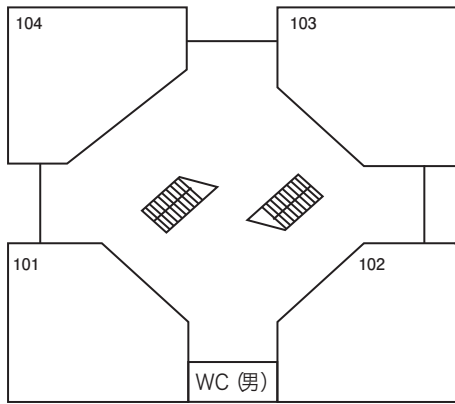
3F



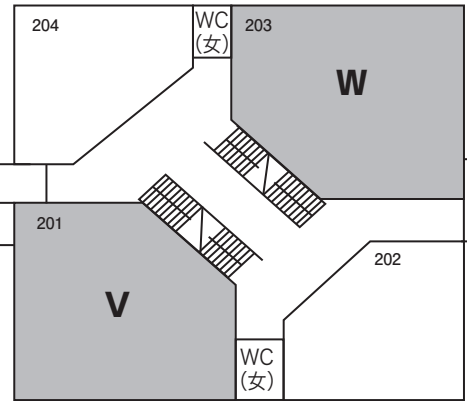
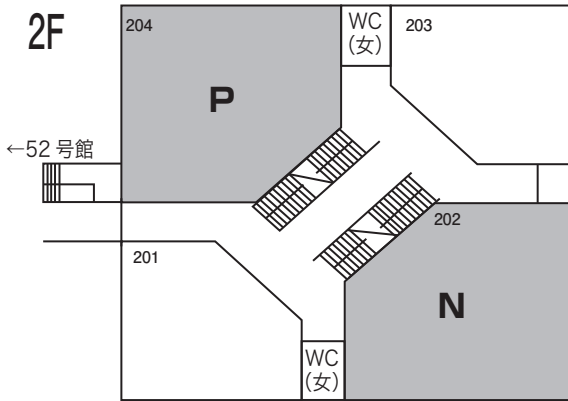
53号館

54号館

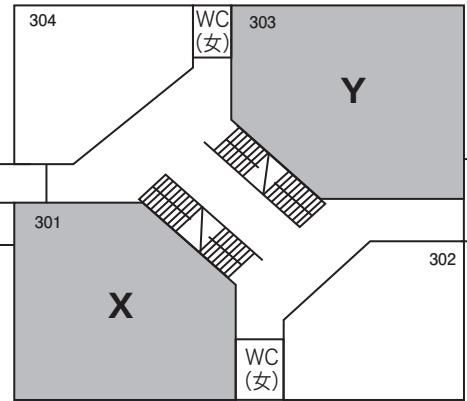
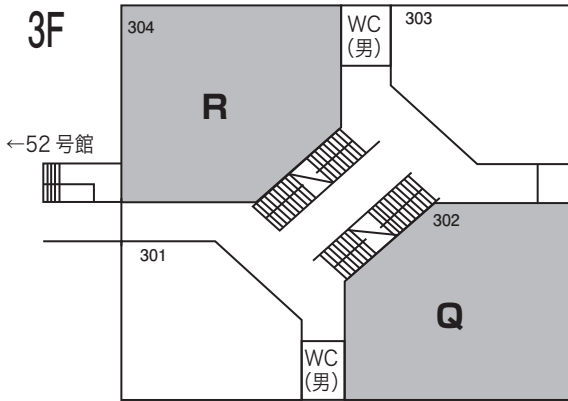
1F



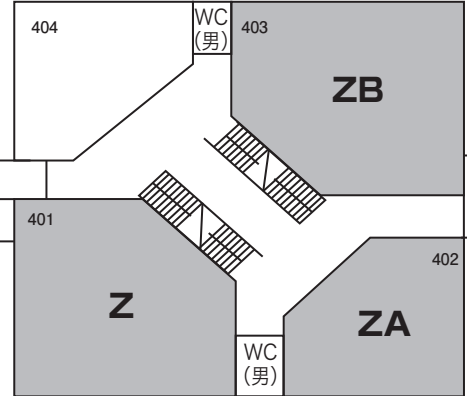
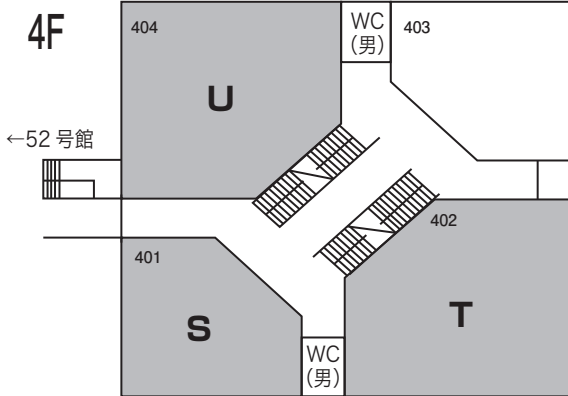
2F



3F



4F



情報処理学会 第69回全国大会

日	会場	第1イベント会場	第2イベント会場	一般セッション A	一般セッション B	一般セッション C	一般セッション D
	時間	57号館 2F 201教室	57号館 2F 202教室	52号館 1F 101教室	52号館 1F 102教室	52号館 1F 103教室	52号館 1F 104教室
3月6日(火)	9:00	開 会 式 表 彰 式 認 証 式					
	9:50						
	10:00	特別セッション(1) 安全・安心を保障する 組み込みソフトウェアに向けて	シンポジウム(1) 情報専門学科カリキュラムJ07 -その骨子	ハイパフォーマンス コンピューティング 板倉 憲一 (海洋研究開発機構)	数理モデルと プログラミング 久保田光一 (中大)	自然言語処理(1) 清田 陽司 (東大)	データベース実装, データベース応用 大森 匡 (電通大)
	12:30	15	21	① 30	① 32	② 37	① 33
	13:30	招待講演(1) Stories from the Early History of Computing Michael Williams (IEEE-CS会長)					
	14:45	14					
3月6日(火)	15:00		シンポジウム(2) 5周年を迎えたJABEE認定制度: 現状分析と今後の展望	システムLSI 設計技術(1) 木村 啓二 (早大)	知識表現・ オントロジー 柴田 直樹 (滋賀大)	自然言語処理(2) 徳永 健伸 (東工大)	ログ解析, XML 森嶋 厚行 (筑波大)
	17:30		24	① 30	② 37	② 37	① 33
	3月7日(水)	9:30	特別セッション(2) 情報爆発時代における理論と実際	シンポジウム(3) 情報家電ネットワーク:技術とサービス -ニーズとシーズとのギャップを 埋める方策は?-	システムソフトウェア 構成法 品川 高廣 (筑波大)	画像処理・符号化 久保田 彰 (東工大)	遺伝的アルゴリズム 片上 大輔 (東工大)
3月7日(水)	12:00	16	25	① 30	② 37	② 37	① 33
	13:00	招待講演(2) システムバイオロジー研究の最前線 北野 宏明 (システムバイオロジー研究機構会長)					
	14:15	14					
3月7日(水)	14:30	特別セッション(3) 真に社会的受容をもたらす イノベーションの創出へむけて -新しいユーザー像と提供価値-	シンポジウム(4) "Competitive Learning(競合学習)"を 進めよう	システムの運用と 性能評価 光来 健一 (東工大)	画像処理・理解 川崎 洋 (埼玉大)	音楽情報科学(3) 浜中 雅俊 (JST)	Webサービス, システム,メディア処理 河合由起子 (京産大)
	17:00	17	28	① 30	② 37	② 38	① 34
3月8日(木)	9:30	特別セッション(4) 産学連携によるIT人材の育成		ビジネスプロセスと 要求 白銀 純子 (東京女子大)	医用画像処理 滝沢 穂高 (筑波大)	マルチエージェント 北村 泰彦 (関西学院大)	コンテンツ管理と 著作権 山下 博之 (JST)
	12:00	18		① 31	② 37	② 38	① 34
	13:00	招待講演(3) 大学発超小型衛星による 新しい宇宙開発への挑戦 中須賀 真一 (東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻教授)					
3月8日(木)	14:15	14					
	14:30	特別セッション(5) 文部科学省先導的ITスペシャリスト 人材育成推進プログラム		設計と品質保証 加藤 貞行 (ソルティマ)	生体・視覚情報処理 工藤 博章 (名大)	ニューラルネット 菅原 俊治 (NTT)	ネットワーク運用・ 制御・評価 一井 信吾 (東大)
17:00	20		① 32	② 37	② 38	③ 43	

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

プログラム概要

一般セッション E 52号館 2F 201教室	一般セッション F 52号館 2F 202教室	一般セッション G 52号館 2F 203教室	一般セッション H 52号館 2F 204教室	一般セッション J 52号館 3F 301教室	学生セッション K 52号館 3F 302教室	学生セッション L 52号館 3F 303教室	学生セッション M 52号館 3F 304教室
モバイル コンピューティング 石原 進 (静岡大) ③ 43	セキュリティ(1) 菊池 浩明 (東海大) ③ 46	CG応用 三谷 純 (筑波大) ④ 48	情報システムの 運用(1) 井上 明 (甲南大) ④ 51	教育システム(1) 布施 泉 (北大) ④ 52	コンパイラと マルチスレッド 佐藤 真琴 (日立) ① 30	システムLSI 設計技術(2) 島崎 健二 (松下) ① 31	進化的計算と バイオインフォマティクス 杉野健太郎 (東芝) ① 32
モバイルネットワーク 藤野 信次 (富士通研) ③ 43	セキュリティ(2) 竹森 敬祐 (KDDI研) ③ 46	CGヒューマン(2) 乃万 司 (九工大) ④ 48	企業情報システム 市川 照久 (静岡大) ④ 51	教育システム(2) 奥村 晴彦 (三重大) ④ 52	並列・分散処理 アーキテクチャ 森 敦司 (富士通研) ① 30	可視化 加納 健 (NEC) ① 31	数理モデル化と その応用 加藤 整 (日本IBM) ① 33
分散システム(1) 土屋 英亮 (電通大) ③ 43	セキュリティ(3) 吉浦 裕 (電通大) ③ 46	グループウェア 井上 智雄 (筑波大) ④ 48	eラーニング(1) 渡辺 博芳 (帝京大) ④ 51	バイオと医療の インフォマティクス 坂内 英夫 (九大) ④ 52	ハイパフォーマンス コンピューティング 合田 憲人 (東工大) ① 30	プログラミング 小熊 寿 (NTTドコモ) ① 32	アルゴリズム 谷 誠一郎 (NTT) ① 33
分散システム(2) 石橋 勇人 (大阪市大) ③ 43	作業支援と インタフェース 三浦 元喜 (北陸先端大) ④ 48	エンタテインメント コンピューティング 山下 淳 (筑波大) ④ 50	災害情報システム 神沼 靖子 (無所属) ④ 51	プロセッサ アーキテクチャと 設計事例 鳥居 淳 (NEC) ① 31	プログラムの 解析と保守 上原 忠弘 (富士通研) ① 32	要求と開発管理 鎌田真由美 (日本IBM) ① 33	
ITS(1) 堀内 浩規 (KDDI研) ③ 43	コミュニケーションと インタフェース 大谷 淳 (早大) ④ 48	教育支援システム(3) 立田 ルミ (獨協大) ④ 50	情報システムと社会 山口 高平 (慶大) ④ 51	OS構成法 新井 利明 (日立) ① 31	Webとサービス指向 大場 克哉 (オージス総研) ① 32	設計と開発支援環境 吉田 和樹 (東芝ソリューション) ① 33	
ITS(2) 梅津 高朗 (阪大) ③ 43	マルチメディア インタフェース 椎尾 一郎 (お茶の水女子大) ④ 48	情報教育 中森真理雄 (農工大) ④ 51	情報システムの 運用(2) 清水 則之 (名桜大) ④ 52	分散システム構成法 立堀 道昭 (日本IBM) ① 31	ビジネスプロセスと モデル駆動開発 松塚 貴英 (富士通研) ① 32		

情報処理学会 第69回全国大会

日	会場	学生セッション N 53号館 2F 202教室	学生セッション P 53号館 2F 204教室	学生セッション Q 53号館 3F 302教室	学生セッション R 53号館 3F 304教室	学生セッション S 53号館 4F 401教室	学生セッション T 53号館 4F 402教室	学生セッション U 53号館 4F 404教室	学生セッション V 54号館 2F 201教室
	時間								
3月6日(火)	9:00								
	9:50								
	10:00	1 オントロジー・知識表現 新 麗 (IIJ) ② 38	画像解析・合成 浜田 玲子 (東大) ② 39	ニューラルネット 小野田 崇 (電中研) ② 40	ロボット・学習 村川 賀彦 (富士通研) ② 41	コンテンツの作成と共有 鬼塚 真 (NTT) ① 34	ウェブログ解析, ウェブデータ・クラスタリング 中島 伸介 (奈良先端大) ① 35	分散システムとWebサービス(1) 樋地 正浩 (日立東日本ソリューションズ) ③ 43	ITS 遠藤 秀則 (NTTデータ先端技術) ③ 44
	12:30								
	13:30								
	14:45								
15:00	2 音楽情報科学(1) 音楽理解 平田 圭二 (NTT) ② 38								
17:30									
3月7日(水)	9:30	3 音楽情報科学(2) 検索・推薦 帆足啓一郎 (KDDI研) ② 38	視覚インタフェース・視線分析 佐藤 清秀 (キヤノン) ② 39	自然言語処理(1) 森 辰則 (横浜国大) ② 40	画像処理・認識 向川 康博 (阪大) ② 41	WebサービスとセマンティックWeb 井出 明 (近畿大) ① 34	分散処理 寺西 裕一 (阪大) ① 35	アドホックネットワーク 横田 英俊 (KDDI研) ③ 44	
	12:00								
	13:00								
	14:15								
	14:30								
	17:00								
3月8日(木)									9:30
	12:00								
	13:00								
	14:15								
	14:30								
	17:00								

プログラム概要

学生セッション W 54号館 2F 203教室	学生セッション X 54号館 3F 301教室	学生セッション Y 54号館 3F 303教室	学生セッション Z 54号館 4F 401教室	学生セッション ZA 54号館 4F 402教室	学生セッション ZB 54号館 4F 403教室	デモセッション デモ会場 54号館 1F 103教室
						9:30~17:00
P2P 上田 清志 (NTT) ③ 45	CGヒューマン (1) 折原 豊 (NHK) ④ 48	コミュニケーションと インタフェース 西村 拓一 (産総研) ④ 49	教育支援システム (1) 石田 厚子 (日立コンサルティング) ④ 52	情報システムと 組織・社会 桑原 悟 (新潟国際情報大) ④ 53	医療システム・ インフォマティクス 清水 佳奈 (産総研) ④ 54	デモセッション 103
	描画と NPRレンダリング 白石 路雄 (東邦大) ④ 49	マルチメディア インタフェース 中村 聡史 (京大) ④ 49	教育支援システム (2) 福村 好美 (長岡技科大) ④ 52	情報システムと 人間社会 鎌田真由美 (日本IBM) ④ 53	バイオ インフォマティクス 加納 真 (日本IBM) ④ 55	
	分析と可視化 竹島由里子 (東北大) ④ 49	インタフェース デザインと評価 綾塚 祐二 (ソニー) ④ 50	エンタテインメント コンピューティング (ゲーム・ネットワーク・ 音楽) 倉本 到 (京工繊大) ④ 53	災害・情報配信 システム 野田五十樹 (産総研) ④ 54	教育システム (3) 小山 博史 (ガリレオ) ④ 55	
セキュリティ (1) 大野 一広 (三菱) ③ 46	仮想現実感 國藤 進 (北陸先端大) ④ 49	感性情報と 知的インタフェース 三枝 亮 (早大) ④ 50	エンタテインメント コンピューティング (ストーリーテリング) 松永 賢次 (専修大) ④ 53	情報システムと インタラクション 大場みち子 (日立) ④ 54	自然言語処理 システム 出羽 達也 (東芝) ② 42	
セキュリティ (2) 大久保隆夫 (富士通研) ③ 46	コミュニケーション支援 青木 恒 (東芝) ④ 49	CG:高速化と線・面 大竹 豊 (理研) ④ 50	eラーニング (2) 井上 仁 (九大) ④ 53	情報システムの実例 菊島 靖弘 (アイネス) ④ 54	文、文章の分類 渡辺日出雄 (日本IBM) ② 42	
						デモセッション 103
セキュリティ (3) 千田 浩司 (NTT) ③ 46	協同作業支援 岡田 謙一 (慶大) ④ 49	反射と自然現象 柿本 正憲 (日本SGI) ④ 50	eラーニング (3) 小松川 浩 (千歳科技大) ④ 53	教育システム (4) 辰己 丈夫 (農工大) ④ 54	音響・音声認識・ 音声合成 大淵 康成 (日立) ② 42	

第 69 回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

●第 1 分冊

- ・アーキテクチャ
計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング,
エレクトロニクス用設計自動化・CAD
(1A ~ 4A, 1K ~ 6K, 1L, 2L)
- ・ソフトウェア科学・工学
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング
(5A, 6A, 1B, 3L ~ 6L, 1M ~ 5M)
- ・データベースとメディア
データベース, 情報検索, メディアと情報開発・共有・流通
(1D ~ 5D, 1S ~ 6S, 1T ~ 6T)
(デモセッション: デ-01, デ-03, デ-04, デ-06, デ-10, デ-12)

●第 2 分冊

- ・人工知能と認知科学
人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学
(2B ~ 6B, 1C ~ 6C, 1N ~ 6N, 1P ~ 6P, 1Q ~ 6Q, 1R ~ 6R, 4ZB ~ 6ZB)

●第 3 分冊

- ・ネットワーク
マルチメディア通信と分散処理, 分散システム運用, マルチメディア符号化, モバイルコンピューティング, ITS
(6D, 1E ~ 6E, 1U ~ 6U, 1V ~ 6V, 1W)
- ・セキュリティ
セキュリティ基盤技術, システムセキュリティ, セキュリティマネジメント
(1F ~ 3F, 4W ~ 6W)
(デモセッション: デ-02)

●第 4 分冊

- ・インタフェース
ヒューマンインタフェース, グループウェア, グラフィクスと CAD, 仮想現実感
(4F ~ 6F, 1G ~ 3G, 1X ~ 6X, 1Y ~ 6Y)
(デモセッション: デ-09)
- ・コンピュータと人間社会
情報システム, コンピュータ教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, バイオ情報学,
エンタテインメントコンピューティング, 標準化, その他
(4G ~ 6G, 1H ~ 6H, 1J ~ 3J, 1Z ~ 6Z, 1ZA ~ 6ZA, 1ZB ~ 3ZB)
(デモセッション: デ-05, デ-07, デ-08, デ-11)

－全国大会イベント企画－

- ・招待講演 (1) : 「Stories from the Early History of Computing」
Michael Williams (IEEE-CS 会長)
- ・招待講演 (2) : 「システムバイオロジー研究の最前線」
北野 宏明 (特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構 会長)
- ・招待講演 (3) : 「大学発超小型衛星による新しい宇宙開発への挑戦」
中須賀 真一 (東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授)
- ・特別セッション (1) : 安全・安心を保証する組込みソフトウェアに向けて
- ・特別セッション (2) : 情報爆発時代における理論と実際
- ・特別セッション (3) : 真に社会的受容をもたらすイノベーションの創出へむけて
－新しいユーザー像と提供価値－
- ・特別セッション (4) : 産学連携による IT 人材の育成
- ・特別セッション (5) : 文部科学省 先導的 IT スペシャリスト人材育成推進プログラム
- ・シンポジウム (1) : 情報専門学科カリキュラム J07 –その骨子
- ・シンポジウム (2) : 5周年を迎えた JABEE 認定制度：現状分析と今後の展望
- ・シンポジウム (3) : 情報家電ネットワーク：技術とサービス
－ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は？－
- ・シンポジウム (4) : "competitive learning (競合学習)" を進めよう

－全国大会 会場別プログラム－

【第1 イベント会場 (57号館2階 201教室)】		
日	時間	内容
6	9:00-9:50	[9:00 - 9:10] 開会式／第 68 回全国大会優秀賞・奨励賞表彰式 開会の挨拶：安西 祐一郎 (本学会会長) プログラム委員長挨拶：筧 捷彦 (早大)
		[9:10 - 9:20] 第 68 回全国大会優秀賞・奨励賞 表彰式
		[9:20 - 9:30] 平成 18 年度山下記念研究賞 表彰式
		[9:30 - 9:40] フェロー認証式
		[9:40 - 9:45] 学会活動貢献賞表彰式／感謝状 贈呈式
		[9:45 - 9:50] 優秀教育賞 優秀教材賞 表彰式
日 (火)	特別セッション (1) : 安全・安心を保証する組込みソフトウェアに向けて	
	10:00-10:45	講演 (1) : 次世代組込みシステム用ディペンダブル OS 研究開発における産学官連携 所 眞理雄 (ソニー)
	10:45-11:15	講演 (2) : e-Society プロジェクトにおける高信頼性組込みソフトウェアへの取り組み 岸 知二 (北陸先端大)
	11:15-12:30	パネル討論 : 次世代組込みソフトウェアにおける産学連携 司 会 : 中島 達夫 (早大) パネリスト : 岸 知二 (北陸先端大), 菅谷みどり (早大), 田丸喜一郎 (IPA / SEC), 所 眞理雄 (ソニー)
	13:30-14:45	招待講演 (1) : Stories from the Early History of Computing Michael Williams (IEEE-CS 会長)
7	特別セッション (2) : 情報爆発時代における理論と実際	
	9:30 - 9:50	基調講演 (1) : 情報爆発と実世界インタラクション 西田 豊明 (京大)
	9:55 - 10:15	基調講演 (2) : 計算理論の現実の場での応用例－講演者の経験から 徳山 豪 (東北大)
日 (水)	10:20-12:00	パネル討論 : 理論と実際のコラボレーションは可能なのか? 司 会 : 山下 雅史 (九大) パネリスト : 宇野 毅明 (国立情報学研), 小林 直樹 (東北大), 武田 英明 (国立情報学研), 徳山 豪 (東北大), 豊田 正史 (東大), 西田 豊明 (京大)
	13:00-14:15	招待講演 (2) : システムバイオロジー研究の最前線 北野 宏明 (特定非営利活動法人 システム・バイオロジー研究機構 会長)

【第1 イベント会場 (57号館2階 201教室)】

日	時間	内 容
7 日 (水)	特別セッション (3) : 真に社会的受容をもたらすイノベーションの創出へむけて -新しいユーザー像と提供価値-	
	14:30-14:50	趣旨説明: 上林 憲行 (東京工科大)
	14:50-16:30	パネル討論 司 会: 上林 憲行 (東京工科大) パネリスト: 生活の視点: 伊藤 淳子 (エイガアル) 教育の視点: 高橋 正視 (教育ソフト研) 医療の視点: 中島 和江 (大阪大学医学部附属病院) 全体を認知科学, とりわけ人とシステムの界面から考察: 原田 悦子 (法政大) オフィスワーカーの視点: 山崎 竹視 (富士ゼロックス)
8 日	特別セッション (4) : 産学連携による IT 人材の育成	
	9:30-10:10	基調講演 (1) : 刺激的な未来創出に向けた人材を求める新しい産学連携の取り組み 岩野 和生 (日本 IBM)
	10:10-10:50	基調講演 (2) : トップエスイーの目指すもの -サイエンスによる知的ものづくり教育- 本位田真一 (国立情報学研)
	11:00-12:00	パネル討論: IT 人材教育における大学の役割, 企業の役割 司 会: 筧 捷彦 (早大) パネリスト: 岩野 和生 (日本 IBM), 大岩 元 (慶大), 西尾章治郎 (阪大), 本位田真一 (国立情報学研)
	13:00-14:15	招待講演 (3) : 大学発超小型衛星による新しい宇宙開発への挑戦 中須賀真一 (東京大学 大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授)
日 (木)	特別セッション (5) : 文部科学省 先導的 IT スペシャリスト人材育成推進プログラム	
	14:30-14:45	講演 (1) : 先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムの概要 一居 利博 (文部科学省)
	14:45-15:15	講演 (2) : 各育成拠点の取り組み紹介 筑波大学グループ : 田中 二郎 (筑波大) 東京大学グループ : 竹内 郁雄 (東大) 慶應義塾大学グループ: 徳田 英幸 (慶大) 名古屋大学グループ: 野呂 昌満 (南山大) 大阪大学グループ : 井上 克郎 (阪大) 九州大学グループ : 福田 晃 (九大)
	15:30-17:00	パネル討論: 先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムへの期待 司 会: 西尾章治郎 (阪大) パネリスト: 産官からのメンバー: 山下 徹 (NTT データ), 富野 壽 (構造計画研究所), 鶴保 征城 (IPA / SEC) 育成拠点からのメンバー: 竹内 郁雄 (東大), 田中 二郎 (筑波大), 徳田 英幸 (慶大)

【第2 イベント会場 (57号館2階 202教室)】

日	時間	内 容
6 日	シンポジウム (1) : 情報専門学科カリキュラム J07 -その骨子	
	10:05-10:20	基調報告: J07 プロジェクトの設定 筧 捷彦 (早大, J07 プロジェクト連絡委員会委員長)
	10:20-10:35	報告 (1) : 情報専門学科での達成度調査 佐渡 一広 (群馬大, 達成度調査 WG)
	10:35-10:50	報告 (2) : CS 領域の知識項目 疋田 輝雄 (明大, CS 委員会委員長)
	11:00-11:15	報告 (3) : IS 領域の知識項目 神沼 靖子 (IS 委員会委員長)
	11:15-11:30	報告 (4) : SE 領域の知識項目 西 康晴 (電通大, SE 委員会幹事)
	11:30-11:45	報告 (5) : CE 領域の知識項目 大原 茂之 (東海大, CE 委員会委員長)
	11:45-12:00	報告 (6) : IT 領域の知識項目 駒谷 昇一 (NTT ソフトウェア, IT 委員会委員長)
	12:00-12:30	質疑応答
日 (火)	シンポジウム (2) : 5 周年を迎えた JABEE 認定制度: 現状分析と今後の展望	
	15:03-15:15	講演 (1) : JABEE による大学教育へのインパクト (1) 掛下 哲郎 (佐賀大)
	15:15-15:27	講演 (2) : JABEE による大学教育へのインパクト (2) 宇津宮孝一 (大分大)
	15:27-15:39	講演 (3) : 非認定校から見た JABEE 認定制度の課題 天野 英晴 (慶大)
	15:39-15:51	講演 (4) : 産業界の IT 人材育成と大学への期待 富野 壽 (JISA)
	15:51-16:03	講演 (5) : JABEE および産学連携教育の現状 山野井昭雄 (JABEE)
	16:03-17:30	総合討論 司 会: 牛島 和夫 (九産大) パネリスト: 天野 英晴 (慶大), 宇津宮孝一 (大分大), 掛下 哲郎 (佐賀大), 富野 壽 (JISA), 山野井昭雄 (JABEE)

【第2 イベント会場 (57号館2階 202教室)】		
日	時間	内容
7	シンポジウム (3) : 情報家電ネットワーク : 技術とサービス - ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は? -	
	9:30-9:45	講演 (1) : 情報家電ネットワーク・サービスの最新動向 阪田 史郎 (千葉大)
	9:45-10:00	講演 (2) : 情報家電サービス普及に向けた共通プラットフォーム技術 松岡 恭正 (三菱)
	10:00-10:15	講演 (3) : 電力線通信 (PLC) の最新動向 北口 進 (シャープ)
	10:15-10:30	講演 (4) : デジタル放送の IP マルチキャスト伝送技術 藤田 欣裕 (NHK 放送技研)
	10:30-10:45	講演 (5) : 家庭向ブロードバンドコンテンツサービス 川原 洋 (ソフトバンク BB)
	10:45-11:00	講演 (6) : デジタルコンバージェンスは何をもたらすか 山上 俊彦 (ACCESS)
日	11:10-12:00	パネル討論 : 情報家電ネットワークとサービス - ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は? - 司 会 : 阪田 史郎 (千葉大) パネリスト : 川原 洋 (ソフトバンク BB), 北口 進 (シャープ), 中島 達夫 (早大), 藤田 欣裕 (NHK 放送技研), 松岡 恭正 (三菱電機), 山上 俊彦 (ACCESS)
(水)	シンポジウム (4) : "Competitive Learning (競合学習)" を進めよう	
	14:30-15:05	基調講演 (1) : 情報オリンピックと日本での取り組み 谷 聖一 (日大)
	15:05-15:35	基調講演 (2) : What's ICPC Bill Poucher (Baylor University / ACM ICPC Director)
	15:35-15:55	基調講演 (3) : ICPC への日本での取り組み 柴山 悦哉 (東工大)
	16:05-17:00	パネル討論 : "Competitive Learning (競合学習)" を進めよう 司 会 : 繁富 利恵 (産総研) パネリスト : 柴山 悦哉 (東工大), 谷 聖一 (日大), 柳沢 弘揮 (日本 IBM)

【一般セッション : A ~ J 会場 (9 会場)】 52 号館 1F ~ 3F	
【学生セッション : K ~ ZB 会場 (17 会場)】 52 号館 3F, 53 号館 2F ~ 4F, 54 号館 2F ~ 4F	
6 日 (火) [10:00 ~ 12:30, 15:00 ~ 17:30], 7 日 (水) [9:30 ~ 12:00, 14:30 ~ 17:00], 8 日 (木) [9:30 ~ 12:00, 14:30 ~ 17:00]	

【デモセッション : デモ会場 (1 会場)】 54 号館 1F 103 教室	
6 ~ 8 日 [9:30 ~ 17:00]	

【懇親会会場】 57 号館 B1F 食堂	
6 日 (火) [18:00 ~ 20:00]	

全国大会イベント企画

招待講演・特別セッション・シンポジウムの概要

招待講演 (1) : Stories from the Early History of Computing

3月6日(火) 13:30-14:45 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

Michael Williams (IEEE-CS 会長)

【講演概要】

In large computing conferences, like those run by the IPSJ and the IEEE, the usual presentations center on the major research and application areas of the day. It is, however, often useful to look back and see how far we have come in developing the subject of computation and the devices we use to do our calculations. This will be an illustrated survey of some of the people and devices that helped shape the early history of computation. I hope to be able to show that the history of our subject is full of interesting inventions, legal problems and colorful characters. There will certainly not be enough time to examine every interesting aspect, but I will take examples from different parts of the world and different historical eras to support my thesis that history is not only interesting but can also be fun.



【略歴】

It was while working as a graduate student at Glasgow University that Mike acquired an interest in the history of computing, something which has developed over the years into his main research and teaching interest. In 1969 he joined the University of Calgary, first in the Department of Mathematics then as a Professor of Computer Science.

He has participated in the publishing of 11 books, 92 articles, 58 technical reviews and 72 invited lectures and has been involved in the creation of 10 different radio, television, and museum productions. During his career he has had the opportunity to work for extended periods at several different universities and at the National Museum of American History (Smithsonian Institution) and as Head Curator at the Computer History Museum in Mountain View California.

His association with the IEEE Computer Society began when he was asked to help out with the journal The Annals of the History of Computing. He eventually became Editor-in-Chief then moved to become the Editor-in-Chief of the CS-Press and Vice President for Publications. He is the 2007 President of the IEEE Computer Society and also serves on many of the IEEE governing boards and committees. In 2005 the University of Glasgow, Scotland, awarded him an honorary Doctor of Science degree for his contributions to computer science, particularly the history of computing.

招待講演 (2) : システムバイオロジー研究の最前線

3月7日(水) 13:00-14:15 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

北野 宏明 (特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構 会長)

【講演概要】

システムバイオロジーは、生命をシステムレベルで理解することを目的とした研究領域である。分子生物学の飛躍的発展によって遺伝子やタンパク質に関する研究が進み、網羅的解明が可能になってきたことによって現実味を帯びてきた分野である。遺伝子やタンパク質の研究は、生命を構成する部品やそのつくり方の研究であり、最終的に生命を理解するためには、それらの部品からなる「システム」を理解することが必要となる。

システムとしての理解を行うには、(1) システムの構造の理解、(2) システム・ダイナミクスの理解、(3) システム制御方法論の理解、(4) システム・デザイン方法論の理解の、4つのレベルがあると考えている。

これらの各レベルでの理解を行うためには、定量的かつ網羅的な測定を実現する技術、大規模実験、タンパク質の相互作用のレベルから染色体動力学、細胞壁の物性などヘテロで大規模なシミュレーションを可能にする計算プラットフォーム、解析手法と理論のブレークスルーが必要である。それらの分野を統合して、システムレベルでの生命の理解を目指す分野であるシステムバイオロジー研究の最前線について述べる。



【略歴】

1961年埼玉県生。1984年国際基督教大学教養学部理学科(物理学専攻)卒業、日本電気(株)入社、ソフトウェア生産技術研究所勤務。1988年より米カーネギー・メロン大学客員研究員。1991年京都大学博士号(工学)取得。

1993年ソニーコンピュータサイエンス研究所入社。1996年同シニアリサーチャー、2002年同取締役副所長。1998年より科学技術振興事業団ERATO北野共生システムプロジェクト総括責任者兼務。2003年10月より、同プロジェクトの発展継続プロジェクト、独立行政法人科学技術振興機構北野共生システムプロジェクト(ERATO-SORST)総括責任者。2001年4月、特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構設立、会長を務める。ロボカップ国際委員会ファウンディング・プレジデント、Computers and Thought Award (1993)、Prix Ars Electronica (2000) 等受賞。

招待講演 (3) : 大学発超小型衛星による新しい宇宙開発への挑戦

3月8日(木) 13:00-14:15 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

中須賀 真一 (東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授)

【講演概要】

東京大学では10kg以下の超小型衛星を手作りで開発しており、すでに世界最小の人工衛星CubeSat(1kg)を2度打ち上げ、3年以上も軌道上で運用してきた。これは宇宙工学教育を第一の目的、また、迅速で低コストな宇宙開発を目指すことを第二の目的とした活動である。後者に関しては、宇宙利用を考える人たちの宇宙へのアクセスの「しきい」を下げ、これまでに考えられなかったような新しい宇宙利用法、宇宙開発のプレーヤーが出てくることを目指した挑戦である。本講演では、現在の宇宙開発の問題点を概観し、東京大学の中須賀研究室における超小型衛星開発の意義、現状、将来のビジョンなどを述べる。

<http://www.space.t.u-tokyo.ac.jp>



【略歴】

1983年東京大学工学部航空学科卒業。1988年東京大学大学院博士課程修了、工学博士(航空学専攻)。1988-1990年日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所勤務、AI、自動工場に関する研究。1993-1994年東京大学航空学科講師。1994-1998年東京大学先端科学技術研究センター助教授。1998-2004年東京大学航空宇宙工学専攻助教授。2005年-東京大学航空宇宙工学専攻教授。その間、1996-1997年アメリカ、メリランド大学コンピュータサイエンス学科客員研究員。1999年アメリカ、スタンフォード大学航空宇宙工学学科客員研究員。専門分野、宇宙関係:宇宙システム工学、小型衛星の設計・製作、宇宙機の知能化・自律化、将来の新しい宇宙システム、航法・誘導・制御、知能工学関係:ロボティクス、人工知能(特に機械学習)とその宇宙応用。AIAA、日本航空宇宙学会、日本ロケット協会、計測自動制御学会等会員。

特別セッション (1) : 安全・安心を保証する組込みソフトウェアに向けて

[全体概要]

組込みシステムの複雑性は年々増加している。その一方、組込みシステムは我々の生活にはなくてはならない物となっており、信頼性の向上が重要な課題となって来ている。組込みソフトウェアは年々巨大となり、ソフトウェアバグにより生じる製品のリコールやセキュリティ的攻撃による個人情報の流失など様々な問題が生じる可能性がある。高信頼組込みシステムを構築するためには、ソフトウェア設計面と基盤ソフトウェアの面と両方から現在の方式を見直す必要がある。国内の組込みシステムの競争力を強化するためには、新規の技術や方法論を開発するための研究が必要不可欠である。しかし、組込みシステムの場合は、実際の現場での問題を意識しないと見当違いの研究を進めることになり、産官学連携の促進がもっとも重要な課題であると考えられる。本セッションでは、いくつかの産官学連携の取り組みを紹介した後、今後取り組むべき方向性に関して議論をおこなう。

●講演 (1) 3月6日 (火) 10:00-10:45 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

「次世代組込みシステム用ディペンダブル OS 研究開発における産官学連携」

所 眞理雄 (ソニー)

[講演概要]

技術の発展の度合いによって、研究開発の目的や方法は変わる。黎明期から発展・成長期には独自技術による差異化が有効であるが、成熟期になると寡占化、標準化が進み、独自技術による差異化は時間的、品質的、コスト的に報われないばかりか、インターオペラビリティが失われて孤立する。成熟期の研究開発戦略は世界標準の中いかに問題点を見つけてこれを改良し、技術的な地位を獲得し発言権を増すと同時に、特許ポジションを改善することにある。そのためには、現場からのニーズに耳を傾け、利用者の立場から研究開発のポイントを明確に整理して研究開発を行うことが必須である。OS の考え方が出現してから 50 年以上が経過し、OS 技術は成熟期にあると言える。平成 18 年度より JST/CREST の下で進められている「実用化を目指した組込みシステム用ディペンダブル・オペレーティングシステム」の研究開発においては、成熟期にある基幹技術に対して産官学が協力して成果を挙げるための色々な試みがなされている。



[略歴]

1975 年慶應義塾大学大学院電気工学専攻博士課程を修了、同大学助手、専任講師、助教授を経て 1991 年より理工学部電気工学科教授。その間、ウォータールー大学ならびにカーネギーメロン大学訪問助教授。1988 年にソニーコンピュータサイエンス研究所を創設し、取締役副所長を兼務。1997 年慶應義塾大学を退職し、ソニー (株) 執行役員上席常務ならびにソニーコンピュータサイエンス研究所代表取締役社長に就任。ソニー (株) IT 研究所長、CTO、プラットフォームテクノロジーセンタープレジデントなどを経て、2004 年より (株) 特別理事、イノベーション戦略室担当、2006 年よりコーポレートエグゼクティブ SVP、技術渉外担当。2005 年にフランス共和国より国家功労賞オフィシエ受賞。

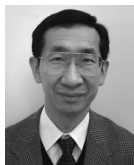
●講演 (2) 3月6日 (火) 10:45-11:15 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

「e-Society プロジェクトにおける高信頼性組込みソフトウェアへの取り組み」

岸 知二 (北陸先端大)

[講演概要]

「高信頼性組込みソフトウェア構築技術」プロジェクトは、2003 年度より文部科学省が進めている「e-Society 基盤ソフトウェアの総合開発」の中での、産学連携の取り組みのひとつであり、組込みシステム特有の計算資源・実時間処理といった制約を考慮しつつ、ソフトウェアの信頼性を高めるために必要となる、分析・設計環境、実行環境ソフトウェア、実行基盤ソフトウェアを開発することを目的としている。具体的には、北陸先端科学技術と国立情報学研究所で形式手法を用いた高信頼な分析設計環境の研究を、早稲田大学と筑波大学でソフトウェアを空間的・時間的に隔離してコンポーネントを高信頼に実行する環境を、京都大学で Java での実時間アプリケーションのためにごみ集めによる停止時間とメモリ制約を解決する実行基盤の開発を進めている。本講演では、本プロジェクトの内容やこれまでの成果、ならびにそこにおける企業連携について紹介する。



[略歴]

1982 年京都大学工学部情報工学科修士課程修了。同年 NEC 入社。入社以来一貫してソフトウェア生産技術の研究開発、社内・顧客支援 (コンサルティング業務) に従事。1986 年カーネギーメロン大学コンピュータサイエンス学科客員研究員。2002 年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。博士 (情報科学)。2003 年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科、組込みソフトウェアの高信頼性設計の研究に従事。

専門：ソフトウェア工学、ソフトウェアアーキテクチャ、プロダクトライン開発、ソフトウェア設計・検証技術。

●パネル討論 3月6日 (火) 11:15-12:30 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

「次世代組込みソフトウェアにおける産学連携」

[討論概要]

近年、日本における組込みシステム産業の重要性がさらに高まるにともない、いくつかの大きな産官学連携プロジェクトがスタートしている。これらのプロジェクトでは、次世代の組込みシステムの実現に向け、開発ツール、基盤ソフトウェア、方法論など様々な側面から研究を進めている。しかし、より大きな効果を生み出すためには、それらのプロジェクトが連携し成果を共有していくことが重要である。本パネルでは、産官学プロジェクトのキーパーソンを招き現状と将来について語り、今後の連携の可能性に関して検討する。



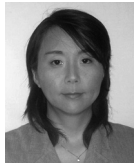
司 会：中島 達夫 (早大)

[略歴]

早稲田大学理工学部コンピュータネットワーク工学科教授。2000 年から日本エンベッドリナックスコンソーシアム会長、2006 年から情報家電サービス基盤フォーラム会長、2005 年度ノキアリサーチセンタービジティングリサーチフェロー。

パネリスト：岸 知二 (北陸先端大)

略歴・写真は「講演 (2) e-Society プロジェクトにおける高信頼性組込みソフトウェアへの取り組み」を参照。



パネリスト：菅谷 みどり (早大)

【略歴】

大学卒業後、アプリケーション・OS 開発に従事。

2002 年より早稲田大学大学院理工学研究科情報科学専攻入学、2003 年度未踏開発ソフトウェア創造事業、2004 年 4 月より第 1 回オープンソフトウェア活用基盤整備事業にて研究開発に従事。2004 年 3 月情報科学専攻修了後博士後期課程に進学。

2006 年 4 月より、理工学術院助手、コンピュータ・ネットワーク工学科在籍。



パネリスト：田丸 喜一郎 (IPA/SEC)

【略歴】

1981 年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了。工学博士。

同年、株式会社東芝入社。半導体技術研究所にてマイクロプロセッサおよび応用ソフトウェア開発環境の研究・開発に従事。

本社技術企画室を経て、現在、ブロードバンドシステム LSI 開発センター参事。

独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター組込み系プロジェクトサブリーダー。

パネリスト：所 真理雄 (ソニー)

略歴・写真は「講演 (1) 次世代組込みシステム用ディベダブル OS 研究開発における産学官連携」を参照。

特別セッション (2)：情報爆発時代における理論と実際

【全体概要】

実際の研究と理論研究との間のギャップの存在、それは分野を問うことのない永遠かつ困難な問題であり、情報学においても例外ではない。過去にも幾度となくこの問題は取りざたされているであろうテーマではあるが、本特別セッションでは、IT 研究におけるこのテーマを取り上げる。まず、実際の研究と理論研究との間に横たわるギャップを双方の研究者の立場から指摘し、理論と実際のコラボレーションを行ううえで解消すべき問題点を共有する。その上で、将来における両者のコラボレーションをどのように構築すればよいかを議論する。

会場からの発言を大いに歓迎し、そのための時間を十分に取るので、ぜひ、多くの方にご参加いただき、理論と実際のコラボレーションのあるべき姿について活発にご議論いただきたい。

●基調講演 (1) 3 月 7 日 (水) 9:30-9:50 [第 1 イベント会場 (57 号館 2 階 201)]

【情報爆発と実世界インタラクション】

西田 豊明 (京大)

【講演概要】

情報爆発の問題は、発生時に実世界と結びついていた情報がメディア化によってそのルーツを失い、ばらばらになって人々のもとに押し寄せるために生じるものであると考えられる。種々のセンサーからの情報が情報ネットワークによって大量にばらまかれるようになると、この傾向はますます加速される恐れがある。この問題を解決するためには、情報発生状況に関するメタ情報をうまく管理して、情報の受け手が眼前の状況との関わりをもつ情報だけを選別して、自分の行動の流れに適したストーリーとして再構成して、自分の行動に活用できるようにすることであろう。ここでは、実世界インタラクション-なかでも実世界会話-に焦点をあてて、実世界インタラクションにおいて発生する情報を実世界との関わりをなかで捉えて、別の場面で再利用するアプローチを提案する。これまでの研究成果を紹介し、今後の展望を示す。



【略歴】

1977 年京都大学工学部卒業。1979 同大学院修士課程修了。

1993 年奈良先端科学技術大学院大学教授、1999 年東京大学大学院工学系研究科教授、2001 年東京大学大学院情報理工学系研究科教授を経て、2004 年 4 月京都大学大学院情報学研究科教授。

会話情報学、社会知のデザインの研究に従事。日本学術会議連携会員。

2006 年本学会フェロー、IFIP TC12 日本代表、人工知能学会理事・編集委員長。

●基調講演 (2) 3 月 7 日 (水) 9:55-10:15 [第 1 イベント会場 (57 号館 2 階 201)]

【計算理論の現実の場での応用例-講演者の経験から】

徳山 豪 (東北大)

【講演概要】

情報科学の中でも、計算理論は抽象的なモデルを考え、数学的な手法を用いた厳密な証明や解析を重んじる分野である。計算理論の研究が情報科学や工学の発展の基盤として重要な役割を持つことは、歴史的に認められる事実である。一方、情報社会の発展と利用範囲の拡大につれ、計算理論が古典的な趣を持つ学問になり、数学的な難解さもあいまって、現実のシステムやソフトウェアの設計者などに身近でなくなっている事も事実である。この現状を憂慮して、計算理論の成果を有効に利用する仕組みが必要であるという声がよく聞かれる。本講演では、企業の研究所で計算理論の専門家として働いていた経験から、計算理論の成果を、応用により近い研究 (データマイニングや最適化、電子商取引など) に利用する際の、自分自身の成功や失敗の事例や原因について紹介し、必要な要素について話題の提供を行う予定である。



【略歴】

1985 年東京大学理学系大学院数学専門課程卒 (理学博士)。日本 IBM 東京基礎研究所研究員 (1986-1999)。

東京大学数理論理学系研究科連携客員教授 (1999)。現在、東北大学大学院情報科学研究科情報システム評価学分野教授。

アルゴリズム理論を中心に、理論計算機科学、離散数学、データマイニング等の研究を行う。

著書：はみだし幾何学 (岩波書店)、データマイニング (共立出版)、離散数学とその応用 (数理工学社) など。

授賞歴：情報処理学会研究賞、同 Best Author 賞、日本 IBM 科学賞、船井情報科学振興賞など。

●パネル討論 3 月 7 日 (水) 10:20-12:00 [第 1 イベント会場 (57 号館 2 階 201)]

【理論と実際のコラボレーションは可能なのか?】

【討論概要】

基調講演 2 件を受け、実際の研究と理論研究との間のギャップをさらに掘り下げ、理論と実際のコラボレーションを行ううえで解消すべき課題を会場も含めて共有する。その上で、お互いの良い点をとって、協力してビッグプロジェクトを行い成功させるにはどうすればよいかを、これまでうまくいった事例を紹介しつつ、議論する。会場からの発言を大いに歓迎し、そのための時間を十分に取るので、ぜひ、多くの方にご参加いただき、理論と実際のコラボレーションのあるべき姿について活発にご議論いただきたい。



司 会：山下 雅史（九大）

【略歴】

1977年京都大学大学院工学研究科情報修士，1980年名古屋大学大学院工学研究科情報博士，1981年工学博士（名古屋大学）。
1980年豊橋技術科学大学助手，1985年広島大学工学部助教授，1992年同教授，1998年九州大学大学院システム情報科学研究科教授。
主要な研究テーマは分散システムの基礎理論。
計算機ネットワークばかりでなく，群ロボットや分子計算などに興味を持つ。



パネリスト：宇野 毅明（国立情報学研）

【略歴】

1988年東京工業大学総合理工学研究科博士課程終了，博士（理学）を取得，同大学経営工学専攻助手を経て2001年から国立情報学研究所助教授を勤める。専門はアルゴリズム理論。特に基礎的な問題にアルゴリズム的構造解析からアプローチしており，文字列，列挙，グラフクラス，データマイニング，動的計画法などの問題に対して成果がある。応用においてもアルゴリズム実装を含め，他分野の研究者とも多くの共同研究を行っている。



パネリスト：小林 直樹（東北大）

【略歴】

1968年生。1991年東京大学理学部情報科学科卒，1993年同大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了，同年博士課程進学。東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻助手，講師，東京工業大学大学院情報理工学研究科助教授を経て2004年より東北大学大学院情報科学研究科教授，現在に至る。博士（理学）。型理論，プログラム解析，並行計算などに興味を持つ。ACM，情報処理学会，各会員。2001年IFIP TC2 Manfred Paul Award，2003年日本IBM科学賞受賞。



パネリスト：武田 英明（国立情報学研）

【略歴】

1986年3月東京大学工学部卒業。1988年3月同大学院工学系研究科修士課程修了。
1991年3月同博士課程修了。東京大学工学博士。ノルウェー工科大学，奈良先端科学技術大学院大学を経て，2000年4月から国立情報学研究所助教授，2003年5月同教授。2006年4月同学術コンテンツサービス研究開発センター長（併任）。東京大学人工物工学研究センター寄付部門客員教授（兼務）。大阪大学特任教授。知識共有，設計学等の研究に従事。人工知能学会，情報処理学会，電子情報通信学会，精密工学会，AAAI，Design Society 各会員。

パネリスト：徳山 豪（東北大）

略歴・写真は「基調講演（2） 計算理論の現実の場での応用例 - 講演者の経験から」を参照。

パネリスト：豊田 正史（東大）

【略歴】

1971年生。1994年東京工業大学理学部卒業。1999年同大学大学院情報理工学研究科博士後期過程修了。博士（理学）。同年東京大学生産技術研究所博士研究員。2004年同所特任助教授に就任。2006年より同所助教授。
ウェブマイニング，ユーザインタフェース，情報可視化，ビジュアルプログラミングに興味を持つ。
ACM，IEEE CS，日本ソフトウェア学会各会員。

パネリスト：西田 豊明（京大）

略歴・写真は「基調講演（1） 情報爆発と実世界インタラクション」を参照。

特別セッション（3）：真に社会的受容をもたらすイノベーションの創出へむけて —新しいユーザー像と提供価値—

【全体概要】

ICTは確かに人・社会に新たな利便性を提供してきている。しかし，携帯電話に代表される個人用ガジェットが提供する面白さ・利便性に比べ，我々が仕事や生活の部分局面で利用する情報サービスや情報アプライアンスは，十分な満足度を与えるレベルに達していないばかりでなく，人々に種々の利用上の負担（隠れた）がかかり，サービスの不備への批判も絶えず，真の社会的受容とはかけ離れた状況になっている。

現行のICTによるサービスの多くは，個々に独立した人工物には留まらず，暗黙的に社会システムの構成要素として取り込まれる。そうした状況にもかかわらず，現在のサービスの多くが，発注者（システムを使わせたい者）と開発者の間だけで計画され，本質的にトータルな人間観を基にしたサービス利用者の視点が欠落しているのではないか。利用者は人間としての日常活動の一環としてシステムを用いるのであり，システムの為に活動するのではない。その視点に立ったとき，従来のICTの発展（研究・開発）とは一線を画した新しいアプローチが必要なのではないだろうか。

真に社会的に受容されるICTイノベーションに関して，ICTの提供価値そのものへの吟味，利用者側の視点も交えて，これまでのICTサービスのアプローチのどこがいけないのか，どうすれば改善されるのかを考えてみる必要があるのではないか。このセッションでは，教育現場・医療現場・生活者現場・仕事現場などにかかわるステークホルダーのそれぞれの立場を代表する方々のパネル討議を通じ，課題を明らかにし解決策への道筋を探ってゆきたい。

●趣旨説明 3月7日（水）14:30-14:50 [第1イベント会場（57号館2階 201）]



上林 憲行（東京工科大）

【略歴】

1980年慶応義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了，工学博士。広島大学工学部助手，富士ゼロックス（株）入社後，主幹研究員（Research Fellow），研究所所長等を歴任。メディア・サービスアーキテクチャの研究開発に従事。2000年山形大学工学部情報科学科教授を経て2003年より現職。人工知能学会理事，情報処理学会理事，情報処理学会情報メディア研究会幹事・主査を歴任。現在，情報処理学会ネットワーク生態学研究G主査，サービスサイエンス，ネットワーク生態学，情報臨床工学に関心をもつ。

●パネル討論 3月7日(水) 14:50-16:30 [第1イベント会場(57号館2階 201)]

司 会：上林 憲行(東京工科大)

略歴・写真は「趣旨説明」を参照。



パネリスト【生活の視点】：伊藤 淳子(エイガール)

【略歴】

女性、食、農業をテーマとしたコンテンツ・プロデューサーや地域活性化、コミュニティ・ビジネス、ICTおよびISTに早期から取り組んでいる。総務省「e コミュニティ地域 SNS 実証実験」では五島市 SNS ほか、地域 SNS の運営に係る。「Web2.0時代の地域のありかた」研究会、農林水産省「食料・農業・農村政策審議会」、日本酪農乳業協会等委員。
株式会社エイガール <http://www.a-girl.co.jp>

パネリスト【教育の視点】：高橋 正視(教育ソフト研)

【略歴】

1945年新潟県生まれ。1969年東京大学工学部計数工学科卒業。同年通商産業省入省。電子計算機専門職として省内のシステム開発を担当するほか、情報処理振興課において情報処理技術者試験なども担当。1979年東京都立白鷗高校数学科教員となり、1989年に退職。その後有限会社教育ソフト研究所において教育ソフトの開発を行うほか、情報処理技術者試験センターにおいて、技術課長、技術顧問を歴任。現在は、東京都足立区湖川小学校の算数ボランティア兼ステップアップ講師を務める。



パネリスト【医療の視点】：中島 和江(阪大医学部附属病院)

【略歴】

1984年神戸女子薬科大学薬学部、1989年大阪大学医学部医学科卒業、1996年ハーバード公衆衛生大学院医療政策学部修士課程卒業。1989年大阪大学医学部附属病院第二内科、1990年市立豊中病院内科、1995年ハーバード・リスクマネジメント・ファンデーション損失予防部インターン、2000年大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学助手、2003年大阪大学医学部附属病院中央オリティマネジメント部助教授を経て、2005年より同部病院教授。

パネリスト【全体を認知科学、とりわけ人とシステムの界面から考察】：原田 悦子(法政大)

【略歴】

法政大学社会学部教授。筑波大学人間学類(心理学)、同大学院(博)心理学研究科を修了後、日本アイビーエム(株)東京基礎研究所研究員(認知工学)を経て現職。教育学博士。専門は認知心理学・認知工学・認知科学。主な研究領域は、人間の記憶と学習(経験による変化)、および人-人工物(モノ)間相互作用分析に基づく人工物デザイン研究。特に近年は、認知の高齢化と使いやすさ、認知的視点からみた医療安全、インタフェイスとしてのロボットに興味を持つ。



パネリスト【オフィスワーカーの視点】：山崎 竹視(富士ゼロックス)

【略歴】

1973年慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程修了。日本電気(株)を経て、1983年富士ゼロックス(株)に入社しSmalltalk80処理系研究開発に従事。現在は、遠隔協業における周辺参加の支援とその効果に興味を持っている。同社研究本部フェロー、ACM会員。

特別セッション(4)：産学連携によるIT人材の育成

【全体概要】

情報技術の急速な発展に伴い、情報産業界で必要とされるスキルと、大学でなされる教育の間の大きなギャップが社会問題となってきている。そこで、企業、大学の人材教育に関する識者を招き、パネル討論を通して、産学それぞれで行われている人材育成の共通点、相違点について明らかにすることで、今後の大学と産業界の目指すべき人材育成の方向性について展望する。

●基調講演(1) 3月8日(木) 9:30-10:10 [第1イベント会場(57号館2階 201)]

「刺激的な未来創出に向けた人材を求める新しい産学連携の取り組み」

岩野 和生(日本IBM)

【講演概要】

今、ITは、あらゆる産業に、社会、経済、生活基盤に大きな影響を与えてきています。さらに、この動きは地球レベルで加速されています。そしてその加速を支えるIT技術の進展も目覚ましいものがあります。世界(米、欧、アジア、新興諸国)で、この動きにあわせて高度ICT人材の育成に向けた積極的な施策がおこなわれています。ところが、日本では、逆に、近年の学生の理系離れが大きな課題になり、IT人材の不足が深刻化しています。グローバル化の急速な波が経済のサービス化などを促し、世界中のCEOが、必要とするのはイノベーション能力だと言っています。そのようなトレンドを見据えて、基礎力を持って柔軟に環境の変化に対応できるような人材を育成するのに、新しい産学連携の形や場が望まれています。経団連高度情報通信人材育成部会では2006年5月に拠点候補として筑波大学と九州大学の2大学、及び協力拠点候補として7大学を決定しました。今後文部科学省とも連携を取りながら、日本の国際競争力を支える高度IT人材の育成を、これら拠点候補大学を中心に協力して行きます。



【略歴】

1975年 東京大学理学部数学科卒業後、日本アイ・ビー・エム(株)入社。1987年 プリンストン大学よりPh.D.取得。
1995-2000年 東京基礎研究所所長。2001年米国IBM T.J.ワトソン研究所でオートノミックコンピューティング担当ディレクター。
2002年 基礎研究 & エマージングビジネス担当取締役。2003年 同執行役員。2004年7月 大和ソフトウェア研究所担当。現在に至る。
専門分野は、グラフ・アルゴリズム、組合せ最適化、オートノミックコンピューティング。
2003年 情報処理学会フェロー。

●基調講演 (2) 3月8日 (木) 10:10-10:50 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

「トップエスイーの目指すもの –サイエンスによる知的ものづくり教育–」

本位田 真一 (国立情報学研)

【講演概要】

16年度文科省科学技術振興調整費の支援を得て、国立情報学研究所は、産業界の10社 (NTT データ、東芝、日本電気、日立、富士通研、CSK、松下電器、鹿島建設、三菱総研、日本ユニシス:順不同) と共にトップクラスのソフトウェア技術者 (スーパーアーキテクトと呼ぶ) の養成プログラムを立ち上げている。ここでスーパーアーキテクトとは、計算機科学に関する豊富な知識を持つと同時に、もっとも重要な能力である問題の抽象化力、モデリング力を有しているソフトウェア技術者と定義する。本プログラムでは、産業界から数年先の実問題を導入し、それに対してのサイエンスに基づくソフトウェアツールの適用可能性を検証し、その上で、教材を開発している。その教材に基づいて、受講生が多様なソフトウェアツールを実問題に対して適用するという反復学習過程で自ずと問題の抽象化力、モデリング力が備わることを目指している。なお、開発した教材は全国の大学、産業界にも広く配布していく予定である。



【略歴】

1978年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。

(株) 東芝を経て2000年より国立情報学研究所教授、2004年より同研究所アーキテクチャ科学研究系研究主幹を併任、現在に至る。

2001年より東京大学大学院情報理工学系研究科教授を兼任、現在に至る。2005年度パリ第6大学招聘教授、早稲田大学客員教授。

工学博士 (早稲田大学)、1986年度情報処理学会論文賞受賞。

日本ソフトウェア科学会理事、情報処理学会理事を歴任。日本学術会議連携会員。

●パネル討論 3月8日 (木) 11:00-12:00 [第1 イベント会場 (57号館2階 201)]

「IT人材教育における大学の役割、企業の役割」

【討論概要】

経団連の社会提言、文科省の先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム、総務省の情報セキュリティ分野対象の人材育成・資格制度体系化専門委員会審議、経産省の産業構造審議会配下での人材育成WG審議など、IT人材教育に対する感心と要求とが高まっている。IT人材教育において、大学は何をなすべきか、企業は何をなすべきか。それぞれの立場からのパネリストの討論によって明らかにしていく。



司 会： 堀 捷彦 (早大)

【略歴】

1970年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、東京大学助手、立教大学理学部講師・助教授を経て、1986年から早稲田大学理工学部教授 (コンピュータ・ネットワーク工学科)。

プログラミングおよびプログラム言語に関して研究教育を行う。

本会フェロー、情報処理教育委員会委員長、学術会議連携会員、日本ソフトウェア科学会、ACM等会員。

パネリスト：岩野 和生 (日本IBM)

略歴・写真は「基調講演 (1) 刺激的な未来創出に向けた人材を求める新しい産学連携の取り組み」を参照。



パネリスト：大岩 元 (慶大)

【略歴】

1965年、東京大学理学部物理学科卒。1971年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。

東京大学理学部助手、豊橋技術科学大学講師、同・助教授、同・教授を経て1992年慶應義塾大学環境情報学部教授。情報教育学、ソフトウェア工学、認知工学の研究に従事している。

所属学会：情報処理学会 (フェロー)、CIEC (Council for Improvement of Education through Computers 理事)、日本ソフトウェア科学会、電子情報通信学会、教育システム情報学会、日本教育工学会、日本オペレーションズリサーチ学会、人工知能学会。



パネリスト：西尾 章治郎 (阪大)

【略歴】

1975年京都大学工学部数理工学科卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。京都大学助手等を経て、現在、大阪大学大学院情報科学研究科長・教授。大阪大学サイバーメディアセンター長、文部科学省科学官等を歴任。データベース、マルチメディアシステムの研究に従事。電子情報通信学会業績賞・論文賞、人工知能学会論文賞、日本データベース学会論文賞等を受賞。

岩波講座「マルチメディア情報学」、「インターネット」等を編集・執筆。本会理事を歴任。

パネリスト：本位田 真一 (国立情報学研)

略歴・写真は「基調講演 (2) トップエスイーの目指すもの –サイエンスによる知的ものづくり教育–」を参照。

特別セッション (5) : 文部科学省 先導的 IT スペシャリスト人材育成推進プログラム

[全体概要]

本セッションでは、日本のソフトウェア分野における高度人材育成に関して大きな期待が寄せられている文部科学省「先導的 IT スペシャリスト人材育成推進プログラム」を取り上げる。講演 (1) では、文部科学省から本プログラムの趣旨等を説明する。その後、講演 (2) では、採択された大学連携 6 チームから、各チームが企画しているプログラムの概要を紹介する。その後、パネル討論に移り、産官の立場からのパネリストが、先導的 IT スペシャリストとして求める人材像およびこのプログラムに寄せる期待等を述べる。それらの意見をもとに、国家的にも重要な本プログラムがより意義あるものとなるように、会場参加者も含めて相互に意見交換をする。

●講演 (1) 3月8日 (木) 14:30-14:45 [第1 イベント会場 (57号館 2階 201)]

[先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムの概要]

一居 利博 (文部科学省)

[講演概要]

近年、我が国を支える社会インフラの基盤となっているソフトウェア技術を担う人材の質・量の不足が指摘されている。

このため、文部科学省においては、本年度より、大学間及び産学の壁を乗り越えて潜在力を結集し、教育内容・体制を強化することにより、世界最高水準のソフトウェア技術者として求められる専門的スキルを有するとともに、社会情勢の変化等に先見性をもって柔軟に対処し、企業等において先導的役割を担う人材を育成することを目的とした「先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム」を実施している。

本講演では、本事業を実施するに至った経緯をはじめ、第3期科学技術基本計画や IT 新改革戦略など、政府における高度情報通信人材育成の位置付けとともに、今後の知識基盤社会を支える大学に対する期待などについて説明する。

●講演 (2) 3月8日 (木) 14:45-15:15 [第1 イベント会場 (57号館 2階 201)]

[各育成拠点の取組み紹介]



筑波大学グループ：田中 二郎 (筑波大)

[略歴]

1975年東京大学理学部卒。1977年同大学院理学系研究科修士課程修了。1984年米国ユタ大学計算機科学科博士課程修了、Ph.D. in Computer Science。1984年から1992年富士通 (株) 勤務。その間1985年から1988年に (財) 新世代コンピュータ技術開発機構に出向。1993年から筑波大学に勤務。現在、同大学院システム情報工学研究科教授。2002年4月から2006年3月まで筑波大学第三学群情報学類長。2004年4月からはシステム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻長。2006年4月からは電子・情報工学系長を兼務。



東京大学グループ：竹内 郁雄 (東大)

[略歴]

1969年東京大学理学部数学科卒業。1971年同大学大学院修士課程終了。博士 (工学) 東京大学。電電公社電気通信研究所、NTT 基礎研究所、NTT ソフトウェア研究所、電気通信大学情報工学科教授を経て、2005年より現職。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、ACM 各会員。



慶應義塾大学グループ：徳田 英幸 (慶大)

[略歴]

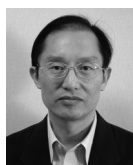
1975年慶應義塾大学工学部卒。同大学院工学研究科修士。ウォータールー大学計算機科学科博士 (Ph.D. in Computer Science)。1983年米国カーネギーメロン大学計算機科学科に勤務。研究准教授を経て、1990年より、慶應義塾大学環境情報学部に勤務。慶應義塾常任理事 (1997-2001年) を経て、現職。主に、オペレーティングシステム、分散システム、ユビキタスコンピューティングシステムに関する研究に従事。現在、情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会顧問、ネットワークロボットフォーラム会長、ユビキタスネットワークフォーラム技術部会長 & 電子タグ高度利活用部会長、総務省ユビキタスネット社会の実現に向けた基本政策WG副委員長。研究教育業績に関して Motorola Foundation Award、IBM Faculty Award、経済産業大臣賞、総務大臣賞などを受賞。



名古屋大学グループ：野呂 昌満 (南山大)

[略歴]

1958年生。1981年慶應義塾大学工学部卒。1983年同大学院工学研究科前期博士課程修了。1986年同後期博士課程単位取得退学。1986年より南山大学経営学部講師、助教授、教授を経て、2000年より同大学数理情報学部教授。現在に至る。この間1988年から1990年まで米国メリーランド大学計算機科学科客員研究員。工学博士。ソフトウェアアーキテクチャ、アスペクト指向ソフトウェア開発に興味を持つ。



大阪大学グループ：井上 克郎 (阪大)

[略歴]

1979年阪大・基礎工・情報卒。1984年同大学院博士課程了。同年同大・基礎工・情報・助手。1984～1986年ハワイ大マノア校・情報工学科・助教授。1989年阪大・基礎工・情報・講師。1991年同学科・助教授。1995年同学科・教授。2002年阪大・情報・コンピュータサイエンス・教授。工学博士。ソフトウェア工学の研究に従事。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、IEEE、ACM 各会員。



九州大学グループ：福田 晃 (九大)

[略歴]

1977年九大・工・情報卒。1979年同大学院修士課程了。同年NTT研究所入所。1983年九大・総理工助手。1989年同大学助教授。1994年奈良先端科学技術大学院大学教授。2001年九大・システム情報科学研究院教授。現在に至る。工学博士。ITC教育、および組込みソフトウェア、ユビキタスコンピューティングに関する研究に従事。

●パネル討論 3月8日(木) 15:30～17:00 [第1イベント会場(57号館2階 201)]

[先導的ITスペシャリスト育成推進プログラムへの期待]

[討論概要]

本パネル討論では、「先導的ITスペシャリスト人材育成推進プログラム」を推進している拠点からの3名のパネリストに加えて、ソフトウェアベンダーの立場から山下徹氏(NTTデータ)、ソフトウェア業界団体の立場から富野壽氏(構造計画研究所、JISA)、および先進ソフトウェア開発プロジェクトを産学官の枠組みを越えて展開しているソフトウェア・エンジニアリング・センター(SEC)所長の鶴保征城氏がパネリストとして参画して議論を展開する。まず、産業界およびSECの立場から、先導的ITスペシャリストとして求める人材像およびこのプログラムに寄せる期待等を述べる。それらの発表に対する育成拠点からのパネリストによる対応意見、さらに会場参加者からの意見も含めて、国家的にも重要な本プログラムがより強化され有効なものとなるように、相互に意見を交換する。

司 会：西尾 章治郎(阪大)

略歴・写真は「特別セッション(4)：パネル討論『IT人材教育における大学の役割、企業の役割』」パネリスト紹介を参照。



パネリスト【産官からのメンバー】：鶴保 征城(IPA/SEC)

[略歴]

1942年大阪府出身、工学博士。1966年大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了後、同年4月日本電信電話公社(現NTT)入社。1989年11月NTTソフトウェア研究所長、1993年6月NTTデータ通信株式会社取締役開発本部長、1995年6月同社常務取締役技術開発本部長を歴任し、1997年6月NTTソフトウェア株式会社代表取締役社長に就任。2004年6月独立行政法人情報処理推進機構参与。同年10月ソフトウェア・エンジニアリング・センター所長に就任。高知工科大学工学部情報システム工学科教授(2003年～)、奈良先端科学技術大学院大学客員教授(2003年～)、和歌山大学システム情報学センター客員教授(2005年～)、独立行政法人日本学術振興会「基盤的ソフトウェア技術開拓」に関する研究開発専門委員会委員(2003年～)、独立行政法人科学技術振興機構学術振興調整費審査ワーキンググループ委員(2005年～)、日本郵政公社アドバイザーグループメンバー(2005年～)、独立行政法人科学技術振興機構大学発ベンチャー創出推進事業評価委員会委員(2005年～)、経済産業省産業構造審議会臨時委員(2005年～)、社団法人情報処理学会会長(2001年～2002年)、XMLコンソーシアム会長(2001年～)、日本BPM協会副会長(2006年～)、社団法人電気情報通信学会フェロー、社団法人情報処理学会フェロー。



パネリスト【産官からのメンバー】：富野 壽(構造計画研究所)

[略歴]

1959年3月東京工業大学理工学部卒業。同年(株)構造計画研究所入社。1982年3月～1987年6月日本データゼネラル(株)代表取締役社長。1987年6月～2002年9月(株)構造計画研究所代表取締役社長。2002年10月～会長 現在に至る。(社)情報サービス産業協会常任理事(1995年6月～)。「ソフトウェア開発の定量化手法」、「ソフトウェアプロセス改善」、「ソフトウェア見積りのすべて」、「ソフトウェア品質工学の尺度とモデル」など監訳書多数。



パネリスト【産官からのメンバー】：山下 徹(NTTデータ)

[略歴]

東京工業大学理工学部卒業後日本電信電話公社に入社。1988年のNTTデータ通信株式会社(当時)分社以降、産業界本部長、ビジネス開発事業本部長、経営企画部長などを歴任し、2005年より株式会社NTTデータ代表取締役副社長執行役員。日本経団連高度情報通信人材育成部会長、情報サービス産業協会(JISA)副会長を務める。主な著書：「これからのITマネジメント戦略(1999年)」、「世界のペイメントカード(2004年)」、「危機対応社会のインテリジェンス戦略(2006年)」等。

パネリスト【育成拠点からのメンバー】：竹内 郁雄(東大)

略歴・写真は「講演(2) 各育成拠点の取組み紹介『東京大学グループ』」を参照。

パネリスト【育成拠点からのメンバー】：田中 二郎(筑波大)

略歴・写真は「講演(2) 各育成拠点の取組み紹介『筑波大学グループ』」を参照。

パネリスト【育成拠点からのメンバー】：徳田 英幸(慶大)

略歴・写真は「講演(2) 各育成拠点の取組み紹介『慶應義塾大学グループ』」を参照。

シンポジウム(1)：情報専門学科カリキュラムJ07ーその骨子

[全体概要]

情報処理学会が情報専門学科のカリキュラム標準を策定したのは、直近では1997年のことであった。それから10年が経とうとしている。

その間に、インターネットの爆発的な発展があり、ウェブサービスなど、IT分野での技術動向もおおきく変貌をとげてきた。

その中で、米国では、IEEE CSとACMとが協力して、CC(Computing Curriculum)2001を公表しCS領域に対する標準カリキュラムを提示したのを皮切りに、2002年にはIS領域、2003年にはSE領域、2004年にはCE領域、そして2005年にはIT領域と、標準カリキュラムを公表してきた。この一連の標準カリキュラムに特徴的なことは、具体的なコース設定、科目設定などは例示にとどめ、その特定領域のカリキュラムにおいて扱うべき知識項目とその深さを知識体系(Body of knowledge)として定めたことにある。さらに、それらの中で、最低限身に付けさせるべきものをcoreとして明示した。

日本においても、この新しい状況に対応した標準カリキュラムを定めるべきであると、大学側からも産業界からも強く要請を受けるに至り、学会としてJ97の10年後である2007年度に改訂版を作成すべく、J07プロジェクトを発足させることとなった。2006年度は、知識項目・知識体系を整理する作業にあたった。ここにその成果を発表し、広く意見を求めるものである。

なお、現に情報専門学科では、そのカリキュラムによって、どのような知識・能力を卒業生に与えているかについてのアンケート調査を2005年度に引き続いて行った。その結果も合わせて報告し、今後の議論の材料を提供する。

●基調報告 3月6日(火) 10:05-10:20 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「J07プロジェクトの設定」

寛 捷彦 (早大/J07プロジェクト連絡委員会委員長)

【報告概要】

情報処理学会は、数度にわたって情報専門学科向けの標準カリキュラムを検討し公表してきた。その最近のものは1997年に公表されたもので、J97の名前で知られている。それから10年が過ぎようとし、情報分野の科学技術はいちだんと進展をみた。その進展に見あった標準カリキュラムを策定するべく、J07プロジェクトが進行中である。

この10年の間には、科学技術内容が進展したばかりでなく、大学教育の質の向上を目指す活動も広がった。ここでは、何を教えるか、ということ以上に、何ができるように育てるのかという教育学習目標を明らかにすることが求められている。その目標を達成させる教育の方法も多様化してきている。プロジェクト中心の学習形式も採用されるようになってきた。

こうした動きに合わせて、J07では、それぞれの教育学習領域ごとに「知識体系(body of knowledge)」を定めることを中心において作業を進めている。つまり、何をどこまで達成させるかを、できるだけ明確にすることを作業の中核に据えている。今年度は各学習領域の知識体系を策定するところまでの作業とし、広くコメントを求めて洗練しつつ、2007年度末までにカリキュラム例を作成する予定である。

略歴・写真は「特別セッション(4): パネル討論『IT人材教育における大学の役割、企業の役割』」司会紹介を参照。

●報告(1) 3月6日(火) 10:20-10:35 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「情報専門学科での達成度調査」

佐渡 一広 (群馬大/達成度調査WG)

【報告概要】

JABEE(日本技術者教育認定機構)による認定審査および情報専門教育カリキュラムに関連して、情報専門教育に関する内容の調査を行っている。学生が卒業時点においてどの程度のレベルを有するかを、「熟達している」、「活用できる」、「使用できる」、「説明できる」、「知っている」の5段階で回答してもらい、さらに具体的な内容について記載してもらうアンケート調査を行っている。

2005年7月に理工系情報学科協議会会員学科を対象に最初のアンケート調査を行い、28学科から回答を得ている。22項目について、おおよその内容と達成度を記載してもらった。2006年はこの回答結果を比較検討のうえ、同じ22項目について対象範囲をより明確にし、また記載例を示す他、新たにJABEEに関係するCS、CE、SEおよびISの4分野についての達成度の調査を含めて行っている。この調査結果および状況について簡単に述べる。



【略歴】

1977年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1979年同大学院修士課程修了。1983年同大学院博士課程単位取得退学。

1983年群馬大学工学部助手。1987年同大学助教授。1993年同大学社会情報学部助教授。理学博士。

プログラミング言語、教育支援、電子民主主義等に興味を持つ。

ACM, IEEE, 日本ソフトウェア科学会他会員。

●報告(2) 3月6日(火) 10:35-10:50 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「CS領域の知識項目」

疋田 輝雄 (明大/CS委員会委員長)

【報告概要】

わが国の理系情報学科のカリキュラムモデル案は、J97までは、米国同様、CS(コンピュータ科学)として作成し提示していた。しかし情報分野の最近の拡大と多様化によって、SE、CEなど5分野それぞれにカリキュラム案を作成することになった。その中でCSの占める位置はどのようなものだろうか。米国版CC2001CSは、知識項目からなる知識体系(BOK, Body of Knowledge)と、知識項目を組み合わせたカリキュラム例いくつかからなる。知識項目のうちコアユニット(必修)がCSの特徴付けを与えていると言える。CSのコアを一言でいうと「情報とコンピュータの基礎技術」であろう。重視されているエリアは、コアユニット所要学習時間数で測ると、離散構造、プログラミング基本、アルゴリズム、アーキテクチャ、ソフトウェア工学などである。日本版CSモデル案の作成にあたっては、この基礎技術中心の考え方を保ちつつ、日本固有の事情や特長を生かし、さらに国際共通性との調和をいかに追求するかが課題であると考えている。



【略歴】

1989年から明治大学理工学部情報科学科教授。

計算理論、ネットワークコンピューティング等に興味をもっている。

2003年から情報処理学会コンピュータ科学教育委員会委員長。

著書は「コンパイラの理論と実現」(共立出版)など。

「情報科学こんせぶつ」(朝倉書店)共同編集。

●報告(3) 3月6日(火) 11:00-11:15 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「IS領域の知識項目(ISBOK)」

神沼 靖子 (IS委員会委員長)

【報告概要】

情報システム(IS)の専門家には、情報技術の解決手法と情報に関する企業のニーズを満たす業務プロセスに焦点をあてて、企業の目標を効果的かつ効率的に達成できることが求められている。このためISカリキュラムには、情報技術と称している技術的な側面、組織や管理などに注目した組織的な概念、および組織の情報システムの仕様・設計から実装・運用に焦点をあてたシステムの理論と開発などに関する知識項目(BOK)が組み込まれる。ISBOKはISモデルプログラム(IS'97)作成時に集大成され、知識項目は4層層まで詳細化された。以後、これを基に、時代の変化を反映して追加修正することになっている。J07で検討しているISBOKは、ISJ2001(情報処理学会ISモデルカリキュラム;CC2001反映)、IS2002(IS'97の改訂版;CC2005対応)を継承しており、我が国固有の教育環境で必要な知識が反映されている。



【略歴】

1961年東京理科大学理学部数学科卒。

日本鋼管、横浜国大、埼玉大、帝京技科大を経て、2003年前橋工科大教授を定年退職。博士(学術)。

情報システム教育委員会委員長、情報処理教育委員会委員、アクレディテーション委員会委員など。

情報システム教育カリキュラムISJ2001、情報工学分野社会人キャリアアッププログラムの開発に参加。

電子情報通信学会、AIS、ACMなどの会員。情報処理学会フェロー。

●報告 (4) 3月6日 (火) 11:15-11:30 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

[SE領域の知識項目]

西 康晴 (電通大 / SE委員会幹事)

[報告概要]

我が国のソフトウェア産業、そして製造業や金融業などあらゆる産業において急務なのは、実践的なソフトウェアエンジニアリング (SE) を体系的に習得した技術者の確保である。その解決のためいくつかの大学では、経団連や文科省、経産省の支援のもとに実践的なSEの講義や演習を実施している。こうした取り組みをさらに発展させるためには、各大学の取り組みを教育体系として俯瞰的に把握し、産業界の現状やニーズ、将来像とのすり合わせを行っていく必要がある。

情報処理学会情報処理教育委員会SE教育委員会 (旧アクレディテーション委員会SEアクレディテーション分科会) ではこれまで、SEの教育体系としてCCSEをベースにし、日本の高等教育の現状を反映させたカリキュラムモデル Jpn1 を検討してきた。

今回の J07 カリキュラムの策定では、Jpn1 を軸に各大学の取り組みを俯瞰し、産業界の現状やニーズ、将来像とのすり合わせを行っていく。本講演では Jpn1 の概要を紹介し、J07 策定に向けた方針について議論を行う。



[略歴]

電気通信大学電気通信学部システム工学科講師。IPJSJ ソフトウェアエンジニアリング教育委員会幹事。

NPO 法人 ASTER (ソフトウェアテスト技術振興協会) 理事長。

NPO 法人 SESSAME (組込みソフトウェア管理者技術者育成研究会) 副理事長。

某社でソフトウェアテストに関するコンサルティング部門を立ち上げた後、電気通信大学にて研究や教育、コンサルティングを行う傍ら、ソフトウェアテストのエバンジェリストとして「現場に笑顔を」をキーワードに活動している。

●報告 (5) 3月6日 (火) 11:30-11:45 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

[CE領域の知識項目]

大原 茂之 (東海大 / CE委員会委員長)

[報告概要]

本CE領域はCE2004をベースに検討を行った。CE2004のコンピュータ工学の定義は概ね「現代のコンピュータシステムとコンピュータ制御機器に使用されているソフトとハードの要素の設計、組み立て、実装および維持する科学および技術を扱う分野」となっている。CE2004のBOKは、自動車の燃料噴射システム、医療機器などへのコンピュータの応用が主であり、組込み系に近い内容である。ただし、ややハード面に偏っており、日本で大量の不足が叫ばれている組込みソフト技術者を育成するには不十分である。委員会では、CE2004の骨子を生かしつつ、組込みソフト技術者を育成できる知識項目を追加することとした。主たる追加項目は、リアルタイムOS、ソフトウェアメトリクス、デバイスドライバなどである。回路部品による回路設計などはコアから外す方針で臨み、日本版のBOKを作成した。コア時間もハードとソフトのバランスを考え、各大学の特徴を出せるように350時間程度までに減らす方針とした。



[略歴]

1971年3月東海大学大学院工学研究科修士課程電気工学専攻修了、同年4月東海大学工学部助手、現在、東海大学情報理工学部教授、工学博士。独立行政法人情報処理推進機構SEC組込みスキル標準 (ETSS) 領域幹事、社団法人組込みシステム技術協会理事、情報処理技術者試験委員、産業構造審議会人材育成WG委員。専門は、ハプティックデバイスの同期化技術、デバイスドライバの開発支援技術、MOT、MOSなど。

●報告 (6) 3月6日 (火) 11:45-12:00 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

[IT領域の知識項目]

駒谷 昇一 (NTTソフトウェア / IT委員会委員長)

[報告概要]

情報処理教育カリキュラム J97 の後継である『J07』は5分野で構成されるが、そのうち『IT (Information Technology) 分野』について報告を行う。

情報処理学会情報処理教育委員会に新たにIT教育委員会を設置し、CC2005のIT2005をもとにIT分野のBOK (Body of Knowledge) およびカリキュラムを検討してきた。

IT分野 (IT学科) は、企業等の組織におけるIT基盤の構築・維持に関する技術を対象としている。BOKは、ネットワーク、セキュリティ、Web技術、情報管理などの12の知識分野に分かれている。IT教育委員会ではIT2005をもとにIT分野の日本語版BOKを作成した。IT分野はCC2005のなかでも最も新しい分野である。今後日本でもIT分野を教える学部学科が新設される可能性があるが、講演ではIT分野 (IT学科) の狙い、日本語化されたBOKの紹介などを行う。



[略歴]

1985年NTTソフトウェア株式会社入社

情報処理学会正会員 (代表会員)、IT教育委員会委員長、一般情報処理教育委員会幹事、論文誌編集委員、教科書編集委員。

ITSSユーザー協会導入コンサルタント認定委員会委員長、情報サービス産業協会 (JISA) 技術委員会技術者育成部会長。

著書『ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業1, 2』他

2007年3月から株式会社NTTデータ、筑波大学教授。

●質疑応答 3月6日 (火) 12:00-12:30 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

シンポジウム (2) : 5周年を迎えた JABEE 認定制度 : 現状分析と今後の展望

【全体概要】

JABEE 認定制度がスタートして5年が経過した。情報および情報関連分野でも18プログラムが認定を受けており、2006年度の審査も行なわれている。また、JABEE 内部では認定制度の見直しに関する議論も始まった。本シンポジウムでは、情報系専門学科の教育活動に対して JABEE 認定制度が与えたインパクトを検証すると同時に、IT 人材育成に関わる課題の整理を通じて、情報専門教育および IT 人材育成の今後の展望を述べる。

●講演 (1) 3月6日 (火) 15:03-15:15 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「JABEE による大学教育へのインパクト (1)」

掛下 哲郎 (佐賀大)

【講演概要】

佐賀大学知能情報システム学科では、2001年度より学部教育における教育システムの構築に着手し、2003年度に JABEE 認定を受けた。本学科の教育システムの特徴としては、(1) 学習・教育目標、評価基準、評価基準と科目の対応表を活用した系統的カリキュラム、(2) 学科 HP 等を通じた各種の情報公開、(3) 学科全教員による FD 活動、(4) 学生に対する組織的ケアなどが挙げられる。また、JABEE 認定による好影響としては、(1) 第三者評価による緊張感と教育活動の改善、(2) 学生の学力保証、(3) 学科全教員による相互協力体制の構築、(4) 定型業務のシステム化およびそれに伴う非定型業務への注力、(5) 他大学や社会に向けた視野の広がりなどが挙げられる。一方で、JABEE 認定制度に対する産業界の認識が十分とは言えない点や、IT 人材育成に関する産官学の相互理解促進、産官学連携の推進などについては、今後の改善努力が必要と考える。



【略歴】

九州大学情報工学科卒業。同博士後期課程修了。工学博士。現在、佐賀大学知能情報システム学科助教授。2001年度より学科の教育システムの構築を推進し、2003年度に JABEE 認定を受けた。2004年度より情報処理学会ア krediteーション委員会幹事および JABEE 基準委員。IT 人材育成における産学連携活動を推進中。データベースおよびソフトウェア工学を専門とする。情報処理学会、電子情報通信学会等会員。

●講演 (2) 3月6日 (火) 15:15-15:27 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「JABEE による大学教育へのインパクト (2)」

宇津宮 孝一 (大分大)

【講演概要】

地方の大学における技術者教育プログラムの JABEE 受審準備から受審および認定に至るまでの受審側の体験と審査に関わった審査側の経験を踏まえ、JABEE 認定制度に対する現状認識、認定効果、課題および将来の期待について述べる。ここでは、「計算機科学を基盤とし、知能工学を含む分野の基礎知識と基盤技術を実践に身につけ、社会の要求水準を満たす情報技術者を養成する」大分大学知能情報システム工学科「知能情報コース」を実例に取り上げる。このコースの設置理念、学習・教育目標、特色、実施状況や諸問題を題材にして述べ、更に、認定制度と教育現場が目指すもの間に存在するギャップについても触れる。また、PDCA の好循環による質的向上のために行ってきた地域の IT 企業との「教育における産学連携」や JABEE 認定後に学内で実施している「知の創造プロジェクト」などの取組みにも言及し、国際通用性のある人材養成のあり方についても考える。



【略歴】

1968年九州大学工学部電子工学科卒業。九州大学大型計算機センター等を経て1986年大分大学工学部教授(知能情報システム工学科所属)。1998年工学部長、2002年副学長(研究等担)、2006年総合情報処理センター長。2002年から財団法人ハイパーネットワーク社会研究所所長。本会九州支部長を歴任。学内や地域で情報化計画や IT 技術者教育の推進に当たる。2005年度に JABEE 認定を受ける。専門は分散仮想環境。本会のほか、IEEE、ACM 等会員。

●講演 (3) 3月6日 (火) 15:27-15:39 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

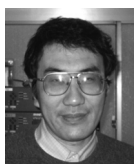
「非認定校から見た JABEE 認定制度の課題」

天野 英晴 (慶大)

【講演概要】

JABEE の導入には、教員の負担の増大、演習を積極的に行うことが困難になる、カリキュラムの変更や新たな科目や分野への進出が難しくなるなど、いくつもの問題点がある。さらに、情報分野における技術士の地位が確立されておらず、得るものも少ない。

情報分野のように新しい技術、知識が次々に生まれるホットな学問領域には、確立されたカリキュラムを前提とした JABEE は本質的に適さない点がある。学生による授業評価、自己点検等ファカルティデベロップメントをきっちり行い、きめ細かく学生に対して演習、実習を行い、定期的に外部評価を行う方式は、大きな負担と危険を冒して JABEE 認定を目指すよりも学生にとって優れた教育システムを作ることができる可能性がある。



【略歴】

1986年慶應義塾大学大学院理工学研究科修了、工学博士。現在、慶應義塾大学情報工学科に所属、設計しながらコンピュータアーキテクチャを学ぶカリキュラムを開発し、実施している。

●講演 (4) 3月6日 (火) 15:39-15:51 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「産業界の IT 人材育成と大学への期待」

富野 壽 (JISA)

【講演概要】

我が国の情報サービス産業の概況について簡単にふれ、JISA における人材問題の現状認識と JISA における高度ソフトウェア技術者育成への取組みの現状について紹介する。ソフトウェアの重要性は益々増大し、ソフトウェア技術者に対するニーズは多様化している。一方、ソフトウェアシステム開発の現場では、情報工学を専攻した人材が必ずしもを主役を演じていない産業界の実態がある。大学に対する産業界の期待は、いつにかかって将来さまざまなソフトウェア開発組織において主導的役割を演ずることができることができる特色ある優れた「実務家の卵」の育成であり、なかんずくソフトウェア工学についての基礎的素養を身につけた人材の輩出であることについてふれる。

略歴・写真は「特別セッション (5) パネル討論『先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムへの期待』」パネリスト紹介を参照。

●講演 (5) 3月6日 (火) 15:51-16:03 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「JABEE および産学連携教育の現状」

山野井 昭雄 (JABEE)

【講演概要】

私が2001年から2006年まで担当した日本経団連の産学官連携推進部会の主要なテーマは、今後益々進展し、また競争も厳しくなるグローバルな経済の下で、世界に通用する人材の育成に関するものであった。まず、ここ7～8年来入社して来た技術系の新入社員(部会構成企業33社は約80%が修士卒)について調査し論議した結果、その特徴(良い点および問題点)が浮き彫りになった。国際競争力の維持、強化の上で、またフロント・ランナーとしてイノベーションを先導する上で、これらの問題点の解消をどう進めるかが課題になった。複数の仕組みが考えられ、そのうちいくつかは既に実行段階にある。仕組みの中の重要な一つがJABEE認定プログラムの実行であり、特に今後の大学院認定への期待感がある。

なお、産学連携の重要性が喧伝され実情も進捗しているが、しかし相互理解はまだまでであり、その為の切磋琢磨の対話がもっと必要と考えている。



【略歴】

1958年3月東京大学農学部農芸化学科卒業、同年4月味の素株式会社入社、1995年6月同社代表取締役専務、1997年6月同社代表取締役副社長、2001年6月同社技術特別顧問、2005年6月同社顧問、現在に至る。2001年7月～2005年6月日本経団連産業技術委員会産学官連携推進部会長、2002年4月農林水産省独立行政法人評価委員会委員、同委員会農業分科会委員(兼任)、2003年3月文部科学省科学技術・学術審議会人材委員会委員、2004年4月独立行政法人大学評価・学位授与機構監事、国立大学法人東北大学経営協議会委員、2005年1月国立大学法人東京大学産学連携協議会アドバイザーボード、同年10月富山県立大学アカデミック・アドバイザー、2006年11月独立行政法人科学技術振興機構アドバイザー委員会委員。

●総合討論 3月6日 (火) 16:03-17:30 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]



司 会：牛島 和夫 (九産大)

【略歴】

1961年東京大学工学部卒、1977年九州大学工学部教授、2001年九州大学名誉教授、同年、財団法人九州システム情報技術研究所長、2002年4月九州産業大学情報科学部教授・学部長、本会理事、監事、九州支部長を歴任、2003年本会名誉会員、現在本会アクレディテーション委員会委員長。

パネリスト：天野 英晴 (慶大)

略歴・写真は「講演 (3) 非認定校から見た JABEE 認定制度の課題」を参照。

パネリスト：宇津宮 孝一 (大分大)

略歴・写真は「講演 (2) JABEE による大学教育へのインパクト (2)」を参照。

パネリスト：掛下 哲郎 (佐賀大)

略歴・写真は「講演 (1) JABEE による大学教育へのインパクト (1)」を参照。

パネリスト：富野 壽 (JISA)

略歴・写真は「特別セッション (5) パネル討論『先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムへの期待』」パネリスト紹介を参照。

パネリスト：山野井 昭雄 (JABEE)

略歴・写真は「講演 (5) JABEE および産学連携教育の現状」を参照。

シンポジウム (3)：情報家電ネットワーク：技術とサービス ーニーズとシーズとのギャップを埋める方策は？ー

【全体概要】

ユビキタス情報化社会の進展の中で、情報家電が登場し始めているが、本格的普及には至っていない。情報家電の利用で期待されるサービスに対応するニーズと、それを実現する技術となるシーズとの間のギャップが未だ大きいことが、大きな要因と考えられる。本セッションでは、このギャップについて議論し、それを埋めるための解決策を探る。

最初に、情報家電ネットワークとサービスの最新動向を概観し、重要技術として注目されている「情報家電サービスのプラットフォーム」、「電力線通信(PLC)」、「通信放送融合」の各技術について講演する。次に、これらの技術を用いて今後の市場を開拓することが期待されるいくつかの新しいサービスについて講演し、最後にニーズとシーズとのギャップを埋めるための方策に関して、パネル討論を行う。

●講演 (1) 3月7日 (水) 9:30-9:45 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「情報家電ネットワーク・サービスの最新動向」

阪田 史郎 (千葉大)

【講演概要】

ユビキタスネットワーク実現のための中核的な役割を果たす情報家電ネットワークに関するニーズとシーズ、標準化の最新動向について、2006年3月に行ったヨーロッパ調査を含め、2004年から2006年にわたる情報処理相互運用技術協会 (INTAP) における調査研究内容を中心に講演する。屋内のホームネットワークとしては、既に無線LANが定着し、今後は防犯・防災や医療・健康などの目的でZigBeeをはじめとするセンサネットワークの家庭内での利用も考えられる。本稿では、無線LAN、UWB、PLC、ZigBeeなどの屋内のネットワーク、およびネットワーク上で動作するUPnP、OSGi、DLNAなどのミドルウェア、屋外の携帯電話やPCから屋内の情報家電機器を監視したり制御したりするための相互連携方式 (ホームゲートウェイ、NAT越え方式、SIPなど) に関して最新動向と将来予測を述べる。



【略歴】

1974年早稲田大学理工学部電子通信修士卒。同年NEC入社、以来同社中央研究所にて、コンピュータネットワーク、マルチメディア通信、インターネット、モバイルコンピューティング、ユビキタスシステム等の通信とコンピュータの統合領域の研究に従事。工学博士。同社パーソナルC&C研究所所長、インターネットシステム研究所所長を経て2004年より千葉大学大学院教授。1997～99年奈良先端科学技術大学院大学客員教授。情報処理学会フェロー。情報処理学会山下記念研究賞受賞。電子情報通信学会監事・理事、情報処理学会理事・監事歴任。著書・共著書「マルチメディアシステム」、「モバイルコンピューティング」、「インターネットとQoS制御」、「インターネットプロトコル」、「ユビキタス技術 無線LAN」、「ユビキタス技術 センサネットワーク」、「SIP/UPnP 情報家電プロトコル」、「ZigBee センサネットワーク」、「UWB/ワイヤレスUSB」、「組込みシステム」他30余。

●講演 (2) 3月7日 (水) 9:45-10:00 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「情報家電サービス普及に向けた共通プラットフォーム技術」

松岡 恭正 (三菱電機)

【講演概要】

パソコン、携帯電話以外の情報家電機器に向けたインターネットサービスはまだ揺籃期にある。今後情報家電向けのサービスが普及していくには、家庭内外のネットワークや機器間で相互接続性が確保され、多様な企業やサービス事業者がビジネスに参入できる環境を整える必要がある。この環境を支える共通プラットフォーム技術として財団法人情報処理相互運用技術協会と国内メーカー6社が共同で開発している「デジタル情報機器の統合リモート管理基盤技術」を紹介する。主要技術テーマは、(1) サービスを安全確実に提供するための「機器認証運用管理技術」、(2) 種々のサービスを集約・管理するサービスポータルと家庭内ホームコントローラ間の通信プロトコルやこれらのサーバや機器に搭載されるソフトウェアフレームワークを提供する「高信頼リモート管理技術」、(3) 多様なサービス事業者から各家庭のデジタル情報機器を安全・確実にリモート管理するための「サービスポータル基盤技術」である。紹介技術は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) より委託を受け実施した開発成果であり、その仕様は広く公開していく予定である。



【略歴】

1976年三菱電機入社、ミニコン、汎用機等のコンパイラ技術、システム生産技術、高信頼Webシステムアーキテクチャ等オープン系システム技術の研究開発に従事。現在は、情報システム関連の技術政策を担当し、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) デジタル情報機器相互運用基盤プロジェクト (デジタル情報機器の統合リモート管理基盤技術の開発) に参画している。三菱電機株式会社インフォメーションシステム事業推進本部所属。

●講演 (3) 3月7日 (水) 10:00-10:15 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「電力線通信 (PLC) の最新動向」

北口 進 (シャープ)

【講演概要】

FTTHをはじめとするブロードバンドネットワークの普及に伴って、これを利用した映像配信など新しいサービスが期待されている。また、PCやHDレコーダを中心として、音楽、静止画、ビデオなど家庭内におけるローカルコンテンツの蓄積も急速に増加している。これらのサービスやコンテンツをTVなどの情報家電端末で自由に楽しむためには、高速でかつ設置が自由なホームネットワーク環境の提供が重要となる。この候補として注目されている高速電力線通信技術 (PLC) の動向について概観する。情報家電向けネットワークとしての要件、ホームネットワークの他の媒体との比較、PLC技術概要、業界における動向、応用商品像などに触れる。



【略歴】

1976年シャープ株式会社入社、オフィスコンピュータの開発、ローカル・エリアネットワーク・システム及び構内交換機の開発等を経て、現在ホームネットワークの研究開発に従事。ワイヤレスLANを用いた家庭内AVネットワークやPLCによるホームネットワーク開発を担当。IEEE会員。現職：シャープ株式会社技術本部プラットフォーム開発センター副所長、ネットワークプラットフォーム開発室長兼務

●講演 (4) 3月7日 (水) 10:15-10:30 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「デジタル放送のIPマルチキャスト伝送技術」

藤田 欣裕 (NHK放送技研)

【講演概要】

通信と放送の連携と言われて久しく、制度的な問題を含め、さまざまな議論が行われている。また昨年12月には全国すべての都道府県で地上デジタル放送が視聴可能となるなど、放送のデジタル化の一層の普及により、放送コンテンツと情報家電ネットワークとの親和性はますます高まっている。放送コンテンツの情報家電向けのニーズは高く、情報ネットワークへの波及効果も大きい。

特に、より親和性が高まる技術手段として、IPマルチキャスト伝送技術が注目されている。本講では、技術的な視点から、デジタル放送のIPマルチキャスト伝送技術について、開発事例や動向などを紹介し、解決すべき課題を考察する。



【略歴】

1976年東京大学工学部電気工学科卒業。同年日本放送協会、大阪放送局を経て1980年より同放送技術研究所、(1998～2000年)技術局開発センター、現在放送技術研究所 (システム) 部長、工博。

超高精細撮像システム、制作送出システム、放送通信連携システムなどの研究開発に従事。

(2002～2004) 映像情報メディア学会総務理事、情通審ITU-T技術部会専門委員、電波産業界デジタル放送システム開発部会委員長。

●講演 (5) 3月7日 (水) 10:30-10:45 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「家庭向ブロードバンドコンテンツサービス」

川原 洋 (ソフトバンク BB)

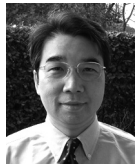
【講演概要】

ケーブルや衛星を含むテレビ放送の番組コンテンツはチャンネル数と放送時間に制限があるため、視聴率に従って番組やチャンネルが選定される。一方視聴者数にかかわらず、多様なかつ高質なコンテンツの放映や実況中継時間の柔軟性に対する期待は少なくない。

そこで実況放送やビデオコンテンツの視聴要求に対する応えとして、インターネットを媒体とするコンテンツ配信が考えられ、いくつかの大手動画ポータルサイトにおいて配信されている。

しかし、インターネット上でいわゆる1対1の通信方式を以って高画質な動画の配信を数万規模の視聴者に対して行なうことは、非常にコストがかかるだけでなく、ネットワークの負荷を著しく上げることにもなる。

この問題の解決のため、昨今インターネット上に視聴者のPCをノードとするオーバーレイマルチキャストによる配信システムが実用化され効果を上げている。本パネルでは、その事例報告と今後の適用分野について解説する。



【略歴】

1984年マサチューセッツ工科大学工学部博士課程卒業。工学博士 (Sc.D.)。

多国籍石油探査企業、国内大手独立系SI企業、外資系ソフトウェアメーカーを経て、2000年ソフトバンク ECホールディングス (現ソフトバンク BB) に入社。以来、数々の海外IT企業との合弁会社の設立や国内ITサービスの起業に参画。

一貫してソフトバンク・グループ内主要新規事業会社のIT基盤構築を担当。

2005年12月より現職。「ヤフー動画」向け動画配信システムの開発と運用の総指揮をとる。

●講演 (6) 3月7日 (水) 10:45-11:00 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「デジタルコンバージェンスは何をもたらすか」

山上 俊彦 (ACCESS)

【講演概要】

デジタルコンバージェンスとは、従来、アナログ技術の異質性によって、事業領域的にもビジネスモデル的にも分割されていたさまざまな領域が、デジタル技術によって統合されていくことを示す。特に、通信、放送、家電、コンピュータなどの領域が融合していくことは、新しいビジネスエコシステムの成立を予感させるものとして語られている。デジタルの本質は再利用できることであり、一度しか使わないのならばデジタルにする意味はあまりない。この場合の再利用は時間軸、空間軸の両方を意味している。

デジタルコンバージェンスが影響すると考えられる領域は4つある。これらについて議論していく。

- (1) ビジネスモデルの転換：通信、放送、家電、コンピュータ、ゲームなどのビジネスモデルの変質、技術とビジネスモデルの誘引関係の変質
- (2) コンテンツ利用：時間シフトと空間シフト
- (3) コンテクスト空間：マルチコンテクスト、パブリックとプライベートの相互侵食
- (4) パーソナライズの拡大：自分を対象とするコンテンツの拡大、エゴやアイデンティティの変質

特にビジネスモデルの転換は産業領域全体への影響が大きく、デジタル権利保護や政策的誘導も深く関係するところである。これらは、ビジネスモデルを誰が率先して変革していくかも含めて不確定性が大きい。一方、それを触発する技術のほうはまったなしに進展しており、家庭ネットワークの大きな進展は新しいデジタルハブが一般家庭をベースに日本中に波及していく可能性を秘めている。

情報家電インターネット技術を例にデジタルコンバージェンスの展望を議論していく。



【略歴】

東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。電電公社横須賀電気通信研究所、AT&T ベル研究所、NTT マルチメディアビジネス開発部、NTT データ新世代情報サービス推進部を経て、現在 (株) ACCESS 技術戦略企画本部 Senior Specialist。通信プロトコル、協調行動支援システム、セキュリティなどを研究。1995年情報処理学会山下記念研究賞受賞。ISO SC18/WG4 国内主査、情報処理学会グループウェア研究会幹事などを務めた。また、携帯電話インターネットの標準化に取り組み、W3C XHTML Basic の Co-editor や WAP Forum WML 2.0 の Editor を務めた。東京農工大客員教授。

●パネル討論 3月7日 (水) 11:10-12:00 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

「情報家電ネットワークとサービス ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は?」

【討論概要】

ユビキタス情報化社会の進展に向けて、情報家電が登場し始めて久しいが、本格的普及には至っていない。情報家電の利用で期待されるサービスに対応するニーズと、それを実現する技術となるシーズとの間のギャップが未だ大きいことが、大きな要因と考えられる。本セッションでは、ニーズとシーズの最新動向を踏まえてこのギャップについて議論し、それを埋めるための解決策を探る。

はじめに、情報家電ネットワークに関する技術、標準化およびサービスに関する最新動向を概観し、今後中核的な役割を果たすものとして注目されている「情報家電機器とネットワークのプラットフォーム」、「電力線通信 (PLC)」、「通信放送融合」の各技術について講演する。次に、これらの技術を用いて今後の市場を開拓することが期待されるいくつかの新しいサービスについて講演し、最後にニーズとシーズとのギャップを埋めるための課題や方策、今後の展開に関して、パネル討論を行う。

司 会：阪田 史郎 (千葉大)

略歴・写真は「講演 (1) 情報家電ネットワーク・サービスの最新動向」を参照。

パネリスト：川原 洋 (ソフトバンク BB)

略歴・写真は「講演 (5) 家庭向ブロードバンドコンテンツサービス」を参照。

パネリスト：北口 進 (シャープ)

略歴・写真は「講演 (3) 電力線通信 (PLC) の最新動向」を参照。

パネリスト：中島 達夫 (早大)

略歴・写真は「特別セッション (1) : パネル討論『次世代組込みソフトウェアにおける産学連携』」司会紹介を参照。

パネリスト：藤田 欣裕 (NHK 放送技研)

略歴・写真は「講演 (4) デジタル放送のIPマルチキャスト伝送技術」を参照。

パネリスト：松岡 恭正 (三菱電機)

略歴・写真は「講演 (2) 情報家電サービス普及に向けた共通プラットフォーム技術」を参照。

パネリスト：山上 俊彦 (ACCESS)

略歴・写真は「講演 (6) デジタルコンバージェンスは何をもたらすか」を参照。

シンポジウム (4) : "Competitive Learning (競合学習)" を進めよう

[全体概要]

次の週 (3月12日~16日) に世界最大規模のプログラミングコンテストである "ACM ICPC World Final" が東京で開催されるのを機に, ACM ICPC 責任者の B. Poucher を招いて, ICPC を紹介する.

大学生向けの ICPC と同様に, 今年から参加が再開された高校生対象の情報オリンピック (IOI) についても紹介する. 今年の IOI では, 日本チームが金メダルを獲得している. これらの「競技会」へ生徒・学生を参加させることを通じて, 日本にいる情報に興味をもった若い沢山の逸材を掘り起こし, 実力をつけ, 引き立て, 磨き上げることは, 日本の IT を元気にする一つの道である.

特に, 「競技会」という場が, 問題を解いたら優勝できるというわかりやすいことに起因している. 同時に, たとえ, 優勝できないとしても, 一番簡単な問題だけは解けるようになりたいなどの, 実力に合わせた目標をたてることのできる.

こういった競技会を通すことによって, プログラミングスキルを向上させ, 情報の分野全体を向上させる一つの道筋を検討する.

●基調講演 (1) 3月7日 (水) 14:30-15:05 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

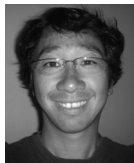
[情報オリンピックと日本での取り組み]

谷 聖一 (日大)

[講演概要]

国際情報オリンピック (IOI) は, 高校生を中心とした 20 歳未満の生徒を対象にした 8 つある国際科学オリンピックの 1 つである. 1989 年に第 1 回大会が開催されて以来, 今年 8 月に開催予定のクロアチア大会で 19 回を数える. IOI の目的は, 情報の科学的側面に特別な才能を有する生徒を見出し, その能力の育成を助成し, 選手・教育者間の国際交流を図ることなどである. 情報オリンピック日本委員会でも, 国内オリンピックの開催や選手の派遣を通じて, 中高生に楽しみながら情報科学に触れる機会を提供することを目指している. IOI 自体は, 回数を重ね, 参加国が増えるなど状況に変化に伴い, これらの目的を実現するためにあり方を再検討する時期に来ている. また, 他の科学オリンピックと異なる情報ゆえの課題も存在する.

これらの事情と出題される問題の解説を交え, 情報オリンピックの概要を報告する.



[略歴]

1987 年早稲田大学理工学部数学科卒業. 博士 (理学).

現在, 日本大学文理学部情報システム解析学科教授.

研究分野は, 計算量理論, アルゴリズム論など. 特に, 計算論的位相幾何学.

(特非) 情報オリンピック日本委員会理事.

2005 年国際情報オリンピックメキシコ大会日本代表団団長.

●基調講演 (2) 3月7日 (水) 15:05-15:35 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

[What's ICPC]

Bill Poucher (Baylor University, ACM ICPC Director)

[講演概要]

大学生向け世界最大規模のプログラミングコンテストである ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト (ACM/ICPC) ACM International Collegiate Programming Contest World Final が東京で開かれる.

今回は, その ACM/ICPC を通し, コンテストにおいて培われた技術 (PC²) を利用してコンテストと教育について議論する.



[略歴]

Ph. D. Mathematics of Computing (Combinatorics), Auburn University.

M.S. Mathematics, Auburn University.

B.S. Mathematics Music, Auburn University.

現在, Professor of Computer Science, Baylor University. ACM ICPC Director.

ACM Fellow.

●基調講演 (3) 3月7日 (水) 15:35-15:55 [第2 イベント会場 (57号館2階 202)]

[ICPC への日本での取り組み]

柴山 悦哉 (東工大)

[講演概要]

ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト (ICPC) に対する日本での取り組みが本格的に始まったのは 1998 年であり, 今年がちょうど 10 年目の節目にあたる. 当初は参加チームも少なかったが, 近頃では, 国内予選への参加チーム数が 200 を超え, 大学数で数えても 60 を超えるようになった. 挑戦する意欲のある若者にとって, またとない腕試しの場となっている. さらに, アジア地区予選まで駒を進めると, 海外チームの強いモチベーションと勝負へのこだわり, そして世界の広さに触れることもできる. しかし, 競争だけが ICPC の本質ではない. 1 チーム 3 名に 1 台の PC のみが割り当てられる環境で競技が行われるため, チーム内での協調もまた重要になる. 5 時間程度にわたって集中力を持続しながら戦い続ける姿は「考えるチームスポーツ」と言ってもよいだろう. 日本での過去 10 年間にわたる ICPC への取り組みについて報告する.



[略歴]

1983 年京都大学理学研究科修士課程修了. 理学博士.

東京工業大学助手, 龍谷大学講師, 東京工業大学助教授を経て, 2000 年より東京工業大学情報理工学研究科教授.

情報処理学会プログラミング研究会主査, 同論文誌: プログラミング編集委員長などを歴任.

プログラミング言語, ユーザインタフェースソフトウェア, ソフトウェアセキュリティなどに興味を持つ.

ACM 日本支部 ICPC Board メンバー.

●パネル討論 3月7日(水) 16:05-17:00 [第2イベント会場 (57号館2階 202)]

["competitive learning (競合学習) "を進めよう]

[討論概要]

大学生向け世界最大規模のプログラミングコンテストである"ACM ICPC World Final"や高校生対象情報オリンピック(IOI)における日本チームの取り組みから、コンテストを通じたプログラミング教育について検討を行う。

プログラミングコンテストは、プログラミングの楽しさを教える一つの方法である。

コンテストは、強くなるということが優勝することだけではなく、自分にあった目標を立て、実力に応じた一つ一つを少しずつステップアップするというテーマ設定が可能である。また、学生間で自主的に進めていくことも可能である。

このパネルディスカッションでは、学生にどのように興味を持たせていくか、また、日本チーム全体を強くすることによって、情報教育の全体的な活性化の方法について議論する予定である。



司 会：繁富 利恵 (産総研)

[略歴]

2001年3月津田塾大学芸学部情報数理学科卒業。2003年3月同大学院理学研究科数学専攻修士課程修了。

2006年3月東京大学情報理工学系研究科電子情報学専攻博士課程修了、博士(情報理工学)。

同年4月より産業技術総合研究所情報セキュリティ研究センターセキュリティ基盤技術研究チームにおいて研究員として勤務。

この間、暗号プロトコル、プライバシー保護技術などの研究に従事。

パネリスト：柴山 悦哉 (東工大)

略歴・写真は「基調講演(2) ICPCへの日本での取り組み」を参照。

パネリスト：谷 聖一 (日大)

略歴・写真は「基調講演(1) 情報オリンピックと日本での取り組み」を参照。



パネリスト：柳沢 弘揮 (日本IBM)

[略歴]

1996年日本情報オリンピック本選出場。1997年京都大学工学部情報学科入学。1999年ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会18位。2001年同世界大会14位。同年同大学卒業。2003年同大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム株式会社東京基礎研究所入所。2007年ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト東京大会の運営に携わる。

第1分冊

(アーキテクチャ)

一般セッション [1A会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

ハイパフォーマンスコンピューティング

座長 板倉 憲一 (海洋研究開発機構)

- 1 階層型共有メモリプログラミング言語 MpC を用いた TSP の並列処理
○小山浩生, 鈴木絢子, 緑川博子 (成蹊大)
- 2 メモリバストレーズによるメモリ復元手法の検討
○望月泰行, 五十嵐史生, 黒澤寿好 (三菱)
- 3 メモリバストレーズによるメモリ復元手法の評価
○五十嵐史生, 望月泰行, 黒澤寿好 (三菱)
- 4 移動物体シミュレーションを対象とした動的タイムステップ制御方式の改良
○白石 将, 尾崎敦夫, 渡部修介, 古市昌一 (三菱)
- 5 動的タイムステップ制御方式の道路交通シミュレーションへの適用検討
○尾崎敦夫 (三菱), 松下和隆 (三菱電機インフォメーションシステムズ), 白石 将, 渡部修介, 古市昌一 (三菱)
- 6 Performance Improvement of Treecode Algorithm for N-Body Problem with Hybrid Parallel Programming
○Duy Truong Vinh Truong Katsuhiko Yamazaki, Shigeru Oyanagi (立命館大)
- 7 セルラオートマトンを用いた火災延焼シミュレーションの並列化
○林 亮子, 河津健太 (金沢工大)

一般セッション [2A会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

システム LSI 設計技術 (1) 座長 木村 啓二 (早大)

- 1 微細 MOSFET のゲートリーク電流を考慮した 2 電源型システム LSI の低消費電力設計法
○渡辺重佳, 花見 智 (湘南工科大)
- 2 3 次元型トランジスタ FinFET を用いたバッファ回路の新設計法とその大容量 DRAM への適用検討
○渡辺重佳, 岡本恵介 (湘南工科大)
- 3 C 言語ベースのシステムレベル設計ツールの試作 - 宇宙用デジタル電子機器設計への適用例 -
○山本徹也, 西原雄次, 小池輝昌, 辻 政信 (宇宙航空研究開発機構)
- 4 C 言語ベースのシステムレベル設計ツールの試作 - 設計詳細化フローにおける形式的等価性検証機能とその適用 -
○西原雄次, 山本徹也, 小池輝昌, 辻 政信 (宇宙航空研究開発機構)
- 5 MATLAB/Simulink からの高位合成手法を用いた LSI 設計事例
○松田昭信, 南谷 崇 (東大)
- 6 動的再構成可能な信号処理部を持つ MP3 復号専用プロセッサのためのビットストリーム処理回路
○小椋清孝, 山本理宏, 三宅 玲, 森下賢幸, 大曾根隆志 (岡山県大)

一般セッション [3A会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

システムソフトウェア構成法 座長 品川 高廣 (筑波大)

- 1 ドライバプログラムの効率的な構成制御法
○滝口真一, 田端利宏, 乃村能成, 谷口秀夫 (岡山大)
- 2 AnT における NIC ドライバプロセスの実現
○岡本幸大, 乃村能成, 田端利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 3 動的リンク機構を利用したバイナリコードパッチ機能の設計
○大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 4 ソースコード解析情報に基づく細粒度マルチスレッド制御法の提案
○森山英明, 乃村能成, 谷口秀夫 (岡山大)
- 5 Tender 上の Web サーバにおける資源再利用機能の効果
○佐伯顕治, 田端利宏, 谷口秀夫 (岡山大)

一般セッション [4A会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)

システムの運用と性能評価 座長 光来 健一 (東工大)

- 1 自律運用管理に向けた設定情報管理手法に関する一考察
○加藤清志, 大野允裕, 中村暢達 (NEC)
- 2 Linux スレッドライブラリ NPTL の評価
○荒木 裕, 熊谷宏樹, 上床克樹, 佐久間毅 (東芝デジタルメディアネットワーク社)
- 3 iSCSI を用いた IP-SAN 統合 PC クラスタの性能に関する一考察
○神坂紀久子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 喜連川優 (東大)

- 4 マルチコアアプリケーション間通信方式の設計と評価
○元濱 努, 片山吉章, 松本利夫 (三菱), 山本 治 (ルネサステクノロジ)

- 5 PCI のリアルタイム性評価
○茂田井寛隆, 大谷治之, 落合真一 (三菱)

学生セッション [1K会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

コンパイラとマルチスレッド 座長 佐藤 真琴 (日立)

- 1 実行時プロファイルを用いた Haskell 向け自動並列化の実装
○青江光敏, 千葉雄司, 土居範久 (中大)
- 2 複雑な制御流を含むループに対応したバイナリレベル自動並列化処理系の実装
○芝崎 諒, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 3 Ruby 用動的コンパイラにおける脱仮想化の実装
○齋藤 学, 千葉雄司, 土居範久 (中大)
- 4 粒度自動調整機能を持つマルチコア対応ジョブスケジューラ
○江藤雅一, 三原洋平, 中島克人 (電機大)
- 5 デュアルコアプロセッサの OLTP における性能解析
○千葉将人, 大井 仁 (会津大)
- 6 マルチスレッドコードへのループアンローリング適用による高速化
○増澤英樹, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 7 マルチスレッド化の実行時適否判定処理の評価
○井場 徹, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 8 バイナリコードにおけるスレッド間メモリアクセス依存の実行時チェック手法
○豊田貴志 (宇都宮大), 佐藤智一 (小山高専), 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 9 パスの実行頻度を考慮したスレッド分割手法の初期評価
○小川大仁, 小林崇彦, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)

学生セッション [2K会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

並列・分散処理アーキテクチャ 座長 森 敦司 (富士通研)

- 1 多数のコアを集積する CMP におけるネットワークの検討
○佐藤真平, 佐々木豊, 吉瀬謙二 (東工大)
- 2 マルチコアプロセッサにおけるデータ転送能力から見た適切なコア数の検討
○若林直樹, 馬場敬信, 横田隆史, 大津金光 (宇都宮大)
- 3 VLIW 実験環境 CHA-MEN を開発基盤とした CMP シミュレータの一実装
○青木 勲 (宇都宮大), 古川文人 (帝京大), 月川 淳, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 4 中小規模並列コンピュータ Ships1 の開発
○松尾成志, 岡本恵介, 大谷 真 (湘南工科大)
- 5 Ships1 における遠隔コンソール機構の開発
○加藤 悠, 松尾成志, 大谷 真 (湘南工科大)
- 6 Ships1 におけるノード間接続装置の研究
○松原裕人, 和田 卓, 大谷 真 (湘南工科大)
- 7 Ships1 におけるシステム統合リポジトリの設計
○櫻井一欽, 加藤 悠, 大谷 真 (湘南工科大)
- 8 Ships1 におけるネットワーク性能の測定と評価
○岡本恵介, 松原裕人, 大谷 真 (湘南工科大)
- 9 Ships1 開発プロジェクトへの CMS の適用
○和田 卓, 櫻井一欽, 大谷 真 (湘南工科大)

学生セッション [3K会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

ハイパフォーマンスコンピューティング 座長 合田 憲人 (東工大)

- 1 Continuation 問題に対する Lanczos 法の有効性について
○安部太謙, 野寺 隆 (慶大)
- 2 CHA-MEN 広域命令スケジューラ用プロファイルの実装
○米田淳一, 青木 勲, 岡 大輔 (宇都宮大), 古川文人 (帝京大), 月川 淳, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 3 無線ネットワークシミュレータ GloMoSim の並列化
○加藤剛史, 松垣博章 (電機大)
- 4 異オペレーティングシステム混合クラスタによる並列計算の検討
○戸倉由貴, 當山孝義, 谷澤 茂 (日本工大)
- 5 非均質環境における分散アルゴリズムの性能予測と利用支援環境の構築
○千田成樹, 菅谷至寛, 阿曾弘具 (東北大)
- 6 Dynamic Resource Planning for Grid Computing System Based on Capacity Planning
○野々田峰寛, 小野寺直歌, 福田裕大, 中村太一 (東京工科大)

学生セッション [4K 会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)

プロセッサアーキテクチャと設計事例 座長 鳥居 淳 (NEC)

- 1 スーパースカラプロセッサにおける CHAIN 手法とその効果
○孟 林, 小柳 滋 (立命館大)
- 2 分岐履歴のパターンマッチングと命令アドレスを用いた分岐予測精度の検討
○田原慎也, 吉瀬謙二 (東工大)
- 3 ハードウェア分岐予測機構がないプロセッサにおけるソフトウェア分岐予測の可能性
○佐々木豊, 吉瀬謙二 (東工大)
- 4 (講演取消)
- 5 組込みタイプロセッサの設計とマルチメディア命令の実装
○田路真也, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)
- 6 PISA ベース VLIW プロセッサの FPGA による試作
○三村貴志, 中島伸吾, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 7 パケットフィルタリングのハードウェア設計
○田所儀大, 松村暢也, 小柳 滋 (立命館大)
- 8 FPGA を用いた高信頼システムにおける最適なバックアップコンテキストに関する考察
○高橋正太, 野地亮志, 市原英行, 井上智生 (広島市大)
- 9 演算要素にカウンタ制御を付加した動的再構成デバイスアーキテクチャの構築
○濱田貴之, 加島啓太, 北村智広, 浜辺直輝, 柴田 浩 (阪工大)

学生セッション [5K 会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

OS 構成法 座長 新井 利明 (日立)

- 1 コンテキストウェアオペレーティングシステムのための割込みを契機としたコンテキストの取得法
○岩永真幸, 鈴木和久, 毛利公一 (立命館大)
- 2 仮想マシン環境における並列ベンチマークを用いた性能評価
○部坂有希子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 3 仮想計算機モニタを用いた OS 動作状況観測手法
○金城 聖, 鈴木和久, 毛利公一 (立命館大)
- 4 ネットワークを利用したカーネルデバッグ対応コンソールの設計と実装
○濱 善幸, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)
- 5 マルチプロセッサにおけるリアルタイムタスクのスケジューリングアルゴリズムの提案
○西山真穂, 兪 明連, 横山孝典, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 6 リアルタイムスケジューリングのための実験基盤の開発
○黒井崇史, 早川栄一 (拓大)
- 7 Web サーバの処理効率化のためのスケジューリング機構について
○加地智彦, 最所圭三 (香川大)
- 8 組込みシステム学習環境「港」における仮想マシンマネージャの開発
○青山誠一, 早川栄一 (拓大)
- 9 省電力 OS のための QEMU を用いたシステム評価環境の実現
○松尾和弥, 並木美太郎 (農工大)

学生セッション [6K 会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

分散システム構成法 座長 立掘 道昭 (日本 IBM)

- 1 ElementComputing の研究
○中村和敬, 日比野靖 (北陸先端大)
- 2 ユビキタス計算機環境のためのオンラインストレージによる分散仮想ディスクシステムの開発
○野尻祐亮, 並木美太郎 (農工大)
- 3 大規模分散ファイルシステム「Community Storage」の研究
○浅田拓也, 田胡和哉 (東京工大)
- 4 Java におけるリフレクションの特殊化
○杉本 駿 (早大), 古関 聡, 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)
- 5 拡張 ARP による複数 NIC を用いた広帯域通信
○小野真和, 齊藤 輪, 桧垣博章 (電機大)
- 6 ITRON 仕様 TCP/IP プロトコルスタックへの IPsec の実装
○小野田晃久, 牛丸真司 (沼津高専)
- 7 VPN 複数経路 iSCSI ストレージアクセスにおける TCP 輻輳ウィンドウの解析
○千島 望 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 8 イーサネットの機能のみを用いた通信モデルの提案と実装 - ブロードキャスト機能を利用したイーサフォン
○吉岡正博, 小高知宏, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小倉久和, 白井治彦 (福井大)

9 移送に適したプロセスの選択方法について

On a better process selection for migration

○野崎広弥, 中山泰一 (電通大)

学生セッション [1L 会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

システム LSI 設計技術 (2) 座長 島崎 健二 (松下)

- 1 システム LSI における多電源方式とダイナミック電源方式の比較
○花見 智, 金井雅樹, 永澤 晃, 渡辺重佳 (湘南工大)
- 2 3次元型トランジスタによる LSI のパターン面積の縮小効果の検討
○岡本恵介, 渡辺重佳 (湘南工大)
- 3 設計仕様解析によるハード/ソフト最適分割手法と暗号システムへの応用
○梅原直人, 和田智行, 山崎勝弘 (立命館大)
- 4 組込みシステムにおける画像処理の HW/SW 協調設計
○中村徳雄, 小泉寿男, 遠藤 聡 (電機大)
- 5 SHA Implementation on Soft Core Processor for Hardware/Software Optimization
○Anh Tuan Hoang, Katsuhiko Yamazaki, Shigeru Oyanagi (立命館大)

学生セッション [2L 会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

可視化 座長 加納 健 (NEC)

- 1 MPEG2 エンコーダにおけるコード最適化の適用とその効果
○矢野目秀人, 佐藤和史, 高橋恭平, 増保智久, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 2 MPEG2 デコーダにおけるコード最適化の適用とその効果
○佐藤和史, 矢野目秀人, 高橋恭平, 増保智久, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 3 注視空間を考慮した3次元大容量データの縮約表現
○宮崎大輝, 高丸尚教, 大石智彦, 名和裕香, 丹下靖文 (中部大)
- 4 4次元シミュレーションデータビューアの開発
○杉山大祐 (湘南工大), 川原慎太郎, 陰山 聡 (海洋研究開発機構), 坂下善彦 (湘南工大)
- 5 交通シミュレータの限定描画による処理の高速化の再評価
○植田健夫, 中村俊一郎 (日本工大), 神保尚義 (EDM), 宮西洋太郎 (宮城大)
- 6 (講演取消)
- 7 マルチディスプレイとマルチプロセッサの性能評価
○居瀧陽平, 中村俊一郎 (日本工大), 中里哲久 (コンピュータ・ハイテック), 栗田靖広 (日本工大), 宮西洋太郎 (宮城大)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [5A 会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

ビジネスプロセスと要求 座長 白銀 純子 (東京女子大)

- 1 制約に基づくソフトウェア開発計画自動立案システム - 影響波及解析機能とその実現方法 -
○嶋村彰吾, 木下大輔, 高須賀公紀, 内川裕貴, 古宮誠一 (芝浦工大)
- 2 業務リファレンスモデルの構築
○石井 洋, 篠崎 衛, 武曾 徹, 相馬仁志 (三菱)
- 3 エンドユーザによるプロセスのモデル化に基づくソフトウェア合成
○古川慈之, 徳仁仁史, 澤田浩之, 松木則夫 (産総研)
- 4 インタビューによる要求抽出作業を誘導するシステムの研究 - IEEE Std 830 の記述項目と話題のカテゴリとの対応付け -
○野寄智久, 松村 治 (芝浦工大), 木口貴人 (芝浦工大/日立ソフトウェアエンジニアリング), 立松卓磨 (芝浦工大), 高橋 弘 (富士電機アドバンステクノロジー), 古宮誠一 (芝浦工大)
- 5 フィードバック制御用組込みソフトウェアにおける要求仕様書記述方式と開発環境
○佐藤芳信, 高橋 弘, 西田廣治 (富士電機アドバンステクノロジー)
- 6 フィーチャモデリングとデータモデリングを統合したプロダクトライン開発手法
○鈴木教之, 位野木万里 (東芝ソリューション)

一般セッション [6A 会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

設計と品質保証 座長 加藤 貞行 (ソルティマ)

- 1 UI 設計ツール NINA による組み込み機器用 UI 開発の効率化
○豊岡 明, 小中裕喜 (三菱)
- 2 (講演取消)
- 3 Java プログラミング初学者への単体テスト方法学習支援ツールの適用と考察
○上河内頌之, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 4 経験に基づく推測を排除したデバッグ手法の提案
～デバッグ用プログラムトレーサの開発～
○射手矢良太, 山崎雄大, 榊原正天, 赤堀文隆, 古宮誠一 (芝浦工大)
- 5 リファクタリングパターンの適用・評価とフォワードエンジニアリングへの考察
○橋本憲幸, 位野木万里 (東芝ソリューション)
- 6 コーディング作法・ルールの品質特性による分類から見る傾向と効能
○大野克巳, 平山雅之 (情報処理推進機構)
- 7 Object Model Transmigration 論の提案
○前田 稔 (東京学芸大), 松家英雄 (産能大)

一般セッション [1B 会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

数値モデルとプログラミング 座長 久保田光一 (中央大)

- 1 Balanced (C_5, C_6) -2t-Foil Decomposition Algorithm of Complete Graphs
○潮 和彦 (近畿大)
- 2 最短 N 経路探索アルゴリズム Dijkstra-Hasui 法の検証
○蓮井洋志 (室蘭工大)
- 3 Bak-Sneppen モデルのネットワーク構造依存性
○岡本麻衣子, 穴田 一 (武蔵工大)
- 4 (講演取消)
- 5 情報検索の手法を応用した設問の重要度によるランキング手法
○飯田宗玄, 保福一郎 (都産業技術高専)
- 6 鉄道路線モデルに基づくプログラムの動作の可視化
○西尾嘉矩, 六沢一昭 (千葉工大)
- 7 Realizing Bidirectional Graph Transformations From Bidirectional Tree Transformations
○熊 英飛, 胡 振江, 劉 東喜, 武市正人 (東大), 趙 海燕, 梅 宏 (北京大)

学生セッション [3L 会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

プログラミング 座長 小熊 寿 (NTT ドコモ)

- 1 CPS を用いた実行方式におけるスタックごみ集めの実時間化手法
○石中 貴, 小宮常康 (豊橋技科大)
- 2 文脈操作によりコラボレーション記述を簡易化するプログラミング言語
○羽二生典之, 南澤吉昭, 大場善次郎 (北大)
- 3 C 言語プログラミングにおけるフォーマット特性の抽出
○中島正登, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 4 Ruby における多言語処理環境に関する検討
○島田拓也, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 5 Ruby へのアスペクト指向プログラミング機構の組み込み
○佐野嘉紀, 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 6 Gauche におけるアスペクト指向契約プログラミングと依存性注入を支援する環境の作成
○江尻好治, 西谷泰昭 (岩手大)
- 7 携帯電話向け Scheme 言語処理系の開発
○松崎泰裕, 並木美太郎 (農工大)
- 8 プログラム実行過程を表す有向グラフを直接編集するデバッグシステムの研究
○日吉俊勝, 太田 剛 (静岡大)
- 9 ベクトルクロックを利用した分散プログラム用逆実行デバガ
○野田雄一郎 (静岡大)

学生セッション [4L 会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)

プログラムの解析と保守 座長 上原 忠弘 (富士通研)

- 1 オブジェクト指向プログラム改善箇所判断のための特徴量抽出
○齋藤拓弥, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 2 リファクタリング適用箇所抽出による Java プログラム作成支援
○田中幹人, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 3 類似度マトリクスを用いたリファクタリング支援ツールの試作
○木川田惇, 杉山安洋 (日大)
- 4 オブジェクト指向プログラムにおけるリファクタリングの自動化支援について
○佐野友昭, 古川善吾 (香川大)
- 5 パターンによるソフトウェア変更の方法
○田中 光, 青山幹雄 (南山大)

6 携帯電話向け Java プログラムのプロファイル変換

○安藤成良, 安井浩之, 松山 実 (武蔵工大)

- 7 ソフトウェアにおけるデザイン進化のモデル
○下滝亜里, 青山幹雄 (南山大)
- 8 オブジェクト指向プログラムの実行履歴分割手法の改良
○渡邊 結, 谷口考治, 石尾 隆, 井上克郎 (阪大)
- 9 形式的仕様記述に基づくテストケースの作成
○亀田佑二, 小倉 崇, 林 雄二 (北海道情報大)

学生セッション [5L 会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

Web とサービス指向 座長 大場 克哉 (オージス総研)

- 1 リモートユーザを想定した Web アプリケーション開発環境の改良方法の提案
○山下 徹, 船生 豊, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充 (岩手県大)
- 2 MVC モデルを適用した WEB アプリケーションの構築
○樋田雅史, 植竹俊文, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 3 Web アプリケーションのクラス設計最適化に関する研究
○婁 慶博, 田中裕介, 内田智史 (神奈川大)
- 4 Web アプリケーション構造解析に基づくデータベースアクセス最適化の研究
○田中裕介, 婁 慶博, 内田智史 (神奈川大)
- 5 非同同期メッセージ交換パターンを用いた Web サービスアーキテクチャの提案と評価
○森 晃, 青山幹雄 (南山大)
- 6 Web サービスのための既存アプリケーション部品化手法
○相馬浩二, 小泉寿男, 鈴木 亮 (電機大)
- 7 ポリシー制御に基づく Web サービスの対話型トランザクションアーキテクチャの提案と評価
○大谷洋子, 青山幹雄 (南山大)
- 8 マルチチャネルコミュニケーションシステム構築支援ツールの設計
○滝上達郎, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)

学生セッション [6L 会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

ビジネスプロセスとモデル駆動開発 座長 松塚 貴英 (富士通研)

- 1 再利用性に着目したビジネスプロセスからのサービス抽出方法の提案
○大原晋吾, 庵原勇輝, 井垣 宏, 青山幹雄 (南山大)
- 2 ビジネスプロセスモデリングとワークフローを結びつけた情報システム構築
○森田高士 (電機大), 大川 勉 (三菱), 上西 司, 平林秀一, 小泉寿男 (電機大)
- 3 ワークフロー図から struts 定義ファイルの生成
○床田紘美, 塚本享治 (東京工科大)
- 4 BPMN によるビジネスプロセスを用いた MDA 開発の提案
○小野勇介, 片岡信弘 (東海大)
- 5 複合 Web サービスにおけるモデル駆動開発方法の提案
○福永達重, 青山幹雄 (南山大)
- 6 MDA におけるプラットフォーム分割手法の妥当性の検証
○天川美那 (芝浦工大)
- 7 UML・プロトタイプを組み合わせた要求仕様の妥当性確認
○小形真平, 松浦佐江子 (芝浦工大)

学生セッション [1M 会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

進化的計算とバイオインフォマティクス 座長 杉野健太郎 (東芝)

- 1 適応的近傍型シミュレーテッドアニーリングの実最適化問題における有効性
○上田祐一郎, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 2 遺伝的アルゴリズムによるジョブショップスケジューリング問題の検討
○西田健治 (近畿大), 北田洋理 (西田機械工作所), 河本敬子 (近畿大)
- 3 対話型進化計算によるデザインシステムの検討
○濱中信行, 河本敬子 (近畿大)
- 4 Complementary Control Particle Swarm Optimization の提案と遺伝子ネットワーク推定問題への応用
○村田裕章 (金沢大), 米山尊通 (石川高専), 三田村公智 (金沢大), 越野 亮 (石川高専), 木村春彦 (金沢大)
- 5 相互作用ネットワーク検索によるパスウェイ情報補完の研究
○関 美緒, 瀬々 潤 (お茶の水女子大)
- 6 ニューラルネットワークによるタンパク質立体構造予測の試み
○渡邊和之, 三枝 亮, 橋本周司 (早大)
- 7 遺伝子発現データ解析における遺伝子偏差を用いた前処理方法の提案
○大上雅史, 越野 亮 (石川高専)

学生セッション [2M 会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

数理モデル化とその応用 座長 加藤 整 (日本 IBM)

- 1 照度計の知的化による照明コントロールシステム
○雨宮明日香, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 2 進化論的計算手法の株式売買ルール生成への応用 ○葛西大佑 (東大)
- 3 移動方向を限定したロボットの経路生成のためのグラフ作成方法
○藤本敬介 (電通大), 守屋俊夫 (日立), 中山泰一 (電通大)
- 4 任意不規則変動波形の簡易的ピーク値分布評価法
○中村大輔, 南原英生 (岡山理大)
- 5 SVG を利用した直接的なグラフ操作によるファイナンシャルプラン支援の提案
○赤松由清, 鈴木尚宏, 萩野達也 (慶大)
- 6 活動量のクラスタリングに基づく子どもの交友関係の自動抽出
○木原真哉, 金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)
- 7 安定化補償器のパラメトリゼーションの効率化に関する研究
○岩崎 崇, 森 和好 (会津大)

学生セッション [3M 会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

アルゴリズム 座長 谷 誠一郎 (NTT)

- 1 ドットプロットによるテキストの視覚的な類似性比較
○石川能啓, 三浦孝夫 (法大)
- 2 クリーネの閉包の繰り返し表現法をもつ記号実行法
○小池雅樹, 水穂良平, 會澤邦夫 (島根大), 佐藤匡正 (無所属)
- 3 時間オートマトンのタイマ付き有限状態機械への変換法とその評価
○岡田 嶺, 武内 剛, 樋口昌宏 (近畿大)
- 4 インデックスを再利用する再帰下降型解析器の提案
○東 達軌, 山口文彦, 山崎克典 (東理大)
- 5 オンデマンド・データ・ブロードキャストングに対する近似アルゴリズムの実験的評価
○長谷英治, 浅野孝夫 (中大)
- 6 複数経路通信における経路制御に関する検討
○穂坂 怜, 相田 仁 (東大)
- 7 ネットワーク環境に基づく P2P ネットワークゲームのグループ化
○十川 基, 齊藤裕樹, 戸辺義人 (電機大)
- 8 (講演取消)

学生セッション [4M 会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)

要求と開発管理 座長 鎌田真由美 (日本 IBM)

- 1 要求獲得品質高度化のための支援技術に関する研究
○土屋俊博, 大原茂之 (東海大)
- 2 ユースケース記述から UML 図の生成
○広瀬希美, 金澤典子, 塚本享治 (東京工科大)
- 3 ユースケース記述の解析結果を利用したデザインパターンの推薦に関する研究
○伊達浩典, 中村健二, 田中成典, 池辺正典, 細島啓史 (関西大)
- 4 適切なクラス抽出を行うためのユースケース記述推敲支援
○山梨敦志, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 5 ソフトウェア開発工程における GUI 部分の工数見積りに関する
○今井義治, 太田義勝, 鈴木秀智 (三重大)
- 6 プロセスとプロダクト並列管理支援ツール P3 の有効性評価
○林 涛, 岩崎太輔, 須貝佑介, 大木幹雄 (日本工大)
- 7 (講演取消)

学生セッション [5M 会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

設計と開発支援環境 座長 吉田 和樹 (東芝ソリューション)

- 1 UML ダイアグラムを対象とした同期型分散共同モデリング支援システムの構築
○徐 冬梅, 黒木 純, 大瓶佳秀, 樋山淳雄 (東京学芸大)
- 2 教育向け UML 描画ツールの開発
○大脇佑平, 小飼 敬, 弘畑和秀 (茨城高専)
- 3 UML クラス図のためのテキストベース記述言語および変換処理系
○長谷部篤史 (早大), 鷲崎弘宜 (国立情報学研), 深澤良彰 (早大)
- 4 組込みシステムのための UML 拡張機能に関する研究
○太田幸嗣, 大原茂之 (東海大)
- 5 協調設計による組込みソフトウェアの開発
○長谷川裕基, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 6 モジュールの構成管理を取り入れた組込みソフトウェアの再利用法
○鷲澤暢亮 (電機大), 神戸英利 (三菱), 小泉寿男 (電機大)

- 7 ソフトウェア部品検索システムを対象とするソフトウェアライセンス特定手法
○真鍋雄貴, 市井 誠, 早瀬康裕, 松下 誠, 井上克郎 (阪大)

- 8 学生を対象としたインスペクション支援方法の考察
○栗原紘樹, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 9 脳生理学から見たソフトウェア分析設計作業の分解可能性
○内藤有希, 高沢泰弘, 大木幹夫 (日本工大)

(データベースとメディア)

一般セッション [1D 会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

データベース実装, データベース応用 座長 大森 匡 (電通大)

- 1 ハードウェア性能向上に適合した処理構造の例
--- メモリ型 DBMS の可能性
○福市良次 (メモリ型 DBMS 推進機構)
- 2 データベース接続層における SQL 変換による DBMS 置き換え支援方式の提案
○藤山健一郎, 中村暢達 (NEC)
- 3 大規模ログデータ分析エンジンの考察 ○佐藤重雄, 東 辰輔 (三菱)
- 4 ヒヤリハット事例収集データベースにおける特徴抽出の実験評価
○二反田慎, 大塚雄市 (九大), 牧之内顕文 (久留米工大), 金子邦彦 (九大)
- 5 行動履歴を用いたデータマイニングによる人行動のモデル化
○井口祐喜, 和田雄次, 内藤和樹 (電機大)
- 6 「病を知るデジタルヒューマン」のための歩行データベース
○藤原久志 (九大), 牧之内顕文 (久留米工大), 金子邦彦 (九大)
- 7 Maximizing Context with Desktop Search Integration for Semi-automatic Metadata Generation of Digital Photographs
○Supheakmunkol SARIN (早大), Tadashi Miyosawa, Toshinori Nagahashi (セイコーエプソン), Wataru Kameyama (早大)

一般セッション [2D 会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

ブログ解析, XML 座長 森嶋 厚行 (筑波大)

- 1 BLOG からの自動情報抽出システムの開発
○関口友樹, 石川 祥, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 2 BLOG のトラックバック構造における評価の可視化
○石川 祥, 関口友樹, 鈴木佑介, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 3 ブログユーザ空間からの類出な部分グラフの抽出
○高木 允, 森 康真, 田村慶一, 黒木 進, 北上 始 (広島市大)
- 4 HAIKU サーバのアクセスログの解析と運用管理
○和田 武 (愛媛大), 墨岡 学, 壇 裕也 (松山大)
- 5 XPath 曖昧検索を用いた効率的な XML データ検索
○矢野 令 (東芝ソリューション)
- 6 ネイティブ XML データベースを用いた XML 文書管理システムの有用性の検証
○濱野泰男, 北川 亘 (日本 IBM)
- 7 XML データ同時部分更新を可能にするロック委譲システムの提案
○北川 亘, 瀬田賢治, 橋本光治 (日本 IBM)

一般セッション [3D 会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

情報検索 座長 大山 敬三 (国立情報学研)

- 1 連想検索エンジンのスケーラビリティおよび障害耐性の向上
○安田知弘, 今一 修, 岩山 真 (日立)
- 2 Using a Dynamic Threshold for Clustering of Nominal Data
○Sutheera Puntheeranurak, 辻 秀一 (東海大)
- 3 双クラスタリングと概念束を用いた大規模文書検索法の提案
○渦尾秀勝, 森 雅生, 伊東栄典, 廣川佐千男 (九大)
- 4 双対概念グラフとしての文書間の関連分析
○下司義寛 (九大), 伊藤 希 (筑波大), 廣川佐千男 (九大)
- 5 概念グラフを用いた特許明細書群からの関連語抽出
○下司義寛, 和多太樹, 廣川佐千男 (九大)
- 6 インターネットからのマーケティング情報収集システムに関する開発研究
○池田利夫, 太田 弘 (関西電力)
- 7 多面的解析システムにおけるデンドログラムの実装
○関 隆宏, 和多太樹, 山田泰寛, 廣川佐千男 (九大)

一般セッション [4D 会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)

Web サービス, システム, メディア処理 座長 河合由起子 (京産大)

- 領域オントロジを用いた言語グリッドの Web サービス連携
○境 智史 (京大), 村上陽平 (NICT), 石田 亨 (京大)
- 複合 Web サービスにおける動的バインディング
- 言語グリッド複合 Web サービスの実装 -
○中口孝雄 (NTT-AT), 村上陽平, 灘本明代 (NICT)
- (講演取消)
- 産業用 Web システムにおける Ajax 応用 UI 構築技術
○柳原慎太郎, 寺岡照彦, 大崎雅代 (三菱)
- (3T セッションに移動)
- チベット文字 TrueType フォントのレガシ符号化方式とその自動識別可能性
○鈴木俊哉 (広島大), 佐藤 大 (東北大)

一般セッション [5D 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

コンテンツ管理と著作権 座長 山下 博之 (JST)

- 部分引用の管理に基づく Web コンテンツのマッシュアップ
○梶 克彦, 長尾 確 (名大)
- Synvie: ビデオブログコミュニティからの知識獲得とその応用
○山本大介, 増田智樹, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- Google Maps を利用した異なるサイト群を横断する検索システムの開発報告
○齋藤 功, 嶋津恵子, 遠峰隆史 (慶大)
- 二次コンテンツ制作における権利継承を実現するコンテンツ・エディタの提案
○王 元綱, 関亜紀子, 亀山 涉 (早大)
- 著作権を考慮したデジタルデータのバックアップ・リストア
- 車買換え時のカーナビ蓄積データ移動サービスの提案 -
○鶴川達也, 河野 篤, 子安健彦, 松田 規 (三菱)
- ハフマン符号長不変な不完全暗号系による DRM 方式
○岩切宗利, タイン タミン (防衛大)

学生セッション [1S 会場] (3月6日(火) 10:00 ~ 12:30)

コンテンツの作成と共有 座長 鬼塚 真 (NTT)

- HTML の文書構造と表示制御を分離するコンバータの開発
○松岡幸典, 志田晃一郎, 横山孝典 (武蔵工大)
- RDF を用いた CDL (Concept Description Language) の表現と相互変換
○山口俊輔, 石塚 満 (東大)
- 異分野を横断し流通する学術コンテンツのメタデータ設計
○吉永早織, 嶋津恵子, 古川康一 (慶大)
- 会議コンテンツの効率的な再利用に基づく知識活動支援システム
○土田貴裕, 友部博教, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 作成文書のコンテキストを利用した検索クエリ生成システム
○渡辺一樹, 東 基衛 (早大)
- シナリオを用いた手続き的知識の共有管理
○恵谷文彦, 大沢英一 (はこだて未来大)
- (講演取消)
- (講演取消)
- オープン文書フォーマット (ODF) のアクセシビリティ向上のための提案
○河村進吾, 片野 剛, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)

学生セッション [2S 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

コンテンツ応用とレコメンデーション 座長 関 亜紀子 (早大)

- 日常生活のログ情報管理・活用に関する研究
○北崎 茂, 望月祐洋 (東工大)
- 携帯電話環境における Web コンテンツ同期システムについて
○宮下恒雄, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- セマンティック・ウェブ技術を用いた Web コンテンツ配信
○佐伯嘉康, 相田 仁 (東大)
- (講演取消)
- コンテンツ検索のためのオントロジーの構築と e-ラーニングシステムへの実装
○砂原 悟, 友田成則, 今井順一, 小松川浩 (千歳科大)
- Web サービスオンライン評価のための試供版の検討
○岸 佑人, 小泉寿男, 鈴木 亮 (電機大)
- Amazon WEB サービスを用いた効率的な書籍情報獲得システムの開発
○工藤草平, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 商品購入の前後関係を考慮したレコメンド方式の拡張と検証実験
○川口健悦, 徳野成之, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大), 池田哲夫 (静岡県大)

9 評判情報検索を用いた商品評価の分析

○濱川 礼, 都築直樹, 間瀬智史, 安江和洋 (中京大)

学生セッション [3S 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

Web サービスとセマンティック Web 座長 井出 明 (近畿大)

- HTML タグ属性の追加による Web アプリケーションの Web サービス変換
○惣字利卓寛, 高橋健一, 紫合 治 (電機大)
- Web2.0 の考えに基づく動画配信型インターネット放送サービス (Satett) の構築
○久保聡司, 村井美紀, 梶田文貴 (東京工科大)
- マルチエージェントに基づく既存 Web アプリケーションの再利用化について
○田辺正喜, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- Web ブラウザからの検索を目的とした Web サービスレジストリの構築
○寺尾拓朗, 小泉寿男, 鈴木 亮 (電機大)
- BPEL を用いた Web サービスにおける連携フロー作成方法
○田島直栄, 小泉寿男, 鈴木 亮 (電機大)
- スプレッドシート・インタフェースを用いた Web アプリケーションのオーケストレーション・フレームワーク
○吉原祥平, 田中 譲 (北大)
- セマンティック Web の生産管理システムへの適用
○牧 聡史, 越田高志 (松江高専)
- セマンティック・ウェブ上の語彙構築機構
○浅野 優, 田中 譲 (北大)

学生セッション [4S 会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)

地理情報処理とウェブ画像処理 座長 相良 毅 (東大)

- (講演取消)
- 位置情報を用いた旅行自動記録システム
○阿久津剛之, 柳井啓司 (電通大)
- GIS による琵琶湖への河川流入負荷量の推定シミュレーション
○渡邊昌春, Dicky A. Prima Oky, 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)
- GIS による犯罪とその地理的環境要因との関連分析に関する検討
○竹高敦史, 伊藤久祥, Dicky A. Prima Oky, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 情報を地図に内包させた画像を用いた地図アプリケーションの開発
○濱川 礼, 小澤裕史, 沢柳 佑, 田村 諭 (中京大)
- 地図サービスにおけるユーザ嗜好を考慮した地図情報表示の検討
○矢野 誠, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋科大)
- 主観的に描かれた地図の集積による道案内システム
○佐久間勇樹, 萩野達也 (慶大)
- Web 写真ニュースの分類と検索
○伊與田達也, 柳井啓司 (電通大)
- 画像付きニュース記事からの顔と人物名の抽出
○北原章雄, 柳井啓司 (電通大)

学生セッション [5S 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

XML, 先端 DB 応用 座長 天笠 俊之 (筑波大)

- 知識処理に基づく XML データベースシステムの試作
○驛 昌弥, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 導出手続きによる XML の自動変換
○島松千春, 杉本典子, 伊東栄典, 廣川佐千男, 田畑義之 (九大)
- データベース統合のための作業手順作成支援システムの開発
○三森祐一郎, 森嶋厚行 (筑波大)
- サーバー接続環境調査のための低負荷クロールング手法の開発
○星野哲哉, 三上喜貴, 中平勝子 (長岡科大)
- IP-SAN 統合型 PC クラスタにおける相関関係抽出の実行
○原明日香, 神坂紀久子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- CC-Optimizer: キャッシュを考慮した問合せ最適化器
○辻 良繁, 川島英之, 今井倫太 (慶大)
- (講演取消)
- 構造化オブジェクトデータモデルに基づく自動診断エンジンの構築
○関谷隆行, 石井久治, 園田幸宏, 佐藤貴子, 有澤 博 (横浜国大)

学生セッション [6S 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 17:00)

ユーザビリティ 座長 片山 紀生 (国立情報学研)

- 人間の感覚を利用した、データの分類と表示の研究
○黛 雅宏, 太田高志 (東京工科大)
- タグクラウドを用いた注目情報提示方式
○吉田慶章 (東海大), 柿崎淑郎 (東海大連), 辻 秀一 (東海大)
- Web アノテーションシステム Annoplus の拡張
○川上建一郎, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)

- 4 Fragment Identifier によるテキスト資源上のアノテーションの付加
○石井裕介, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 5 オンライン文書の閲覧時のアノテーションを用いた論文作成支援システム
○林 亮介, 友部博教, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 6 オンラインアノテーションに基づくビデオシーン検索
○増田智樹, 山本大介, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 7 WeC - 携帯電話向け Web クリッピングシステム -
○五十嵐正浩, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)
- 8 携帯情報端末向け折り畳み型文章提示法が内容理解と情報探索に及ぼす影響の検討
○及川 中, 伊藤久祥, Dicky A. Prima Oky, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 9 携帯電話の電子メールを用いた、データベース操作システムの開発
○額賀啓行, 小飼 敬, 四王天正臣 (茨城高専)

学生セッション [1T 会場] (3月6日 (火) 10:00 ~ 12:30)

ウェブログ解析, ウェブデータ・クラスタリング

座長 中島 伸介 (奈良先端大)

- 1 ウェブアクセスログを利用したユーザの嗜好抽出に関する考察
○湯原基貴, 吉井伸一郎, 古川正志 (北大)
- 2 Web アクセスログにおけるユーザ行動の分析
○鈴木康之, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 3 Web 検索ログの検索時間間隔を用いた利用者の行動パターン分析
○柳 阿礼, 徳永幸生 (芝浦工大), 杉崎正之, 池田成宏 (NTT レゾナント)
- 4 ページ閲覧時間を考慮したウェブアクセスパターンの抽出とその分析
○三原宏一郎, 寺邊正大, 橋本和夫 (東北大)
- 5 ペイジアンフィルタとカテゴリ分類を用いたブログのスパム判定に関する研究
○寺口敏生, 中村健二, 田中成典, 池辺正典, 吉村智史 (関西大)
- 6 BLOG のトラックバック構造可視化システムの開発
○鈴木佑介, 石川 祥, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 7 能動学習による Tri-Training 手法の改善
○小野隆太, 寺邊正大, 橋本和夫 (東北大)
- 8 MC による Web 検索結果のクラスタリング手法
○宮本悠生 (立命館大)
- 9 ページ間の類似度を用いた MaxFlow コミュニティ抽出の改良
○樋上真人, 志田晃一郎, 横山孝典 (武蔵工大)

学生セッション [2T 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

情報活用と権利保護

座長 亀山 渉 (早大)

- 1 Web 環境を考慮した食事レシピ文の XML 構造化とその応用
○陳 磊, 松家英雄, 森本喜一郎 (産能大)
- 2 マルチメディア Wiki- レシピのメタデータ化に基づく菓子コンテンツ共有法の提案 -
○榎野理恵, 大西可南子 (お茶の水女子大), 和泉憲明 (産総研), 小林一郎 (お茶の水女子大), 橋田浩一 (産総研)
- 3 電子掲示板における記事情報の効率的活用のための一考察 -microformats を用いて -
○小林曜峰, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 4 映像コンテンツとインターネット辞書情報のマッシュアップ
○栗田めぐみ, 塚本享治 (東京工科大)
- 5 マッシュアップツールの開発とそれを用いた東京都防災マップの構築
○山本剛士, 小山智久, 杉田達郎, 塚本享治 (東京工科大)
- 6 デジタル証券を用いた二次著作物の制作を容易にできるコンテンツ管理方法に関する提案
○河村春雄, 徳永幸生 (芝浦工大), 曾根原登 (国立情報学研)
- 7 符号転置法による情報半開示と利用者識別
○タイン タミン, 岩切宗利 (防衛大)
- 8 ウェブ上に分散した知識メディアコンポーネントの知識連携フレームワーク
○河口弘樹, 田中 譲 (北大)
- 9 事例集の文書管理に TRIZ 理論に適用した知識管理支援システムの構築
○山田幸治, 國藤 進 (北陸先端大)
- 10 知識メディア技術を用いた会話ロボットの Web 情報利用フレームワーク
○高橋洋平, 田中 譲 (北大)

学生セッション [3T 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

分散処理

座長 寺西 裕一 (阪大)

- 1 小規模グループウェアに容易に利用可能な P2P-CDN の構築
○中島直規, 坪川 宏 (東京工科大)
- 2 サーバ間 P2P 通信を用いた web コンテンツ分散機構の実現
○陳 超, 橋崎修二 (長崎大)
- 3 Web プロキシネットワークにおける P2P-RAID の提案
○戸田将史, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)
- 4 Web プロキシネットワークシステムにおけるノード自律型負荷分散方式
○市木良和, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)
- 5 インターネット上の距離に基づいた階層的クラスタを活用した分散ハッシュテーブル
○林田紳也, 上田達也, 安倍広多, 石橋勇人, 松浦敏雄 (阪市大)
- 6 REST を用いた Web サービスアーキテクチャの最適化手法の提案と評価
○池崎 崇, 永橋陽一郎, 井垣 宏, 青山幹雄 (南山大)
- 7 モバイルエージェントに基づくコンテンツ配信のためのキャッシュを考慮した負荷分散手法について
○荒井裕介, 近藤圭祐, 大田忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 8 サーバ・クライアント型による緯度経度解決モジュールの設計と構築
○遠峰隆史, 齋藤 功, 嶋津恵子 (慶大)
- 9 Web プロキシネットワークシステムにおけるサーバネットワーク構成手法
○清田寛信, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)

学生セッション [4T 会場] (3月7日 (水) 14:30 ~ 17:00)

ソーシャルネットワーク

座長 大塚 真吾 (東大)

- 1 Web 上からソーシャルネットワークを抽出する汎用モデル
○金 英子 (東大), 松尾 豊 (産総研), 石塚 満 (東大)
- 2 信頼値に基づくアクセスコントロール
○山口修平, 小柳 滋 (立命館大)
- 3 ソーシャルブックマークにおけるユーザとタグの関連度抽出方法の検討
○夏目大伍, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 4 SBM サービスのユーザとタグを用いた Web ページ推薦システム
○杉山典之, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 5 ソーシャル・ネットワーク・サービス上の情報を結びつけるためのキーワード抽出方法の開発
○恩澤考平, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 6 Weblog 上の話題伝播過程を利用した重要語抽出
○古川忠延 (東大), 松尾 豊 (産総研), 大向一輝 (国立情報学研), 内山幸樹 (ホットリンク), 石塚 満 (東大)
- 7 位置情報を付加したソーシャルネットワークワーキングサービス
○濱野一二三 (電機大)
- 8 SNS におけるユーザ関係の視覚化
○吉田英樹, 小柳 滋 (立命館大)
- 9 ソーシャルスケジュールを利用した画像共有法の提案
○渡邊裕子 (お茶の水女子大), 和泉憲明 (産総研), 小林一郎 (お茶の水女子大), 橋田浩一 (産総研)

学生セッション [5T 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

情報検索と Web

座長 岩山 真 (日立)

- 1 ユーザの探索行動に応じた Web コンテンツ推薦システムの研究
○西田要介, 東 基衛 (早大)
- 2 検索セットの共有による検索支援システムの提案
○草場裕雄, 東 基衛 (早大)
- 3 自己学習型トピックローラーの性能評価に関する考察
○富山北斗, 廣川佐千男, 伊東栄典 (九大)
- 4 (講演取消)
- 5 Web 文書のページタイプを用いた適応的分類の拡張と評価
○島山恭佑, 高山 毅, 村田嘉利 (岩手県大), 池田哲夫 (静岡県大), 浅沼直人 (岩手県大)
- 6 画像間の類似度を利用した類義語抽出
○光川正弘, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- 7 重回帰分析による画像の感性評価
○鈴木潤也, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 8 RSS を用いたサイト登録支援システム
○滝沢敏裕, 湯浅将英, 大山 実 (電機大)
- 9 検索エンジン最適化技術の実態
○山口義昭 (東京工科大)

学生セッション [6T 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 17:00)

情報検索 座長 酒井 哲也 (NewsWatch)

- 1 時系列文書のクラスタリングに基づくトレンド可視化システムの開発
○長谷川幹根, 石川佳治 (名大)
- 2 時系列を主軸にした多角的関連性に基づくデスクトップ情報管理
○松原靖子 (お茶の水女子大)
- 3 特定時系列データの検索手法の提案
○大根千明, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 4 自他論旨比較に基づく文書探索システム
○中塚麻奈美, 小嶋弘行 (広島工大)
- 5 分野特徴語の抽出とそれを用いた関連文書決定方法の改善
○松浦優彦, 上原子正利, 小柳 滋 (立命館大)
- 6 特徴的なキーワードを用いた適合性フィードバックに関する研究
○亀田 直, 相場 亮 (芝浦工大)
- 7 SPARQL を拡張したクエリ言語の定義と実行系の開発
○丸山朝也, 塚本享治 (東京工科大)
- 8 パラメータによる土器画像の分類とその検索システム
○茂呂優太, 徳永幸生 (芝浦工大), 安達文夫 (国立歴史民俗博物館)
- 9 ビデオ高速探索における画像特徴量と音響特徴量の比較
○芳賀鉄平, 杉山雅英 (会津大)

デモセッション [デモ会場]

デー 01 (3月8日 (木))

メモリ型 DBMS、メモリ型検索エンジンとは！
メモリ型の本質は蓄積情報の「構造シンプル化 & 少量化」
○福市良次 (メモリ型 DBMS 推進機構)

デー 03 (3月8日 (木))

知識共有・整理のための web アプリケーション
○坂上美也子, 坪川 宏, 増山 究, 松野雅広 (東京工科大),
藤原章裕, 阿部邦彦 (富士ソフト)

デー 04 (3月8日 (木))

XML を基盤とする普通紙マークシート処理システムの開発と社会への適用
○久保裕也 (千葉商科大)

デー 06 (3月8日 (木))

履歴のリアルタイムな可視化とその共有を行うブラウザ拡張
○三上啓太 (早大)

デー 10 (3月6日 (火), 3月7日 (水))

言語グリッド: 異文化コラボレーションのための言語基盤
○重信智宏, 村上陽平, 稲葉利江子, Ahlem Ben Hassine (NICT),
藤原義功 (無所属), 中口孝雄 (NTT-AT), 灘本明代 (NICT),
藤井薫和, 吉野 孝 (和歌山大), 石田 亨 (京大)

デー 12 (3月7日 (水))

分野横断型学術コンテンツ流通システムの試作
○齋藤 功, 有澤達也, 遠峰隆史, 吉永早織, 嶋津恵子 (慶大)

第2分冊**(人工知能と認知科学)**

一般セッション [2B会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)

知識表現・オントロジー 座長 柴田 直樹 (滋賀大)

- はさみ五目並べバレイプログラムの開発
○野田統治郎, 苔米地宣裕 (八戸工大)
- Story Summarization using an RST based Ontology Model
○Arturo Nakasone, 石塚 満 (東大)
- お絵書きツールを用いた制約プログラミング体験ソフトの開発
○高橋祐樹, 西田誠幸 (拓大)
- コンプライアンスに関する知識ベースにおける解釈の多様性表現のための一手法
○金井 貴 (明治学院大)
- 演繹学習に基づく言語グリッドのラッパー生成
○田仲正弘, 石田 亨 (京大)
- (講演取消)

一般セッション [3B会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

画像処理・符号化 座長 久保田 彰 (東工大)

- ベクター表現による文字や網点を含む画像符号化システム
○河村 圭, 山本勇樹, 石井大祐, 渡辺 裕 (早大)
- Cubic Convolution フィルタの Cell/SPE 向け最適化実装
○高橋幸恵, 境 隆二, 今田 敬, 高山征大 (東芝)
- 画像情報圧縮・復元処理設計
○今井幸雄 (東海大)
- 誤差拡散写真画像の復元
○嶋 好博, 原 和規, 石渡洋考, 小手川寛, 水井貴幸, 齋城嘉孝, くわ原貴昭 (明星大)
- Conditional Expressions for blind deconvolution(multi-point form)
○青垣総一郎, 森谷郁生, 菅井隆雄, 竹内富士雄, 外山政文 (京産大)
- Conditional Expressions for Blind Deconvolution: Derivative form
○森谷郁生, 青垣総一郎, 菅井隆雄, 竹内富士雄, 外山政文 (京産大)
- Simple method to eliminate blur using Lane and Bates algorithm
○菅井隆雄, 青垣総一郎, 森谷郁生, 竹内富士雄, 外山政文 (京産大)
- 映像監視システムにおけるカメラの異常検知手法の提案
○若林正男, 奥村誠司, 阿倍博信, 中島宏一 (三菱)

一般セッション [4B会場] (3月7日(水) 14:30~17:00)

画像処理・理解 座長 川崎 洋 (埼玉大)

- 実画像における Snakes による道路両端白線の両エッジ追跡法
○澤野弘明, 岡田 稔 (早大)
- エッジ投影特徴による斜め撮像画像からの車両検出
○宮原景泰, 岡田康裕 (三菱)
- EM アルゴリズムとパーティクルフィルタの統合によるリアルタイム複数の人物追跡システム実現
○金 鉉燮, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- (講演取消)
- Log-polar 画像における把持オブジェクトの抽出手法の提案
○山口友之, 橋本周司 (早大), Fabio Berton, Giulio Sandini (University of Genova)
- PTZ カメラを用いた両眼立体視監視システム
○谷 宇章, 佐藤 誠, 張 曉林 (東工大)
- Screen Tone Processing for Black and White Manga
○申 金紅, 沢田裕司, 斎鹿尚史, 田中秀明, 北村義弘 (シャープ)
- マンダラパタン系の基礎系について
○横田 誠 (伝子工学研究会)

一般セッション [5B会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)

医用画像処理 座長 滝沢 穂高 (筑波大)

- MR 画像を用いたくも膜下出血診断支援に関する検討
○土井千章, Dicky A. Prima Oky (岩手県大), 西本英明, 井上 敬, 小川 彰 (岩手医大)
- 患者の MR 画像からの脳領域抽出
○廣岡誠之, 上野育子, 亀田昌志 (岩手県大)
- 3次元医用画像からのモデルベースによる心臓領域抽出
○村下純也, 金子邦彦 (九大), 牧之内顕文 (久留米工大)
- 三次元生体画像に対する肺領域抽出への Watershed 法の応用
○城戸英彰, 金子邦彦 (九大), 牧之内顕文 (久留米工大)
- マウスの断面画像集合からの3次元臓器形状抽出
○木下利家, 三谷 純, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)

- 内視鏡画像からの奥行き情報提示による視覚支援システムの設計
○安藤竜太, 福井幸男, 三谷 純, 西原清一 (筑波大)
- 画像認識を用いた猫の赤血球ハインツ小体のカウント方式の検討
○寺本 晶, 上岡祐子, 青木博松 (パナソニック情報システム), 安田和雄 (安田動物病院)

一般セッション [6B会場] (3月8日(木) 14:30~17:00)

生体・視覚情報処理 座長 工藤 博章 (名大)

- 杆体外節における光電流生成過程の非線形増幅回路モデル
○小島正典 (阪工大)
- 杆体における光感受性電流生成のアクティブフィルタモデル
○小池 靖, 富永陽介, 小島正典 (阪工大)
- 杆体における光感受性電流生成のデジタルフィルタモデル
○富永陽介, 小池 靖, 小島正典 (阪工大)
- 物体静止画像から動的特徴を抽出する神経回路モデルの学習と解析
○西出 俊, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- 蟻の集団を用いた適応型確率探索による制約充足問題の解法
○三上貴之, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)
- 色再現度を高めた絹織物表面織り組織の画像データベース化の試み
○尾崎敬二 (国際基督教大)

一般セッション [1C会場] (3月6日(火) 10:00~12:30)

自然言語処理 (1) 座長 清田 陽司 (東大)

- 特許請求項における多重多数項引用の検出と書換
○新森昭宏, 大屋由香里 (インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス), 谷川英和 (IRD 国際特許事務所)
- 特許明細書作成のための論文及び既存特許明細書からの情報抽出手法
○大屋由香里, 新森昭宏 (インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス), 谷川英和 (IRD 国際特許事務所), 難波英嗣 (広島市大), 奥村 学 (東工大)
- 三点リーダ文の感情推定手法
○鈴木信雄, 津田和彦 (筑波大)
- 意味解析システム SAGE の精度向上
○川口純一, 青木 洋, 松田源立, 原田 実 (青学大)
- 意味解析に基づく照応解析の研究
○杉村和徳, 松田源立, 原田 実 (青学大)

- テキストノードへのパスに基づく Web ページからの価格情報の抽出
○福井雅之, 増田英孝 (電機大), 中川裕志 (東大)
- 意味グラフの言い換え規則の自動生成と言い換え
○梶川由梨, 荻原由紀恵, 中村浩之, 原田 実 (青学大)

一般セッション [2C会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)

自然言語処理 (2) 座長 徳永 健伸 (東工大)

- フォークソノミーを利用した自動カテゴリ作成とカテゴリ分類システム
○備瀬竜馬, 笠原博和, 二本木智洋, 森本光昭, 高田政樹, 中川 修 (大日本印刷)
- 複数ブログ記事からの関連事象を含む概要記事の自動生成
○井原健絃, 福富 論 (電通大)
- 意味解析に基づくテキストマイニングシステム STM
○西脇 剛, 保立哲志, 原田 実 (青学大)
- 言語サービスオントロジーの検討
○林 良彦 (阪大), 檜和千春 (京大)
- 推測変換機能と連携したオンラインストロークパタン認識
○鷲野浩之, 川又武典 (三菱)
- 検索文と記事文章全体との照合による意味検索
○久保谷篤, 河村惇史, 松田源立, 原田 実 (青学大)

一般セッション [3C会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

遺伝的アルゴリズム 座長 片上 大輔 (東工大)

- ファジー推論評価関数と遺伝的アルゴリズムによる, 人体の動作データの自動生成手法の提案
○三淵啓自, 杉山知之, 越智裕之 (デジタルハリウッド大)
- 共進化による局所探索手法を用いた分布推定アルゴリズム
○田村謙次 (中央学院大)
- 知識を利用した対話型進化計算による Web ページのスタイルシート生成システムの開発
○濱田悠介, 狩野 均 (筑波大)
- 自動車制御開発における多目的最適化技術の適用
○手塚俊介, 喜瀬勝之 (富士重工)

- 5 コードスケール理論による自動作曲システムの実現
○蓮井洋志, 楠 博史 (室蘭工大)
- 6 1/f ゆらぎによる1次元セルオートマトンの進化
○蛭川 繁 (金沢工大)
- 7 近傍セルの境界条件に着目したパラメータを用いた1次元セルオートマトンのクラス分類
○佐藤正平, 狩野 均 (筑波大)

一般セッション [4C会場] (3月7日(水) 14:30~17:00)

音楽情報科学 (3) 座長 浜中 雅俊 (JST)

- 1 楽曲パターン (2c) 系内での音楽的意味を探る
○横田 誠 (伝子工学研究会)
- 2 楽曲の音響信号に対する調性 (長調/短調らしさ) の判定方法
○山崎道弘, 岩崎知弘 (三菱)
- 3 演奏難易度情報を用いた楽曲のトランスクリプション
○山田昌尚 (釧路高専)
- 4 複数検索クエリによる音楽情報検索結果統合手法
○石先広海, 帆足啓一郎, 菅谷史昭 (KDDI 研)
- 5 自己相関係数を用いたカバー曲検索への試み
○津田啓太郎, 小早川倫広, 星 守, 大森 匡 (電通大)
- 6 HMM によるリスナーの印象変化推定と楽曲推薦システムへの応用
○東海林智也 (函館高専)
- 7 楽曲内容に基づく楽曲推薦-TwinVQ エンコーダを用いた -
○鈴木誠知, 小早川倫広, 星 守, 大森 匡 (電通大)

一般セッション [5C会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)

マルチエージェント 座長 北村 泰彦 (関西学院大)

- 1 複数論点交渉問題のための効用空間の絞り込みに基づくマルチエージェント交渉手法
○服部宏充, 伊藤孝行 (名工大), Klein Mark (マサチューセッツ工科大)
- 2 マルチエージェント型交通シミュレータにおける交差点オブジェクトの導入
○宮永裕介 (筑波大), 水野一徳 (拓大), 三谷 純, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)
- 3 大型車・バスを導入したマルチエージェント型交通流シミュレータ
○長谷川純, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)
- 4 ボトムアップな非同期分散最適化手法の効率改善
○松井俊浩, 松尾啓志 (名工大)
- 5 分散制約充足による交通信号の動的制御
○中野雅則, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)

一般セッション [6C会場] (3月8日(木) 14:30~17:00)

ニューラルネット 座長 菅原 俊治 (NTT)

- 1 エルマンネットを拡張した語系列予測モデルによる文法特徴の獲得
○篠沢佳久 (慶大)
- 2 自己増殖型ニューラルネットワークを用いたオンラインプロトタイプ抽出手法
○神谷祐樹, 石井利明, 長谷川修 (東工大)
- 3 感覚におけるスティブンス則のニューラルネットワークモデル
○山西輝也, 野阪将志 (福井工大), 西村治彦 (兵庫県大), 大熊一正 (福井工大)
- 4 カオス複素連想メモリ
○中田正雄, 長名優子 (東京工科大)
- 5 Hierarchical Map to Transform Distances among Data
○Ryo Saegusa, Kazuyuki Watanabe, Shuji Hashimoto (早大)
- 6 持続的半教師あり学習・認識手法の提案
○神谷祐樹, 石井利明, 長谷川修 (東工大)
- 7 ニューラルネットワークによる時系列予測の特性評価
○小林哲二 (日本工大)

学生セッション [1N会場] (3月6日(火) 10:00~12:30)

オントロジー・知識表現 座長 新 麗 (IIJ)

- 1 思い出構築管理システム【yourStory】の評価
○橋本克哉, 仲谷善雄 (立命館大)
- 2 思い出の想起と記述についての支援枠組み
○土本勇介, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 半体系化情報からの体系化知識ベースの構築
○吉田知訓, 山本啓司, 粟田恵理 (関西学院大), 高野敦子 (兵庫大), 北村康彦 (関西学院大)
- 4 健康状態を考慮した運動アドバイス提供システム-推論メカニズム-
○安田尚史, 三浦祐太郎, 和泉 諭, 加藤 靖, 高橋 薫 (仙台高専)

- 5 健康状態を考慮した運動アドバイス提供システム
-運動プランの提示-
○四倉 涼, 和泉 諭, 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台高専)

- 6 Wikipedia からセマンティック Web オントロジーの半自動構築
~シラバス推論・検索への応用と評価~
○立川正和, ナオキ マツバラ, 若木利子 (芝浦工大)

- 7 Semantic Web における時相的拡張
○湯本純也, 富樫 敦 (宮城大)

学生セッション [2N会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)

音楽情報科学 (1) 音楽理解 座長 平田 圭二 (NTT)

- 1 楽譜情報を用いた NMF による音楽音響信号の音源分離
○糸山克寿, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 2 多重音を含む音楽音響信号のピッチ推定を用いた演奏表情抽出のための楽譜との対応付け
○酒造祐介, 武田晴登, 片寄晴弘 (関西学院大)
- 3 J-POP 楽曲における印象部分検出手法の提案
○山口大志, 瀬川典久, 杉野栄二, 澤本 潤 (岩手県大)
- 4 パーティクルフィルタによるリズム量子化
○箕浦健統, 林 朗 (広島市大)
- 5 ジャズ音楽における相関ルールを用いたコードネーム推定
○勝占真規子, 片寄晴弘, 長田典子 (関西学院大)
- 6 マルチメディアコンテンツにおける音楽と映像の調和に関する分析
○西山正紘, 北原鉄朗, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 7 物語と音楽の相互変換に関する基礎的検討
-階層構造を媒介とした試み-
○秋元泰介, 小方 孝 (岩手県大)
- 8 (講演取消)
- 9 直感的な音探索のための音響データベースシステムと音響モーフィング
○魚田 慧, 橋本周司 (早大)

学生セッション [3N会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

音楽情報科学 (2) 検索・推薦 座長 帆足啓一郎 (KDDI 研)

- 1 音楽理論を利用した楽曲比較手法
○増山 究, 坪川 宏 (東京工科大)
- 2 文書検索手法を適用した音楽データの類似検索手法
○大野和久, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- 3 イメージに合った楽曲推薦手法の提案
○高橋もも, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 4 印象の類似度に基づくオンライン楽曲推薦手法の研究
○千田一孝, 藤澤公也 (東京工科大)
- 5 大量の音楽プレイリストに基づく楽曲推薦システムの試作
○園田 亮, 伊東栄典, 池田大輔 (九大), 寶ギョクホウ (日立コミュニケーションズテクノロジー), 笠原義晃 (九大)
- 6 可視化技術を用いた楽曲推薦システム
○浜脇修平 (早大), 石先広海, 帆足啓一郎, 菅谷史昭 (KDDI 研), 甲藤二郎 (早大)
- 7 Onomatopoeia: 擬音語と木構造を併用した環境音検索インターフェース
○清水敬太, 北原鉄朗, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 8 e- 打楽器「TAMANO PIANO」の開発
○玉野 一, 後藤幸功, 村山優子 (岩手県大)
- 9 楽曲間エフェクト自動選択を用いた音楽連続再生手法の提案
○野元悠一 (早大), 石先広海, 帆足啓一郎, 菅谷史昭 (KDDI 研), 甲藤二郎 (早大)

学生セッション [4N会場] (3月7日(水) 14:30~17:00)

遺伝的アルゴリズム 座長 松井 正一 (電中研)

- 1 進化的計算手法を用いたモジュラーロボットの創発的形態設計
○本間大輝 (東大)
- 2 遺伝的アルゴリズムを用いた個人の行動スケジュール自動調整手法
○遠藤宏太, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)
- 3 可変島遺伝的アルゴリズム
○十文字拓間, Chakraborty Goutam, 馬淵浩司, 松原雅文 (岩手県大)
- 4 フロア全体を考慮したレイアウト案の生成が可能な遺伝的アルゴリズムを用いたオフィスレイアウト支援システム
○野崎靖昌, 飯田智代, 石田俊輔, 長名優子 (東京工科大)

- 5 対話型遺伝的アルゴリズムを用いたマーチングフォーメーション描画支援システムの構築
○上村英里沙, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 6 シミュレートドアニメリングプログラミングにおける次状態生成方法の検討
○青木 大, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 7 対話型遺伝的アルゴリズムを用いた絵本作成支援システムの構築
○嶋田明奈, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 8 デイトレードのための遺伝的プログラミングによる売買ルールの生成
○打出義尚, 伊庭齊志 (東大)
- 9 多目的 GA によるクラスタリングの検討 - 初期化アルゴリズムの検討 -
○千田智治, 廣安知之, 三木光範, 真武信和 (同志社大)
- 学生セッション [5N 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)**
音楽情報科学 (4) 表現・音合成 座長 小坂 直敏 (電機大)
- 1 インタラクティブアートにおける「これからのインタラクション」
関する理論とそれを利用した作品制作 ○田島悠史 (慶大)
- 2 共鳴部駆動を用いた箏のエレキ化 (第2報)
○高橋直也, 橋本周司 (早大)
- 3 音色記号による音合成のための電子音色辞書編集システムの検討
○小林洋平, 小坂直敏 (電機大)
- 4 物理モデルに基づく音合成システム
○後藤祐子, 小坂直敏 (電機大)
- 5 音響信号の直接入力による概念からの音合成
○吉田誠一, 小坂直敏 (電機大)
- 6 モーションキャプチャを用いたピアノ演奏動作のCG表現と演奏との同期処理
○山本和樹, 武田晴登, 片寄晴弘, 長田典子 (関西学院大)
- 7 サイン音セットの自動生成システム
~開始, 終了, 警告を表すメロディ要素の導出と自動生成~
○森下千春, 和氣早苗 (同志社女子大),
三木光範, 織田博子 (同志社大)
- 8 複数ベクトルマップ連結による演奏システム
○笠原俊一, 橋本周司 (早大)
- 9 演奏表現の不適切な箇所を指摘するピアノ学習支援システム
○高橋佳恵, 青柳龍也 (津田塾大)
- 学生セッション [6N 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 17:00)**
音楽情報科学 (5) 作曲・楽曲生成 座長 平賀 瑠美 (文教大)
- 1 遺伝的プログラミングとNグラムモデルを用いた自動作曲
○小泉頼奈, 長名優子 (東京工科大)
- 2 歌詞における言語情報を利用した作曲システム
○弘田修平, 白石 隆, 内田 理, 菊池浩明, 中西祥八郎 (東海大)
- 3 コードと音高情報による隠れマルコフモデルを用いた曲構造を持つ
楽曲の自動生成 ○安孫子友美, 小谷善行, 但馬康宏 (農工大)
- 4 生体情報および心理データの解析結果に基づく音楽自動生成システムの構築
○田頭勇也, 馬淵浩司, Goutam Chakraborty,
松原雅文, 石亀昌明 (岩手県大)
- 5 楽曲大局構造とパルスの表現を併用した事例参照型演奏生成システム
○伊藤洋介, 橋田光代, 片寄晴弘 (関西学院大)
- 6 (講演取消)
- 7 事例に基づく演奏表情生成システムにおける複雑性を考慮した表情生成式
○原田杏奈, 清水厚志 (芝浦工大), 鈴木泰山 (ピコラボ),
野池賢二 (トランス・ニュー・テクノロジー),
金子雄介 (日本総研), 徳永幸生 (芝浦工大)
- 学生セッション [1P 会場] (3月6日 (火) 10:00 ~ 12:30)**
画像解析・合成 座長 浜田 玲子 (東大)
- 1 写真から作るアニメーション風の画像
○福田正嗣 (宮崎大), 田辺真弥 (高知システムズ),
坂本真人, 古谷博史 (宮崎大)
- 2 コミック画像におけるコマ分割処理の高速化に関する検討
○石井大祐, 河村 圭, 渡辺 裕 (早大)
- 3 前景物体との重なり部における色合わせを考慮したシームレスな画像
合成方法
○齋藤拓也 (東大), 坂東洋介 (東芝/東大), 西田友是 (東大)
- 4 撮像条件を変えた複数画像を用いた画像の高階調化
○近藤秀樹, 山口友之, 橋本周司 (早大)
- 5 実写中の線の分類に基づく線画自動生成
○岡本 穂, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 6 映像によるサッカーの戦術分析
○杉原和輝, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 7 数式認識のための高次情報を利用した文字誤認識訂正法の個別評価
○瀧口祐介, 岡田 稔 (早大), 三宅康二 (中部大)
- 学生セッション [2P 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)**
画像分類・検索 座長 柳井 啓司 (電通大)
- 1 MRI脳画像における側頭葉領域の構造特徴抽出
○伊藤桃代, 西田 眞, 苗村育郎 (秋田大)
- 2 ミクセルを考慮したNOAA-AVHRRデータの自動クラス分類とその評価
○佐藤郁磨, 景山陽一, 西田 眞 (秋田大)
- 3 時系列情報を用いた雲分類
○池田広志, 中村真吾, 橋本周司 (早大)
- 4 適応的探索法を用いたスケールスペース法による領域分割
- 対象画像と適応アルゴリズムに関する一考察 -
○永原武征, 広永美喜也, 西村卓也 (近畿大)
- 5 Region-based Retrieval and Manipulation of Image Collections
○David Gavilan Ruiz, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 6 投票による部分単位でのマッチングを用いた画像検索手法
○竹田信洋, 阿部 亨, 木下哲男 (東北大)
- 7 画像もしくは画像の一部をキーとする類似画像検索
○永島浩平, 中田正雄, 長名優子 (東京工科大)
- 8 情景画像中に存在する文字領域の抽出 ○原島大輔, 諸角 建 (拓大)
- 9 自然画像の符号化における画像に依存した基本要素の導出
○吉岡将人, 亀田昌志 (岩手県大)
- 学生セッション [3P 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)**
視覚インタフェース・視線分析 座長 佐藤 清秀 (キャンノン)
- 1 USBカメラを使用した指文字の学習用システムの試作
○羽石清貴, 津久井徹, 田海慶太 (日本工大)
- 2 口唇の動き特徴を用いた非接触型コマンド入力インタフェースに関する
検討 ○嵯峨竜一, 西田 眞, 佐藤慶幸, 景山陽一 (秋田大)
- 3 FRONTAL VIEW TONGUE-POSITION DETECTION USING
A WEBCAMERA. ○Luis Ricardo Sapaia, 齋藤 豪 (東工大),
中嶋正之 (国立情報学研)
- 4 温度情報と画像情報を統合利用したユーザ・インタフェース
○川上 徹, 土肥 浩, 石塚 満 (東大)
- 5 明るさの変化に強い画像処理手法を用いた書籍情報検出システムの改良
○日比裕介, 新木英明, 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 6 3Dアバター制御のための簡易モーションキャプチャ
○川澄裕一, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 7 眼球運動システムを利用した画像品質の客観評価手法の提案
○宮下由香, 伊藤久祥, Dicky A. Prima Oky, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 8 画像観測における重要な視線経路の導出
○齋藤裕幸, 亀田昌志 (岩手県大)
- 9 視覚的注意の追跡による動画カテゴリ手法
○石田明久, 吉田謙一, 高橋成雄 (東大)
- 学生セッション [4P 会場] (3月7日 (水) 14:30 ~ 17:00)**
追跡・監視 座長 北原 格 (筑波大)
- 1 単眼人物動画画像の解析によるモーションデータの自動取得に関する検討
○武藤麻矢, 加藤誠己 (上智大)
- 2 (講演取消)
- 3 生活空間内における人物行動の画像理解による言語での説明
○檜山敦子 (お茶の水女子大)
- 4 動作履歴特徴を用いた人物特定動作の認識
○古川裕次郎, 米元 聡 (九産大)
- 5 モーションセンサと画像を用いた個人識別型的位置検出手法 - その2 -
○金岩伸悟, 田島潤一, 富澤 優 (同志社大),
新谷公朗 (常磐会短大), 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 6 プライバシー保護と監視を両立するための動画画像処理手法の検討
○藪田顕一, 北澤仁志, 田中聡久 (農工大)

- 7 (3B セッションに移動)
- 8 運動視差を利用したアクティブズームカメラ監視システム
○高 岩 (東工大)
- 9 背景移動画像における視線追跡の一方法
○李 博, 小林 剛, 佐藤 誠, 張 曉林 (東工大)

学生セッション [5P 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

顔画像処理 座長 三田 雄志 (東芝)

- 1 色彩情報を用いた顔領域抽出に関する検討
○佐井 高, 西田 眞 (秋田大), 大瀧健太 (アルファシステムズ)
- 2 個人特有の顔の表情空間に着目した表情解析法の検討
○川邊恵一 (秋田大), 石井雅樹 (秋田県産業技術総合研究センター), 西田 眞 (秋田大)
- 3 顔特徴を考慮した顔画像認識の一考察 ○新井絵美 (お茶の水女子大)
- 4 解像度の違いにロバストなまばたき検出とベストショット画像の自動生成
○尾崎勇也, 今井順一, 金子正秀 (電通大)
- 5 動画画像を用いた正面顔画像判定に関する研究
○馬石直登, 池辺正典, 田中成典, 西田義人 (関西大)
- 6 顔動画像における頑強な特徴点追跡の一手法
○野村有加, 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 山口 泰 (東大)
- 7 顔の単眼視全体画像からの視線検出とその応用に関する検討
○籠谷徳彦, 加藤誠巳 (上智大)
- 8 近赤外単眼カメラ画像からの眼球運動計測法とその応用に関する検討
○瀧澤晃司, 篠田貴之, 加藤誠巳 (上智大)

学生セッション [6P 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 17:00)

3次元画像処理と GIS 座長 大隈 隆史 (産総研)

- 1 地図情報への建物画像対応付けアルゴリズム
○山崎真徳, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 2 画像をキーとした撮影ポイント推定アルゴリズム
○高橋琢磨, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 3 注視点が既知である連続画像間の対応点探索法の提案
○田村壽英, 松崎和敏, 加藤芳彦, 張 曉林 (東工大)
- 4 注視点固定の連続画像における対応点追従手法の提案
○松崎和敏, 小林 剛, 田村壽英, 張 曉林 (東工大)
- 5 複数ステレオ画像を用いた画像と3次元情報の同時高解像度化
○木村一人, 長井隆行 (電通大), 永吉洋登, 酒匂 裕 (日立)
- 6 三次元情報の整合性を考慮したマルチカメラによる形状復元法
○川上耕平, 小田倉聡司, 阿部 亨, 木下哲男 (東北大)
- 7 汎用イメージスキャナを用いた高精度三次元形状測定に関する研究
○周藤一浩, 齋藤 豪, Youngha Chang, 中嶋正之 (東工大)

学生セッション [1Q 会場] (3月6日 (火) 10:00 ~ 12:30)

ニューラルネット 座長 小野田 崇 (電中研)

- 1 マージン最大化学習によるロバストな連想記憶モデル
○秋本仁志, 服部元信 (山梨大)
- 2 人間型声道モデルと神経回路モデルを利用した母音模倣
○神田 尚, 尾形哲也, 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- 3 ニューラルネットワークによる病的な議論の解釈
○巻口 航, 澤村 一 (新潟大)
- 4 (講演取消)
- 5 スモール・ワールド・ニューラル・ネットワーク (SWNN) による連想記憶の実装、及び評価 ○大口尚紀, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)
- 6 改良型逐次学習可能なカオス連想メモリ
○池谷孝裕, 萩原 彰, 佐塚健人, 長名優子 (東京工科大)
- 7 領域表現を用いたKFM連想メモリにおける1対多の連想とアナログパターンの連想の実現 ○今林朋久, 長名優子 (東京工科大)
- 8 領域表現を用いたKFM連想メモリにおける時系列パターンの学習
○岩井裕太, 長名優子 (東京工科大)

学生セッション [2Q 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

ニューラルネット・人工生命 座長 服部可奈子 (東芝)

- 1 生理学見地に基づいた計算機能を持つ神経細胞の等価回路
○前田幸徳, 草野 玄, 張 曉林 (東工大)
- 2 脳神経シミュレーション・データの新しい表現法
○大石智彦, 高丸尚教, 知原守孝, 稲垣圭一郎, 平田 豊, 宮崎大輝 (中部大)

- 3 自己組織化回路素子 (SONE) への教師あり学習の付与
○金 天海 (早大), 尾形哲也 (京大), 菅野重樹 (早大)
- 4 カオスニューラルネットワークにおけるパターンの想起のされやすさと引き込み領域の大きさに関する検討
○廣澤一輝, 長名優子 (東京工科大)
- 5 伝達速度の異なる2種類の重みを有するカオスニューラルネットワーク
○若命全洋, 廣澤一輝, 武市曉洋, 長名優子 (東京工科大)
- 6 本質的に離散的な系における自己組織化 ○伊藤 斉 (帝京大)
- 7 環境の段階的差異に着目した生態の分化モデル
○若林紗代, 梶田友貴, 鈴木輝彦, 延澤志保, 太原育夫 (東理大)
- 8 代謝の概念を取り入れた人工生命モデル
○梶田友貴, 若林紗代, 鈴木輝彦, 延澤志保, 太原育夫 (東理大)

学生セッション [3Q 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

自然言語処理 (1) 座長 森 辰則 (横浜国大)

- 1 ユーザの検索質問に柔軟に対応する換言辞書を持った検索システムへの取り組み
○松原悠子 (お茶の水女子大)
- 2 係り受け関係を用いた類義語抽出システムの開発
○桜井寛子, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 3 単語クラスタリングと接続関係による複合語キーワード抽出
○野寄竜也, 東 基衛 (早大)
- 4 部分集合と全体集合との単語の出現頻度の偏りを考慮した話題語句抽出手法
○金本径卓, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- 5 A Rule-Based Proper Noun Recognition for Khmer Part of Speech Tagger
○CHENDA NOU, 亀山 渉 (早大)
- 6 入力文の意味理解と連想に基づく自然会話応答
○田中亜紀子, 吉村枝里子, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- 7 単文化処理による主語補完を適用した翻訳訳質の向上について
○高橋彩子, 岸 義樹 (茨城大)

学生セッション [4Q 会場] (3月7日 (水) 14:30 ~ 17:00)

推論探索 座長 相澤 彰子 (国立情報学研)

- 1 自然言語以外の時系列データの解析における Conditional Random Fields の有効性の検討
○三戸芳和, 林 朗 (広島市大)
- 2 未熟練者を対象とした、事例ベース推論を用いた凍結防止剤散布支援システム
○池田芳紀, 仲谷善雄 (立命館大)
- 3 文脈自由文法の漸次学習における規則集合の探索方式の検討と改良
○今田圭太, 中村克彦 (電機大)
- 4 循環文字列に対する文脈自由文法の漸次学習と構文的パターン認識への応用
○山田朋弘, 中村克彦 (電機大)
- 5 議論に基づく情報推薦システム
○福本太郎, 出崎 望, 澤村 一 (新潟大)
- 6 ILP における発想推論を用いた未観測背景知識の選択
○辻 裕貴, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- 7 動作とオブジェクトの関係に基づく機能カテゴリーを表す単語のオンライン学習 ○中村慎也, 長井隆行 (電通大), 岩橋直人 (ATR)
- 8 連続時間上での状態推移対象に適した強化学習手法の研究 - 植物の育成制御への適用 -
○若原拓己, 三上貞義 (はこだて未来大)

学生セッション [5Q 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

音声対話 座長 知野 哲郎 (東芝)

- 1 発話の演繹的解釈を援用した車載情報機器の音声操作に関する検討
○畑中聖二, 加藤誠巳 (上智大)
- 2 補助シナリオを利用したマルチモーダル対話システムの検討
○福井教順, 桂田浩一, 入部百合絵, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 3 マルチモーダル対話システムにおける静的・動的情報を利用した出力応答文のスタイリングの検討
○吉田昌弘, 桂田浩一, 入部百合絵, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 4 補完ルールと発話履歴を利用した入力補完の枠組みの検討
○毛呂良寛, 藤井達郎, 桂田浩一, 入部百合絵, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 5 音声対話システムにおける発話検証を利用したシステム想定外発話の誤受理抑制 ○福林雄一郎, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 6 マルチドメイン音声対話システムにおけるシステム想定外発話のトピック推定に基づく発話誘導
○池田智志, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

- 7 ユーザとタスクの特性を考慮した音声対話システムの評価
○鈴木智彦, 関口芳廣, 西崎博光 (山梨大)
- 8 プレゼンテーション記述言語 MPML-HR における音声インタラクション機能
○糺津真一郎, 西村義隆, 土肥 浩, 石塚 満 (東大), 中野幹生, 船越孝太郎, 竹内誉羽, 長谷川雄二, 辻野広司 (ホンダRIJ)

学生セッション [6Q会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 17:00)

- 自然言語処理 (2) 座長 吉田 稔 (東大)
- 1 副詞的使用に着目した「名詞+に」の深層格識別法
○永田 拓, 石川 勉 (拓大)
- 2 概念知識を用いた連体助詞「の」の決定木による自動意味分類
○森山健太, 小谷善行, 但馬康宏, 古宮嘉那子 (農工大)
- 3 特許文解析誤りの修正システム ○見年代茂大, 横山晶一 (山形大)
- 4 文書校正における単語の概念関係の利用
○板倉由知, 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)
- 5 レポート等に記述された専門用語の適切さに対する判定手法の検討
○陳 奕翔, 荒井正之 (帝京大)
- 6 係り受け構造を用いた読みやすい文章への推敲支援
○大長達也, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 7 言語能力に合わせた平易な文への言い換えシステム
○三戸部矩倫, 横山晶一 (山形大)
- 8 議事録の簡略化システムの作成
○田口 雅, 内田 理, 菊池浩明, 中西祥八郎 (東海大)
- 9 自己組織化マップを用いた電子会議の議事録作成支援に関する研究
○大谷 渉, 中村健二, 田中成典, 池辺正典, 吉村智史 (関西大)

学生セッション [1R会場] (3月6日(火) 10:00 ~ 12:30)

- ロボット・学習 座長 村川 賢彦 (富士通研)
- 1 イベント会場における複数コミュニケーションロボットの協調的なタスク選択
○高砂和弘, 石井健太郎, 今井倫太 (慶大)
- 2 確率的2分木の動的生成に基づく Actor-Critic によるヒューマノイドロボットの運動学習
○中田尚吾, 加藤昇平, 伊藤英則 (名工大)
- 3 自己身体モデルの投影に基づくロボットによる他者の動作予測
○横矢龍之介, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- 4 RNNPBによる自然言語列と動作列の意味的結合と人間ロボットインタラクション
○村瀬昌満, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- 5 人間型ロボットによる能動的な稼働範囲の獲得
○原田 篤, 鈴木健嗣 (筑波大)
- 6 強化学習を用いたヒューマノイドロボットの外乱への対応行動の獲得
○岡本洋平 (東大)
- 7 過去の経験を利用した多用な路面に対応した歩行動作の獲得
○深谷 亮 (芝浦工大)
- 8 自然言語理解による知能ロボットの把持動作制御方式
○松尾和世司, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)

学生セッション [2R会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)

- ロボット・コミュニケーション 座長 今井 倫太 (慶大)
- 1 ロボットによる自動片付け作業の実現
○鍋島 哲, 村松悠太, 高橋佑典, 相馬宏是, 加藤清敬 (東理大)
- 2 映像を投影可能な案内ロボット
○長谷川高輔, 石井健太郎, 今井倫太 (慶大)
- 3 味覚の共感に基づくヒューマンロボットインタラクション
○田口雅彦, 石井健太郎, 今井倫太 (慶大)
- 4 サービスロボットにおける複数ユーザからの指示に対する応答順序決定のための優先度判断
○池田新樹, 今井順一, 金子正秀 (電通大)
- 5 ユーザに同行するロボットにおける状況に応じた並走・縦走の自律的切替え
○花井久美江, 今井順一, 金子正秀 (電通大)
- 6 身体表現によるセンサネットワークからのデータ取得に関する研究
○奥野佑将, 佐竹 聡, 今井倫太 (慶大)
- 7 ロボット自身の行動に起因するセンサ情報を識別する機構
○北澤雄司, 向井 淳, 今井倫太 (慶大)
- 8 FF・FB制御による包摂アーキテクチャにおけるCPG補償器を用いた歩行制御
○日栄 悠, 加藤昇平, 伊藤英則 (名工大)

学生セッション [3R会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

- 画像処理・認識 座長 向川 康博 (阪大)
- 1 堆積物画像からの典型的個体の抽出
○村松宏規, 山田政則, 田村 仁, 深井 越 (日本工大)
- 2 撮像画像による物体堆積量の精度に及ぼす障害物の影響評価
○石井寿和, 吉田 諭, 田村 仁, 深井 越 (日本工大)
- 3 色情報を用いた正規化距離による影の判別
○浅見雅彦, 北澤仁志 (農工大)
- 4 グラフィックスハードウェアを用いた多値モルフォロジーの一考察
○司馬浩之 (阪工大), 手島裕詞 (静岡理工大), 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 5 夜間の自然情景中からの道路標識の抽出・認識システムの設計
○久保英雄, 木村雅宣, 田村 仁, 深井 越 (日本工大)
- 6 画像処理データからの直線部検出手法に関する検討
○酒井昌洋, 佐伯昌洋, 加藤誠巳 (上智大)
- 7 テクスチャ合成とその応用 ○ギッセーラ コルキ, 鈴木潤也, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 8 鷹の眼の生理特徴に基づいた飛行体用視覚システム
○陳 恩恵, 加藤芳彦, 張 曉林 (東工大)

学生セッション [4R会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)

- マルチエージェントシステム 座長 倉橋 節也 (筑波大)
- 1 マルチエージェントを用いたローカルエリア避難誘導法
○国本洋平, 仲谷善雄 (立命館大)
- 2 階層型マッチメイク用ソーシャルウェアコンポーネントの設計
○杜 賑華, 打矢隆弘, 今野 将, 木下哲男 (東北大)
- 3 戦略集合と利得関数が未知なハイパーゲーム的状况におけるエージェントの進化的学習
○本泉俊一, 高橋真吾 (早大)
- 4 異なる環境下で学習したエージェントの協調
○石本将洋 (芝浦工大)
- 5 発展型エージェントフレームワークにおけるエージェント動作結果利用手法
○石井貴光, 打矢隆弘, 今野 将, 木下哲男 (東北大)
- 6 状況変化に対応するパスロケーションエージェントの開発
○中溝克明, 横山孝典, 齋 明連, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 7 鳥の歌獲得のための後天的形質を考慮した進化エージェントモデル
○秦 愛, 武藤敦子, 加藤昇平, 伊藤英則 (名工大)
- 8 相乗りカーシェアリングにおける地方通貨と目的の達成度を用いた合意形成システム
○加藤聡一郎, 米田知広, 粉川貴至, 小川 均 (立命館大)
- 9 ソーシャルキャピタルを考慮した社会シミュレーションに関する研究
○土地洋祐, 相場 亮 (芝浦工大)

学生セッション [5R会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

- マルチエージェント・Robocup 座長 福田 健介 (国立情報学研)
- 1 エージェントに基づく Web クリッピングシステムの試作
○浅見昌平, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 2 Web コンテンツ間の双方向リンクを用いたネットワークモデルに関する考察
○古賀隆浩, 伊藤正詩, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 実環境競合解消のための通信量を抑えた機械学習手法
○砂山享祐, 三上貞芳, 鈴木恵二, 大沢英一 (はこだて未来大)
- 4 能動的情報資源によるネットワーク管理知識の表現
○丹野智幸, 今野 将, 岩谷幸雄, 木下哲男 (東北大)
- 5 RoboCup サッカーシミュレーションにおけるプレイヤーエージェントの動的ポジショニングモデル
○長谷川仁士 (東工大)
- 6 遺伝的アルゴリズムによるロボカップサッカーのチーム成長評価
○中上剛輔, 岡田英彦 (京産大)
- 7 RoboCup 3D シミュレーションリーグにおける試合経過パタンのデータマイニング
○近藤太樹, 中村克彦 (電機大)
- 8 Robocup2D シミュレーションリーグにおけるデータマイニングを用いた行動決定方式の改良
○小田島広幸, 中村克彦 (電機大)
- 9 RoboCup3DSimulation 環境におけるエージェント開発支援のためのデバッグプレイヤーの設計と実装
○瀧澤 崇, 荒川篤邦 (福井大), 久保長徳 (仁愛大), 白井治彦, 高橋 勇, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)

学生セッション [6R 会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

ゲーム・エージェントモデル 座長 伊藤 孝行 (名工大)

- 1 コンピュータブリッジにおける競り合いのビット
○中原雅之, 小田和友仁, 上原貴夫 (東京工科大)
- 2 コンピュータブリッジにおいて敵の情報を得るためのプレイ
○日向野孝之, 上原貴夫, 小田和友仁 (東京工科大)
- 3 コンピュータブリッジにおける他者のモデルとゲーム木探索の高速化
○熊谷幸紀, 上原貴夫, 小田和友仁, 松川 格, 伊東一樹 (東京工科大)
- 4 擬人化エージェントによる説得効果の評価法
○門脇克典, 北村泰彦, 小林一樹 (関西学院大)
- 5 非ゼロ和ゲームにおけるエントロピーを基にした相手戦略の推定
○大橋資紀, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 6 進化システムによる相手を読む戦略の創発
○山田悠矢, 伊藤 昭, 寺田和憲 (岐阜大)
- 7 エージェント間の対話における非論理バイアスの有効性
○作元佑輔, 田口 亮, 篠原修二, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 8 自然な対話を行うための機能を持つエージェントモデル
○浦田知成, 粉川貴至, 小川 均 (立命館大)

9 (講演取消)

学生セッション [4ZB 会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)

自然言語処理システム 座長 出羽 達也 (東芝)

- 1 Web からのイベント情報の抽出および情報の再編集
○田村和香子, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 2 あらゆる概念表記への対応・精度向上を目指した意味的類似度算出ツール
○野口洋平, 清水 諒, 杉本邦弘, 石川 勉 (拓大)
- 3 基本情報試験テキストのオントロジー構築と SPARQL による検索
○柳田憲士郎, 塚本享治 (東京工科大)
- 4 メールからのイベント情報抽出によるスケジュール管理
○大橋菜津美 (お茶の水女子大)
- 5 興味の関係の明確化による曖昧な要求を持つユーザーへの支援に関する研究
○空門日出来, 相場 亮 (芝浦工大)
- 6 個人の嗜好情報を考慮した感情判断システムの構成法
○八尾旬扇, 吉村枝里子, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- 7 意味の類似性に基づく映画推薦システムの提案
○照井康太, 舘 寛典, 袖山 智, 杉本 徹, 榎津秀次 (芝浦工大)
- 8 余暇の過ごし方を提案する会話型エージェントシステムに関する検討
○近藤亮太, 畑中聖二, 加藤誠巳 (上智大)

学生セッション [5ZB 会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

文, 文章の分類 座長 渡辺日出雄 (日本 IBM)

- 1 文末の表現に着目した閲覧者が受ける印象による Web 文書のクラスタリング
○包 直也, 松本章代, 鈴木雅人 (東京高専)
- 2 知識検索サイトにおける不適切な投稿の分類
○小林大祐 (東大), 松村真宏 (阪大), 木戸冬子 (ヤフー), 石塚 満 (東大)
- 3 プライバシー保護機能付きログシステムの検討
○川場真理子, 兼子 愛, 小館亮之 (津田塾大)
- 4 Weblog から共起関係を利用して評判情報を把握する手法の提案
○鈴木健之, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)
- 5 Web 上のニュースを対象にした動向情報抽出手法の提案と実装
○河野友友未, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 6 機械学習による論文概要のセグメンテーション
○広畑堅治, 岡崎直観, 石塚 満 (東大)
- 7 言語モデルに基づく階層型クラスタリングを用いたトピック分析
○大川原雄也, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 8 会話文判定手法の精度
○鈴木伸行, 三浦孝夫 (法大)

学生セッション [6ZB 会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

音響・音声認識・音声合成 座長 大淵 康成 (日立)

- 1 気導音と骨導音の蝸牛における加算処理に関する検討
○川戸千明, 猿舘 朝, 伊藤久祥, Dicky A. Prima Oky, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 2 音環境を可視化する録音再生システム
○吉田雅敏, 海尻 聡, 山本俊一 (京大), 中臺一博 (ホンダ RIJ), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

- 3 監視ロボットにより構成される無線アドホックネットワークを用いた音源定位
○森木正人, 大坐智智, 川島幸之助 (農工大)
- 4 聞きやすい読み上げ音声出力のためのテキスト変換の検討
○林由紀子, 松原茂樹 (名大)
- 5 波形接続型音声合成の単位選択に基づく話者変換の検討
○大川 洵, 水月香織, 藤井 慶 (熊本電波高専)
- 6 ICA と MFT に基づく音声認識における Soft Mask を用いた性能評価
○武田 龍, 山本俊一, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 7 ボイスブラウザの音声認識率向上策 - 形態素による -
○谷口卓也 (東京工科大)
- 8 学習者の理解度把握へ向けた e ラーニング学習中の音声の音響的特徴分析
○戸上雅夫, 飯田 仁 (東京工科大)

一般セッション [6D会場] (3月8日(木) 14:30~17:00)

ネットワーク運用・制御・評価 座長 一井 信吾 (東大)

- 1 エンドツーエンド IPsec 通信の実現を容易にする IKE 認証機構拡張
○平河内竜樹 (無所属)
- 2 無線ネットワークにおける帯域集約を目的とした TCP に関する考察
○小口 潔, 田中大吾, 重野 寛 (慶大)
- 3 マルチキャスト配信におけるリダイレクト型 FEC 装置の実装
○佐々木力, 田上敦士, 長谷川輝之, 阿野茂浩 (KDDI 研)
- 4 H.264 映像配信の品質評価と QoS 制御の検討
○奥村誠司, 出原優一, 中島宏一 (三菱)
- 5 宅内同軸線通信モデム自動設定手順の提案
○荒井大輔, 吉原貴仁, 堀内浩規 (KDDI 研)
- 6 マルチベンダ環境における通信機器のアクセス制御方式
○山形昌也 (NEC)
- 7 大阪府産技研にみる庁内 LAN 更新に関する問題解決と新ネットワークの評価
○平松初珠, 石島 梯, 中辻秀和 (大阪府立産総研)

一般セッション [1E会場] (3月6日(火) 10:00~12:30)

モバイルコンピューティング 座長 石原 進 (静岡大)

- 1 検査機構を備えた機器サービスネットワークの構築に関する研究
○西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 2 ユビキタスサービスにおけるセンサネットワークゲートウェイの一考察
○井谷茂寛 (富士通研)
- 3 SNS と携帯電話の連携によるロコミ情報共有方式の検討
○栗林伸一, 伊藤剛介, 津村重宏, 畠山賢一 (成蹊大)
- 4 携帯電話アプリケーションによる UML ステートマシン図に基づく WSN ビジュアルプログラミングシステム
○大林真人 (東京都立産業技術研究センター), 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- 5 疎結合による広域に分散したセンサネットワーク群の統合機構
○横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 6 統合通信基盤におけるセンシングサービス提供方式
○磯村 学, 堀内浩規 (KDDI 研)

一般セッション [2E会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)

モバイルネットワーク 座長 藤野 信次 (富士通研)

- 1 モバイル環境における MMD セッション制御高速化に関する提案と設計
○小森田賢史 (KDDI 研), 我妻知典 (中大), 千葉恒彦, 横田英俊, 井戸上彰 (KDDI 研), 羽鳥光俊 (中大)
- 2 モバイル環境における MMD セッション制御高速化に関する実装と評価
○我妻知典 (中大), 小森田賢史, 千葉恒彦, 横田英俊, 井戸上彰 (KDDI 研), 羽鳥光俊 (中大)
- 3 携帯電話向けデータの最適転送・管理方式の提案
○石田博規 (電通大), 渡邊久雄 (パリュートテクノロジー), 鈴木健二 (電通大)
- 4 Mobile IP SHAKE 環境下での TCP 通信における再送抑制方法の一検討
○荻野秀岳, 石原 進 (静岡大)
- 5 Investigating Resource Assignment for Coexisting PANs in Ubiquitous Environment
○Niwat Thepviljanapong, 茂木信二, 堀内浩規 (KDDI 研)
- 6 無線 LAN マルチホップネットワークにおけるセキュアコネクション構築モデルの提案と実装
○鎌田美緒, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 移動アドホックネットワークにおける排他的 QoS ルーティングの検討
○川島佑毅, 荒谷和徳, 寺島美昭 (三菱)

一般セッション [3E会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)

分散システム (1) 座長 土屋 英亮 (電通大)

- 1 Web サービスを利用した Java/.NET 連携フレームワーク
○土屋 隆, 原田雅史 (三菱), 浅見可津志 (三菱電機インフォメーションシステムズ)
- 2 仮想サーバの最適な配置方式の提案と評価
○柳沢 満, 竹村俊徳 (NEC)
- 3 投機的 VM スタンバイによるプロビジョニング高速化
○町田文雄, 川戸正裕, 前野義晴 (NEC)

4 グリッド技術を用いた GIS 処理の制御と効率化

○草薙信照 (大阪経済大), 石原康秀 (富士通)

5 キャッシュされた分割圧縮ブロックの利用による HTTP-FUSE

KNOPPIX における起動の高速化

○後藤和弘 (大分県産業科学技術センター),

北川健司 (アルファシステムズ),

江原裕幸 (ハイパーネットワーク社会研究所),

中川俊哉 (大分県自治体共同アウトソーシングセンター),

下村昭洋 (大分シーイーシー)

一般セッション [4E会場] (3月7日(水) 14:30~17:00)

分散システム (2)

座長 石橋 勇人 (大阪市大)

- 1 OSGi サービス基盤活用による ECHONET 機器管理方式の検討
○今井光洋, 川口貴正, 岡山祐孝 (日立)
- 2 構内デジタルカメラのポリシー制御機能の検討と実装
○三浦健次郎, 杉野幸正, 阿倍博信 (三菱)
- 3 テレビ放送コンテンツにおける動画に向けたトラックバックシステムの検討
○橋本範之, 鈴木理基, 重野 寛 (慶大)
- 4 P2P ネットワークにおける保有コンテンツの類似性を考慮した検索効率向上手法
○遠藤慶一 (京大), 最田健一 (シー・オー・コンヴ), 川原 稔 (愛媛大), 高橋 豊 (京大)
- 5 Managed M2M システム技術
○釜坂 等, 安田晃久, 金子洋介 (三菱)
- 6 Right Time Communication Architecture の提案と考察
○戸澤 傑, 鈴木健二 (電通大)

一般セッション [5E会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)

ITS (1)

座長 堀内 浩規 (KDDI 研)

- 1 自動車音声対話システムのための運転中の過負荷状態の検出
○高木俊一 (豊橋技科大), 北岡教英 (名大), 中川聖一 (豊橋技科大)
- 2 道路白線認識に基づく運転者の眠気検出の一手法
○大西陽介, 上林 学, 田岡武司, 真鍋 真, 福井正博 (立命館大)
- 3 自動車カメラ動画像に対する白線認識システムの開発
○上林 学, 大西陽介, 真鍋 真, 田岡武司, 福井正博 (立命館大)
- 4 車載用歩行者抽出動画像処理のオンライン学習による獲得
○小川原也, 笠置誠祐, 泉名克郎, 喜瀬勝之 (富士重工), 長尾智晴 (横浜国大)
- 5 車載用歩行者抽出動画像処理のオンライン追加学習法
○笠置誠祐, 小川原也, 喜瀬勝之 (富士重工)

一般セッション [6E会場] (3月8日(木) 14:30~17:00)

ITS (2)

座長 梅津 高朗 (阪大)

- 1 車間距離変化に対応した位置把握プロトコルの提案
○岡田陽次郎, 春名恒臣, 重野 寛 (慶大)
- 2 車車間通信を用いた車両情報通知方式のシミュレーション評価
○田坂和之, Thepviljanapong Niwat, 堀内浩規 (KDDI 研)
- 3 車内ユーザへの通信リソース提供のための動的ネットワーク融合方式
○今井尚樹, 堀内浩規 (KDDI 研)
- 4 地上デジタル放送を用いた高度道路交通情報配信方式における一検討
○村松茂樹, 小林亜介, 太田慎司, 西山 智 (KDDI 研)
- 5 体験メディアとしての個人用知的移動体
○長尾 確 (名大)

学生セッション [1U会場] (3月6日(火) 10:00~12:30)

分散システムと Web サービス (1)

座長 樋地 正浩 (日立東日本ソリューションズ)

- 1 データ管理に XML を用いた Web ベースの内部ネットワーク接続端末管理システムの構築
○小野寺克昌, 瀬川典久, 杉野栄二, 澤本 潤 (岩手県大)
- 2 (2T セッションに移動)
- 3 Web サービスにおける巡回型トランザクション処理方式の実現
○松本直樹, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 4 RDF を用いたユビキタス情報交換手法の提案
○笹尾卓宏, 相田 仁 (東大)
- 5 データ伝送ツール Curl の国際化への試み
○小林健雄, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 6 SSL サーバの運用方式を反映したパフォーマンス計測器の実装
○野出利緒, 初谷良輔, 齋藤孝道 (明大)

- 7 資源が制約された端末のための分割コンテンツ配信システムの試作
○近藤圭佑, 荒井裕介, 新谷虎松, 大園忠親 (名工大)
- 8 GPS 搭載携帯電話を用いた位置情報付き Weblog 投稿・検索システムの設計と実装
○前澤直洋, 佐藤 喬, 多田好克 (電通大)
- 9 タイルドディスプレイ手法を利用した伝統工芸プレゼンテーションシステムの提案
○千葉 豪, 柴田義孝 (岩手県大)

学生セッション [2U 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

分散システムと Web サービス (2) 座長 竹下 敦 (NTT ドコモ)

- 1 分散環境におけるセキュアな協同作業のためのグループ管理システムの試作
○百田 信 (九大), 甲斐啓文 (三菱), 伊東栄典 (九大)
- 2 DNS を活用した SIP セッションの確立法
○時光 潤, 後藤滋樹 (早大)
- 3 ドメインネットワークでの認証処理時間の比較
○大野寿也, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 4 IP マルチキャストを用いたユビキタスプリンティングサービス「PrinterSurf」の設計
○中上恭介, 後藤幸功, 村山優子 (岩手県大)
- 5 音声認識による検索機能を備えた分散ボイスロギングシステム
○藤村卓樹, 大島浩太, 安藤公彦, 寺田松昭 (農工大)
- 6 動的適応性を持つソフトウェアシステムの検証環境に関する検討
○田中大祐, 久保田稔 (千葉工大)
- 7 実時間分散制御システムの永続化に関する研究
○西野弘毅, 高田昌之 (電通大)
- 8 システム構成の変化に対応した IP-SAN 環境管理手法の提案と実装
○野島沙央里, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 9 IP ストレージの VPN 複数経路アクセス制御手法の提案と評価
○武田裕子, 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [3U 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

アドホックネットワーク 座長 横田 英俊 (KDDI 研)

- 1 通信プロトコルのモバイルコード化による無線ネットワークシミュレーション環境の構築
○御子柴健吾, 伊藤 洋, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 2 セルラーと無線 LAN 融合環境における通信メディア選択方式の評価
○武藤誠三, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 3 モバイルアドホックネットワークのための中継端末の送信バッファ残量を用いた輻輳ウィンドウの初期化方法の提案
○小嶋明寿, 石原 進 (静岡大)
- 4 無線ネットワーク環境向け分散オブジェクトネーミングサービス
○平野繁裕 (武蔵工大)
- 5 大規模アドホックネットワークにおける階層的な名前解決法
○鈴木幹也, 後藤滋樹 (早大)
- 6 電力残量と省電力を考慮したアドホックネットワーク
○飯島澄人, 佐藤文明 (東邦大)
- 7 モバイルアドホックネットワークにおけるアドレス構造化を用いた集中管理型アドレス割当手法
○粕田大樹 (青学大), 若原 恭 (東大), 水澤純一 (青学大)
- 8 アドホックネットワークにおける IP アドレス分散管理手法の提案
○田川雅士 (青学大)
- 9 複数チャネルを用いるアドホックネットワークにおける最適チャネル割り当て法の提案
○田中隼人 (青学大)

学生セッション [4U 会場] (3月7日 (水) 14:30 ~ 17:00)

ネットワーク運用・評価 座長 柳生 智彦 (NEC)

- 1 複数経路通信プロトコル M/TCP の広帯域環境における性能評価
○伊藤 舞 (お茶の水女子大)
- 2 MTU を考慮した TCP Selective ACK 拡張オプションの性能評価
○伊沢信太郎, 関 宏規, 後藤滋樹 (早大)
- 3 TTL を用いた能動的 NAT 検出手法の提案
○三村 守, 中村康弘 (防衛大)
- 4 IPv6 通信におけるプライバシー向上のためのワнтаイトアドレスの実現
○桜井敦史, 荻原 隆 (拓大)
- 5 携帯電話向け汎用アプリケーションゲートウェイフレームワークの開発と評価
○窪田聡史, 安井浩之, 松山 実 (武蔵工大)
- 6 高速鉄道ブロードバンド通信における異種無線リンク有効活用手法の検討
○神堀真也, 相田 仁 (東大)

- 7 無線 LAN マルチホップ中継ノードにおける階層プロトコルの動作解析
○松井愛子, 神坂紀久子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 8 高負荷 WLAN における DCCP によるビデオストリーミング性能評価
○大塚裕太, 石原 進 (静岡大)
- 9 Gigabit Ethernet 全二重ワイヤレートに対応したネットワークフォレンジックシステムの開発
○居内寛貴, 福岡清信, 中島 潤 (北海道情報大)

学生セッション [5U 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ネットワーク制御 座長 阿野 茂浩 (KDDI 研)

- 1 Fast Mobile IPv6 における経路最適化方式の改善
○柿沼基樹, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 2 Mobile MPLS プロトコルを使ったハンドオフ時の経路再設定方式の提案
○Lasith Rathnamalala, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 3 高速ハンドオフに適した移動端末制御方式の提案
○中馬裕基, 鈴木寛和, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 4 P2P ストリーミング配信におけるピアの生存時間を考慮したネットワーク再構成方式
○倉掛謙久, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 5 非対称リンクを含む MANET のためのルーティングプロトコル LBSR
○坂本大樹, 松垣博章 (電機大)
- 6 オーバレイマルチキャストにおける帯域幅予約
○小幡裕和, 松垣博章 (電機大)
- 7 mPAN における高速セッション制御手法に関する検討
○福家義英, 峰野博史 (静岡大), 鈴木偉元, 石川憲洋 (NTT ドコモ), 水野忠則 (静岡大)
- 8 耐故障ネットワークルーティングに対するスロットリングに関する考察
○村上弘和, 鎌倉正司郎, 吉永 努 (電通大)
- 9 L2/L3 スイッチの光インタフェースの OXC による制御手法の提案と評価
○曾我恭行, 妹尾尚一郎, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)

学生セッション [6U 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 17:00)

情報家電とホームネットワーク 座長 小池 淳 (KDDI 研)

- 1 分散型家電ネットワークにおける緊急情報を利用した防災支援制御
○小坂達郎, 西村俊和 (立命館大)
- 2 (講演取消)
- 3 情報家電ネットワークの遠隔相互接続のためのネットワークアーキテクチャ
○武藤大悟, 吉永 努 (電通大)
- 4 アンビエントインテリジェンスを用いたホームネットワークシステムの提案
○長江洋子, 山田松江, 井垣 宏, 青山幹雄 (南山大)
- 5 DLNA 家電と PLC デバイスを連携させる DLNA/SCP ゲートウェイの開発
○中尾雄大, 峰野博史, 栗山 央 (静岡大), 古村 高 (ルネサスソリューションズ), 水野忠則 (静岡大)
- 6 ネットワークに接続されたマシンの通信内容に基づくグループ化について
○守谷紘樹, 古川善吾 (香川大)
- 7 多者間通話システムにおける通話グループに基づく負荷分散方式の提案
○佐藤雅俊, 安藤公彦, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 8 全方位カメラと PTZ カメラを利用したテレビ会議システムの研究
○佐藤洋介 (岩手県大), 米田祐也 (アイソニック), 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 9 分割 CBR によるリアルタイムエンコードの圧縮効率の改善
○進 隆治, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)

学生セッション [1V 会場] (3月6日 (火) 10:00 ~ 12:30)

ITS 座長 遠藤 秀則 (NTT データ先端技術)

- 1 眼球の画像処理によるドライバの心理・動作状況把握に関する検討
○篠田貴之, 加藤誠巳 (上智大)
- 2 画像処理による点字ブロック検出を用いた視覚障害者用歩行支援システムに関する検討
○塩谷敦史, 籠谷徳彦, 加藤誠巳 (上智大)
- 3 ステレオデジタルビデオカメラを用いた雨天時の車両検出に関する研究
○坂田能一, 吉田博哉, 田中成典, 北野光一, 杉之原亮 (関西大)
- 4 オブジェクト指向プログラミングによる交通流制御シミュレーションプログラムの開発
○天野雄太, 鄭 萬溶 (沼津高専)
- 5 路面凍結情報システムの機能拡張と 2006 年度実証実験
○村田康之, 高山 毅, 元田良孝, 恵津森真仁, 村田嘉利 (岩手県大), 池田哲夫 (静岡県大), 佐野嘉彦 (岩手県大)

- 6 時間制約付き目的地及び通過道路の指定が可能な経路探索手法
○根笹賢一, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 7 カーナビ注視時間を減らす音声案内
○小林祐貴, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 8 信号の数と交差点での右左折を考慮したカーナビゲーション経路探索方式
○三浦隆浩, 小泉寿男 (電機大)
- 9 複数目的地を巡回する人の個別運動モデルの考察
○浅見拓哉 (電通大), 関 良明 (NTT)
- 学生セッション [2V会場] (3月6日(火) 15:00~17:30)**
歩行者ナビゲーション 座長 桐村 昌行 (三菱)
- 1 GPSと無線LANを用いたナビゲーションシステムの経路選定手法
○正能達也, 小泉寿男 (電機大)
- 2 体力的要素を考慮した歩行者用観光ナビゲーションシステム
○小林明彦, 羽山徹彩, 國藤 進 (北陸先端大)
- 3 地震災害発生時に特化した歩行者用経路案内システムに関する検討
○吉川友啓, 加藤誠巳 (上智大)
- 4 歩行者ナビゲーションに必要なとされる経路情報とその表現法に関する検討
○福田 博, 小出祥平, 加藤誠巳 (上智大)
- 5 歩行者ナビゲーションにおける経路案内文章生成・出力方法に関する検討
○砂田 聡, 小出祥平, 加藤誠巳 (上智大)
- 6 動的経路案内可能な三次元歩行者移動支援システムに関する検討
○小出祥平, 加藤誠巳 (上智大)
- 7 経路の三次元情報データベースを利用した画像処理による歩行者経路案内支援システムに関する検討
○佐伯昌洋, 加藤誠巳 (上智大)
- 8 経路特性を考慮した構内3次元経路案内
○矢澤 章, 久保田光一 (中大)
- 9 骨格地図実用のためのシステム設計
○川端秀和, 久保田光一 (中大)
- 学生セッション [3V会場] (3月7日(水) 9:30~12:00)**
位置情報システム 座長 宮崎 敏明 (会津大)
- 1 MANETにおける位置情報SIPシグナリングの検討
○宮崎翔平, 鈴木亮平, 石塚宏紀, 戸辺義人 (電機大)
- 2 ネットワークロボットにおけるコストを考慮したサービス引き継ぎの検討
○金澤祥弘, 鈴木亮平, 戸辺義人 (電機大)
- 3 geo-routingを利用した情報検索システムの提案
○澤田友里子 (はこだて未来大)
- 4 無線LANを用いたアミューズメントソフトにおける位置情報の利用
○飛田春樹, 小高知宏, 小倉久和, 黒岩丈介, 高橋 勇, 白井治彦 (福井大)
- 5 位置情報を考慮したハンディキャッパー向けモバイル端末用ナビゲーションシステムの構築
○内林俊洋 (九産大)
- 6 アドホックネットワークを用いたホットスポットの位置情報通知によるユーザ誘導方式
○前田武志, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 7 遠隔操作における伝送遅延を考慮した移動ロボット制御
○大垣史迅, 鈴木健嗣 (筑波大)
- 8 (講演取消)
- 9 車々間アドホックネットワーク上の位置依存情報共有における経路制御に関する一検討
○村井翔悟, 山中麻理子, 石原 進 (静岡大)
- 学生セッション [4V会場] (3月7日(水) 14:30~17:00)**
センサネットワーク (1) 座長 戸辺 義人 (電機大)
- 1 水産トレーサビリティシステムの信頼性確保
ー2次元コードへのすかし導入ー
○女川穂高, 三上貞芳, 長野 章, 高木 剛 (はこだて未来大), 桑原伸司 (北日本港湾コンサルタント), 鳴海日出人 (日本データサービス), 若林隆司 (アルファ水工コンサルタンツ)
- 2 複数センサネットワークを統合するユビキタスネットワーク基盤の構築
○石山 慎 (はこだて未来大)
- 3 コンテキストウェアを利用した登下校時におけるアクシデント検知・推定システムの研究
○山野英樹, 東 基衛 (早大)
- 4 センサネットワークにおけるデータ収集管理方式に関する一検討
○細谷憲一, 久保田稔 (千葉工大)
- 5 身体動作分散検出による装着用3軸加速度センサノード無線送信量低減
○大崎英誉, 諏訪敬祐 (武蔵工大)
- 6 300MHz微弱無線利用アクティブタグの工場内通信実証実験
○齋藤 修, 渋沢 進, 安原一哉 (茨城大), 藤咲修一 (東海テック), 戸田淳一 (茨城ソフトウェア開発)
- 7 RFIDを用いた位置推定方法
○渡辺勇人, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 8 無線センサネットワークにおけるセンサ機能割り当てに対する自律分散アルゴリズム
○川野亮平, 小野寺克美, 宮崎敏明 (会津大)
- 9 センサネットワークにおける自律的ローカル時刻同期手法
○小野寺克美, 川野亮平, 宮崎敏明 (会津大)
- 学生セッション [5V会場] (3月8日(木) 9:30~12:00)**
センサネットワーク (2) 座長 横田 裕介 (立命館大)
- 1 (講演取消)
- 2 個人と集団の行動履歴に基づく予測型情報提示システム「水晶珠」の提案
○田島孝治, 安藤公彦, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 3 長期運用を実現するためのクライアント参加型センサネットワーク
○小野真和, 松垣博章, 古田勝久 (電機大)
- 4 (講演取消)
- 5 センサネットワークを用いた実世界ルールベースの構築
○松橋 徹, 佐竹 聡, 今井倫太 (慶大)
- 6 セマンティックセンサネットワークにおけるマルチワールドモデル管理機構
○川崎仁史, 佐竹 聡, 中村 学, 今井倫太 (慶大)
- 7 移動端末を用いた物品トラッキングシステムの精度向上に関する検討
○小倉正利, 峰野博史 (静岡大), 寺島美昭, 徳永雄一 (三菱), 水野忠則 (静岡大)
- 8 メタデータを用いた無線センサネットワーク向けデータ集約型通信の実装
○鄭 懿, 峰野博史, 陳 惠芳 (静岡大), 爰川知宏, 小橋喜嗣 (NTT), 水野忠則 (静岡大)
- 9 P2Pオーバレイセンサネットワークを実現するプロキシの開発
○神谷英樹, 峰野博史 (静岡大), 角野宏光, 石川憲洋 (NTTドコモ), 水野忠則 (静岡大)
- 学生セッション [6V会場] (3月8日(木) 14:30~17:00)**
センサネットワーク (3) 座長 川島 英之 (慶大)
- 1 焦電センサとRFIDによる室内向け物品位置検出手法
○西原秀明, 窪田裕介, 村川友章, 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 2 弛緩法を用いた無線通信による屋内向け測位方式の提案
○齋藤匡圭, 佐藤文明 (東邦大)
- 3 RFID及びネットワーク環境内の出力装置を利用したファイル再生システム
○濱川 礼, 伊藤秀和, 鈴木優至, 高崎靖広, 棚瀬健太 (中京大)
- 4 センサネットワークにおけるスケラビリティを考慮したクラスタ間マルチホップネットワークの構成
○後藤隼式, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 5 センサネットワークにおけるJiniによる柔軟なゲートウェイサービスの構築
○植田裕規, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 6 センサネットワークにおけるトポロジの部分的再構築方法
○高原資史, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 7 センサネットワークにおける非線形連立方程式の解法による位置推定方式の実現
○鮫島清豪, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 8 時間指定可能なクエリ処理システム
○富森英生, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 9 TDoA測位技術を利用した高精度時刻同期手法の実装
○高木敬介, 鈴木和久, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 学生セッション [1W会場] (3月6日(火) 10:00~12:30)**
P2P 座長 上田 清志 (NTT)
- 1 P2Pファイル共有ネットワークを利用した大規模分散ストレージの実現
○岡本雄太, 蛭田智則, 山名早人 (早大)
- 2 (講演取消)
- 3 (講演取消)
- 4 P2P動画共有サービスにおける待ち時間の改善を目的としたノード探索アルゴリズムの提案
○山本 宙, 深海 悟 (阪工大)

- 5 経路維持コストを考慮した可変長分散ハッシュ法の Chord への適用
○白井晋平, 西村俊和 (立命館大)
- 6 CVE における位置情報を利用したオーバーレイ P2P ネットワークの提案と評価
○中井優志, 柴田義孝 (岩手県大)
- 7 ネットワーク環境とユーザ要求を考慮した P2P ビデオ配信システム
○横川芳隆, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 8 接続断を隠蔽する P2P ストリーミング再生方式の提案
○笹本知将, 大坐畠智, 川島幸之助 (農工大)
- 9 P2P マルチキャストにおけるノード制御手法の提案
○渡辺雅人 (はこだて未来大)
- 3 インターネットのスパイウェア汚染度に関する予備調査と分析
○岡崎 創, 棟上昭男, 塚本享治 (東京工科大)
- 4 ホームページ改ざん検知システムにおける更新作業効率化のための一手法
○富永浩之, 高屋敷光一, 猪股俊光, 曾我正和 (岩手県大)
- 5 エージェントレス型 DHCP ゲートウェイ方式検疫システムの実装及び評価
○趙 シン, 安井浩之, 松山 実 (武蔵工大)
- 6 仮想環境を用いたハニーポットファームの実現
○天野将宏, 蓑原 隆 (拓大)

(セキュリティ)

一般セッション [1F 会場] (3月6日 (火) 10:00 ~ 12:30)

セキュリティ (1) 座長 菊池 浩明 (東海大)

- 1 (講演取消)
- 2 「Web ベースのコントロールパネル用セキュリティ診断・設定システム」の提案と課題
○祐直知孝, 河内清人, 藤井誠司 (三菱)
- 3 カード毎の状態遷移と複数の IC カード間の状態連携ルールを用いた IC カード運用管理の構築
○山田耕一, 小宮 崇, 山足光義, 近藤誠一 (三菱)
- 4 流通経路に基づくトレース情報のアクセス制御方式
○水野高宏, 國廣健太郎, 高橋成文 (NTT データ)
- 5 セキュリティプロトコル自動生成手法の検討
○清本晋作, 太田陽基, 田中俊昭 (KDDI 研)
- 6 電子タグ異種プラットフォーム間認証の高速化に関する提案
○國廣健太郎, 水野高宏, 高橋成文 (NTT データ)

一般セッション [2F 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

セキュリティ (2) 座長 竹森 敬祐 (KDDI 研)

- 1 SPAM 対策を想定した CUG 用メールシステムの開発
○土井 渉, 鈴木健二 (電通大)
- 2 CVSS を用いた脆弱性評価の検討
○小林克巳, 寺田真敏, 山岸 正, 小林偉昭 (情報処理推進機構)
- 3 定点観測による不正アクセス分析システム - 概要 -
○榊原裕之, 北澤繁樹, 大野一広, 坂口竜太, 藤井誠司, 鹿島理華, 平井規郎 (三菱)
- 4 定点観測による不正アクセス分析システム
- 不正アクセス検知のためのネットワークログ分析手法 -
○鹿島理華, 藤森敬悟, 平井規郎, 榊原裕之, 大野一広, 藤井誠司 (三菱)
- 5 定点観測による不正アクセス分析システム - 検知性能の評価 -
○大野一広, 榊原裕之, 北澤繁樹, 藤井誠司 (三菱)
- 6 (講演取消)

一般セッション [3F 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ (3) 座長 吉浦 裕 (電通大)

- 1 セキュリティログ統合管理システム (1) - 大規模ログ収集 -
○樋口 毅, 村澤 靖, 相浦利治 (三菱)
- 2 セキュリティログ統合管理システム (2) - ログ改ざん検知 -
○金子洋介, 小林信博, 村澤 靖 (三菱)
- 3 セキュリティログ統合管理システム (3) ログ時刻補正
○山田将史, 村澤 靖 (三菱)
- 4 IT マンションにおけるサービス認証システムの開発
○中本与一, 牧元喜宣, 澤村伸一 (日立)
- 5 公開鍵証明書によるオンデマンド VPN システムの提案
○有馬一樹, 星川知之, 鎌仲裕久, 中嶋正臣 (NTT データ)
- 6 侵入検知システムにおけるシグニチャ自動生成方法の検討
○時庭康久, 原田道明, 鈴木清彦, 後沢 忍 (三菱)

学生セッション [4W 会場] (3月7日 (水) 14:30 ~ 17:00)

セキュリティ (1) 座長 大野 一広 (三菱)

- 1 送信者情報を利用した迷惑メール対策
○野原史朗, 志田晃一郎, 横山孝典 (武蔵工大)
- 2 フィッシングサイトの特徴を用いた検出手法に関する考察
○宮澤孝如, 寺田真敏, 土居範久 (中大)

- 7 (講演取消)
- 8 輻輳型 DoS 攻撃を対象にした優先制御・帯域制御方式のシミュレーション
○安齋孝志, 佐藤 直 (情報セキュリティ大)
- 9 ピュア P2P ネットワークにおける非協力ピア混入によるファイル流通制御方式
○山崎克之, 大坐畠智, 川島幸之助 (農工大)
- 10 マルチエージェント手法によるコミュニティセキュリティシステムのモデリングとその評価
○勝 将万, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)

学生セッション [5W 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ (2) 座長 大久保隆夫 (富士通研)

- 1 属性証明書を用いた認可サービスシステムの構築
○今川俊明 (東海大), 柿崎淑郎 (東海大連), 辻 秀一 (東海大)
- 2 MANET におけるストリームデータ送受信時の認証手法
○安藤和香 (お茶の水女子大)
- 3 公的個人認証を用いた統合認証方式の研究
○田島祥太, 佐々木淳, 田中 充, 山田敬三, 船生 豊 (岩手県大)
- 4 打鍵署名を利用したパスワード認証の強化について
○山村直也, ラシキア城治 (中京大)
- 5 XFW: アドレス偽造を防止したオープンスペース用ネットワークアクセスサービスの運用と評価
○福田浩章, 山本喜一 (慶大)
- 6 小規模ネットワーク向け L2VPN アプライアンス "kotori" の開発と評価
○猿橋啓夢, 平川 豊 (芝浦工大)
- 7 ネットワークプロセッサを用いた VPN の実装と評価
○黒羽秀一, 隠岐 徹, 初谷良輔, 金田健太郎, 齋藤孝道 (明大)
- 8 ユーザによる設定を可能とする Proxy 型ネットワークアクセス制御方式の提案
○関口聖美, 黒羽秀一, 初谷良輔, 齋藤孝道 (明大)
- 9 利用ネットワークのセキュリティポリシーを考慮した利便性とセキュリティに対するユーザ要求に基づく端末設定方式の提案
○松林大樹, 加藤弘一, 勅使河原可海 (創価大)
- 10 匿名データベースを利用した情報提供システムの構築
○浅田まり子, 杉野栄二, 澤本 潤 (岩手県大)

学生セッション [6W 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 17:00)

セキュリティ (3) 座長 千田 浩司 (NTT)

- 1 オイラーの公式を用いた (k,L,n) 閾値秘密分散法の提案
○武田雄人, 大場 充, 佐藤康臣 (広島市大)
- 2 ID ベース暗号の電子カルテシステムへの適用
○四ッ柳健太 (はこだて未来大)
- 3 カオス写像を用いた擬似乱数生成器の乱数性
○秋山真一 (はこだて未来大), 川村 暁 (石巻専修大), 三浦 守 (はこだて未来大)
- 4 不定回符号化に基づく JavaScript 言語の難読化についてとその評価
○小澤俊介, 新谷虎松, 大面忠親 (名工大)
- 5 (講演取消)
- 6 印刷文書を対象とした視覚認識可能な情報ハイディングの提案
○清水 賢 (金沢工大), 林 克明 (石川県工業試験場), 阿部武彦, 石井和克 (金沢工大), 上田芳弘 (石川県工業試験場), 木村春彦 (金沢大)
- 7 情報ハイディングのための組合せ符号構成法
○山本紘太郎, 岩切宗利 (防衛大)
- 8 細粒度 DB フィルタリングルールの生成システム提案
○小野雅章 (情報セキュリティ大)
- 9 (講演取消)
- 10 XOR 演算を対象にしたサイドチャネル攻撃手法の検証
○辻 洋平, 黒川恭一, 岩井啓輔 (防衛大)

デモセッション [デモ会場]

デー 02 (3月8日(木))

音楽電子透かしの携帯電話による高精度非接触抽出技術の開発

○茂出木敏雄, 千葉 誠 (大日本印刷)

第4分冊**(インタフェース)****一般セッション [4F会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)****作業支援とインタフェース 座長 三浦 元喜 (北陸先端大)**

- 多重ワークの研究 - 思考支援 -
○小村晃雅, 湯澤秀人, 松永義文 (富士ゼロックス)
- 多重ワークの研究 - 複数文書の自動表示機能の効果検証 -
○湯澤秀人, 小村晃雅, 松永義文 (富士ゼロックス)
- 生体情報を用いた作業支援手法に関する考察
○山本翔太, 林 剛史, 宮田章裕, 林 雅樹, 岡田謙一 (慶大)
- 生体情報を用いたポータブルな個人作業空間での没頭支援
○林 雅樹, 山本翔太, 宮田章裕, 林 剛史, 岡田謙一 (慶大)
- システム設計における論点の共分散構造分析
○植田和則, 田中克明, 赤石美奈, 堀 浩一 (東大)
- ユーザ入力における適正入力支援技術の提案
○藤野友也, 平井規郎, 石井 篤 (三菱)
- 読解支援にむけたテキストの図的表現手法の一提案
○藤澤弘美子 (総研大), 相原健郎 (国立情報学研)

一般セッション [5F会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)**コミュニケーションとインタフェース 座長 大谷 淳 (早大)**

- モデル検査機構によるユーザインターフェース評価システムの設計
○平石広典, 溝口文雄 (ウイズダムテック)
- 注視点移動に着目した無彩色の可読性評価
○齋藤大輔, 齋藤恵一, 齋藤正男 (電機大)
- FLVQを用いた複数短文音声の感情認識に関する一考察
○飯高智美, 齋藤正寛, 金子正人, 武内 惇, 藤本 洋 (日大)
- 錯覚した身体感覚の位置計測システムの開発
○伊与田正晃, 上杉 繁, 三輪敬之 (早大)
- 言語バリア解消を目指した音声認識医療受付対話支援システム
○宮部真衣, 吉野 孝, 西村竜一 (和歌山大)
- Shadow Communication System
一遊びツールの仮想影表現による集団間コミュニケーション支援一
○桜井大地, 三輪敬之, 長谷川昌一, 板井志郎 (早大)
- 任意のウェブページ上にコラボレーション環境を構築する手法の開発
○矢吹太郎, 辻 賢, 橋上秀平, 志村 圭, 宮本晴生, 佐久田博司 (青学大)

一般セッション [6F会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)**マルチメディアインタフェース 座長 椎尾 一郎 (お茶の水女子大)**

- 行動プライバシーを考慮した体験の検索
○志村将吾, 平野 靖, 梶田将司, 間瀬健二 (名大)
- 環境地図作成エディタの開発
○紅山史子, 守屋俊夫, 松本高斉 (日立), 若原彰伸 (日立システムアンドサービス), 藤本敬介 (電通大)
- PC上でのユーザの行動履歴に基づく映像検索システムの検討
○寺中晶都, 長田秀信, 森本正志 (NTT)
- 3Dblog システムのシステム機能の詳細と教育への応用
○西尾吉男 (金城学院大), 横井茂樹, 安田孝美 (名大)
- (2Y セッションに移動)
- 操作フィードバック音のデザイン指針導出に向けての実験
～選択操作音, 決定操作音, 取消操作音～
○和氣早苗, 小川由希子, 河内梨菜 (同志社女子大), 泉福 剛 (三菱)

一般セッション [1G会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)**CG 応用 座長 三谷 純 (筑波大)**

- 狂言を事例とした所作に伴う伝統芸術の実時間遠隔 e-Learning の研究構想
○小出由起夫, 野島伸仁 (サレジオ高専), 善竹十郎 (日本能楽会), 森 幸男, 吉野純一, ルイス マルケス, 山舘 順, 杉本文司 (サレジオ高専), 鈴木雅人 (東京高専), 市村 洋 (サレジオ高専)
- 点群データを対象とする情報変換の一手法
○西尾孝治, 中村徳裕 (阪工大), 手島裕詞 (静岡理工科大), 金谷孝之 (広島国際大), 小堀研一 (阪工大)

- GPU を用いた位相情報圧縮のための一手法
○金谷孝之 (広島国際大), 手島裕詞 (静岡理工科大), 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- インタラクティブ 3D コンテンツ作成用スクリプト言語とそのプレーヤの開発
○上村 学, 吉岡信夫 (阪工大), 大村皓一 (宝塚造形大)
- 4次元時空間の可視化による3次元運動の理解
○酒井幸仁, 橋本周司 (早大)
- 法線情報と色情報の回折格子へのマッピングによる立体表示の検討
○河合直樹, 鈴木慎一郎, 大畑拓郎 (大日本印刷)
- 仮想メゾチントによる濃淡階調表現に関する一考察
○田崎大輔 (早大), 加藤 恵 (九産大), 水野慎士 (豊橋技科大), 岡田 稔 (早大)

一般セッション [2G会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)**CG ヒューマン (2) 座長 乃万 司 (九工大)**

- 次世代超高精細度映像のための CG 映像制作環境の研究
○新垣久史, 尾形 薫, 三淵啓自 (デジタルハリウッド大)
- バーチャル眼病患者に関する研究
○黄 河, 長谷川晶一, 張 曉林 (東工大)
- 曲面のリアルタイム形状変形による CG ロボットの表情変化の実現
○保坂悠太, 杉本裕介, 西陽一郎, 加藤清敬 (東理大)
- 動的輪郭抽出手法を用いたフェイシャルキャプチャシステム
○渡邊賢悟 (東京工科大), 岡島利道 (セガ), 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 測定データに基づく人台モデルの生成手法
○戸高義隆, 西原清一, 福井幸男, 三谷 純 (筑波大)
- コンピュータマネキンを用いたストレッチ動作による筋肉伸縮部の自動表現
○梅野 譲, 福井幸男, 三谷 純, 西原清一 (筑波大)
- CG による衣服の経年劣化表現手法
○岩根良輔, 西原清一, 福井幸男, 三谷 純 (筑波大)

一般セッション [3G会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)**グループウェア 座長 井上 智雄 (筑波大)**

- ドメイン指向翻訳を備えた言語グリッドコミュニケーションツール
○重信智宏 (NICT), 藤原義功 (無所属), 村上陽平 (NICT), 吉野 孝 (和歌山大)
- 出入り口空間における鍵メタファを利用した情報閲覧システム
○杉山阿葵, 安西 悠, 高田 格, 津村弘輔, 江木啓訓, 岡田謙一 (慶大)
- ActionMessenger: 行動情報をトリガとしたメッセージングシステム
○平田敏之, 國藤 進 (北陸先端大)
- 設計支援ナレッジベーストエンジニアリングシステムの開発
○横張孝志, 野中紀彦, 西垣一郎 (日立)
- ディスカッションメディア: 会議コンテンツの構造化と効率的な閲覧システム
○友部博教, 土田貴裕, 伊藤 周, 林 亮介, 成田一生, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- VR 音声チャットシステムにおける音声情報を利用したアバタ表情制御法の提案
○宮島俊光, 藤田欣也 (農工大)

学生セッション [1X会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)**CG ヒューマン (1) 座長 折原 豊 (NHK)**

- 触覚フィードバックデバイスで仮想レオロジー物体を操作する際の課題について
○小川典久, 守野雅也, 吉田晴行, 登尾啓史 (阪電通大)
- 足部3次元点群データからの解剖学的特徴点の抽出
○樋口裕介, 高尾祐介, 福井幸男 (筑波大)
- ばねモデル自動ボディキャリブレーション手法の高速化
○橋内健浩, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 加速度センサを用いた動作データの検索に関する研究
○中島康公, 中村徳裕, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 3次元CGアニメーションデータの分類結果の可視化に関する一提案
○建部明香, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 意味的变化を考慮した可視化のためのキーフレーム選択
Logical Keyframe Extraction for Motion Data Visualization
○貝原亮太, 安田浩志, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 芯線を用いたスケルトン抽出による2Dキャラクタの自由変形法
○野中 伸, 中西悠介, 松田浩一 (岩手県大)

学生セッション [2X会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

描画と NPR レンダリング 座長 白石 路雄 (東邦大)

- 3次元アニメーションのためのセルアニメ調の陰付け手法
○大林正一, 近藤邦雄 (埼玉大), 今間俊博 (尚美学園大)
- Web 上におけるスケッチインタフェースの実装について
○森重賢二, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- HiDR: 履歴と複数の情報表現を統合したデザイン支援ツール
○金丸 裕, 伊藤祐貴, 郷健太郎 (山梨大)
- 作図ツールのためのストローク修正法
○金子悠紀, 宮村 (中村) 浩子, 齋藤隆文 (農工大)
- 視覚に基づく絵画の特徴分析と画像生成手法
○米山孝史, 近藤邦雄 (埼玉大), 藤幡正樹 (東京芸大)
- 3次元油彩画におけるテクスチャ情報の編集による立体感の表現
○佐藤圭介, 及川 進, 亀田昌志 (岩手県大)
- 計算機上での油絵の具の物性再現に関する研究
○窪田 潤, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- GPU を用いた油絵具のリアルタイムレンダリングに関する研究
○山田英樹, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 仮想ペインティングナイフを用いたインタラクティブな油彩画描画シミュレーション
○岡市直人, 今給黎隆 (東大), Henry Johan (南洋理工大), 西田友晃 (東大)

学生セッション [3X会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

分析と可視化 座長 竹島由里子 (東北大)

- Visualization of Three-dimensional Field Topology and Bifurcation
○李 偉 (筑波大)
- トポロジーグラフのマイニングによる CAD データ内の意味要素獲得に関する研究
○竹田崇志, 行天啓二, 末田直道 (大分大)
- 十二単ビューによる階層型多変数データの可視化と詳細度制御
○山澤舞子, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 階層型データ可視化手法「平安京ビュー」への時系列情報の付加表示
○橋 春帆, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 階層型時系列タスクデータの可視化の一手法
○内田悠美子, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 補助線追加によるデフォルメ地図自動生成の改善
○西口智子, 山守一徳 (三重大)
- 所要時間と利用者数による鉄道の利便性の可視化
○沖 隼, 宮村 (中村) 浩子, 齋藤隆文 (農工大)
- 音楽聴取時における脳波特性の可視化
○岸本勇作, 伊藤伸一, 宮村 (中村) 浩子, 齋藤隆文, 満倉靖恵 (農工大)
- 仮要素追加法による階層的クラスタリングの安定性の可視化
○一宮和正, 渡部秀文, 宮村 (中村) 浩子, 齋藤隆文 (農工大)

学生セッション [4X会場] (3月7日(水) 14:30～17:00)

仮想現実感 座長 國藤 進 (北陸先端大)

- 双曲面ミラーにより得られる複数枚の全方位画像を用いた施設案内シミュレーションシステムに関する検討
○星 勇次, 加藤誠巳 (上智大)
- 魚眼レンズにより取得した複数枚画像を用いた三次元空間案内システムに関する検討
○岡野千速, 加藤誠巳 (上智大)
- アニメータ自動生成ツールによるバーチャル・ガス給湯器の構築
○由井秀昌, 野口貴大, 紫合 治 (電機大), 高山利美, 金子通明, 松本二郎 (京葉ガス)
- 手の筋骨格モデルを用いた把持安定性及び操作性の評価
○渡部智之, 京田文人, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- タンパク質の立体構造に関する仮想実験環境フレームワークの構築
○川嶋信貴 (北大)
- 実物体マーカーを用いた仮想物体操作インタフェース
○四元隆宏, 米元 聡 (九産大)
- cu-again: 友達の会話に参加できる P2P インスタントメッセージャー
○石川淳一, 関戸亮介, 豊田陽一, 萩野達也 (慶大)
- CVE 支援のための VR 空間連続アーカイブの提案と構築
○小笠原弘樹, 柴田義孝 (岩手県大)
- 三次元仮想空間における Web 情報統合のためのシナリオ記述言語の開発
○柴田八穂, 徳田圭祐, 北村泰彦, 小林一樹, 長田典子 (関西学院大)

学生セッション [5X会場] (3月8日(木) 9:30～12:00)

コミュニケーション支援 座長 青木 恒 (東芝)

- プレゼンスサービスのための関与者との関係を考慮したプレゼンス情報管理モデル
○橋内雅史, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)
- 家族とのコミュニケーションを支援するビデオチャットシステム
○黄 永亮, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 学童保育を対象としたコンテンツ管理システム
○館澤千尋, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 幼稚園を対象とした子育て支援システム「インターネットおたより」
○駒込恭子, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 実世界の位置情報を用いた SNS ユーザの出会い支援システムの開発
○村上豊聡, 吉野 孝 (和歌山大)
- 映像と台本を連動させた演劇練習支援システム
○山下亮輔, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- "●"プロンプタを用いるコミュニケーションシステム
○原田宣之, 徳永幸生 (芝浦工大), LI JEN CHEN, 大谷 淳 (早大), 米村俊一 (NTT)

学生セッション [6X会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

協調作業支援 座長 岡田 謙一 (慶大)

- 赤外線照射マイクを追尾する質問者自動撮影システム
○福田正城, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 複合現実感を用いた分散会議における遠隔参加者の表現
○木内 泰, 野口康人, 井上智雄 (筑波大)
- プレゼンテーション発表時のコメント収集に焦点をあてたアノテーションシステム CollabSticky の提案
○土井健司, 井上正博, 田坂未来, 平島大志郎, 勅使河原可海 (創価大)
- 同期分散環境でのブレインストーミング法におけるアイデア配置方法の影響
○小森俊希, 羽山徹彩, 國藤 進 (北陸先端大)
- ソフトウェア開発支援用 SNS の提案
○倉俣恵祐, 山田敬三, 田中 充, 佐々木淳, 船生 豊 (岩手県大)
- カジュアルミーティングの構造化に基づく発想支援
○伊藤 周, 友部博教, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 進捗管理機能を実現したコラボレーション支援システムの設計と実装
○畑 寛之 (東理大), 平石広典 (ウズダムテック), 溝口文雄 (東理大)
- 発言者主導モデルを採用したリアルタイム次世代 CMS の開発
○岩田明典, 高丸尚教 (中部大)
- コミュニケーションを主体とした回想法 WEB システムの開発
○久保田徹 (岐阜経済大), 佐々木喜一郎 (名大), 新家 茂 (岐阜経済大)

学生セッション [1Y会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

コミュニケーションとインタフェース 座長 西村 拓一 (産総研)

- 顔の輪郭画像を用いた会話システムにおける会話特性
○古田 亨, 徳永幸生 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)
- 自動会話システムにおける会話破綻の分析
○野原雄紀, 徳永幸生 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)
- ミュージック・ビデオ視聴者の評価構造
○鎌田麻以子, 有澤 誠 (慶大)
- モザイクによる低解像度処理が既知画像の識別に及ぼす影響
○佐々木心雅, 伊藤久祥, Dicky A. Prima Oky, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 人の状態モデルに基づくコンテキストウェアアプリケーションアーキテクチャの検討
○石井那由他, 上原雄一, 森 雅智, 戸辺義人 (電機大)
- ネットワークカメラを用いた注目度計測システム
○日下大輔, 今井慈郎, 堀 幸雄 (香川大)
- 仮想空間における対エージェント認知距離の測定
○石津 拓, 北村泰彦, 小林一樹 (関西学院大)

学生セッション [2Y会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

マルチメディアインタフェース 座長 中村 聡史 (京大)

- マウスを利用した人の立ち位置検出デバイスの開発
○山木妙子, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 動的画面分割を用いた視線入力システム
○松金朗啓, 湯浅将英 (電機大), 阿部清彦 (関東学院大), 大井尚一, 大山 実 (電機大)

- 3 2本のジョイスティックを用いた日本語入力インタフェース
○小西隼人, 松浦吉祐, 郷健太郎 (山梨大)
- 4 モバイルコンピュータ用片手コントローラの開発
○高尾祐介, 樋口裕介, 福井幸男 (筑波大)
- 5 ポイントメイクを支援する電子化粧鏡の研究
○河内春奈, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 6 SyncDecor: 遠距離恋愛を支援する日用品
○辻田 眸 (お茶の水女子大),
塚田浩二 (産総研), 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 7 携帯端末を用いた個人情報入力補助システムの開発
○日野佑一, 福岡久雄 (松江高専)
- 8 医療過誤防止機能を提供する多目的オーバーベッドテーブル「SCOT」の開発
○高木丈史, 望月祐洋 (東工大)
- 9 電子地図での画面外情報視覚化技術の提案と利用評価
○福田成宏, 松浦吉祐, 郷健太郎 (山梨大)

学生セッション [3Y会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

インタフェースデザインと評価 座長 綾塚 祐二 (ソニー CSL)

- 1 Web サイトに対する3ポイントタスク分析支援システム
○山原 茂, 三浦元喜, 國藤 進 (北陸先端大)
- 2 脳波によるマウスカーソル移動の可能性の検証
○白 香蘭, 早川 茂, 大木幹雄 (日本工大)
- 3 小画面端末におけるペン入力ユーザインタフェースのユーザビリティ評価
○秋庭孝行, 岡田英彦 (京産大)
- 4 クリック座標履歴に基づくユーザビリティ評価(1)評価手法
○河井悠毅, 谷本 諒, 岡田英彦 (京産大)
- 5 クリック座標履歴に基づくユーザビリティ評価(2)適用事例
○谷本 諒, 河井悠毅, 岡田英彦 (京産大)
- 6 手書き情報入力速度の面から見たタブレット PC の評価
○森本莊平, 中村 靖 (広島工大)
- 7 CoLiDeS モデルによるレイアウトの変化に基づいた Web の評価法の提案
○浅黄雄司, 角田博保 (電通大)
- 8 円周分割文字入力方式における補正予測に関する検討
○玉手貴恵, 佐々木心雅, 伊藤久祥,
Dicky A. Prima Oky, 伊藤憲三 (岩手県大)

学生セッション [4Y会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)

感性情報と知的インタフェース 座長 三枝 亮 (早大)

- 1 視線軌跡を用いた好みの個人写真判別システム
○山下誠人 (東京工科大), 中村亮太 (慶大),
井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 2 自己の感情分析を支援する感情可視化方法の提案
○中塚哲博, 川越恭二 (立命館大)
- 3 サーモカメラを用いた情動検出に関する研究
○青柳隆真, 上田 翔 (東京工科大), 中村亮太 (慶大),
井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 4 顔面皮膚温度の変化による嗜好抽出を用いた情報推薦システム
○上田 翔, 青柳隆真 (東京工科大), 中村亮太 (慶大),
井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 5 感性会話ロボットのためのベイジアンネットワークを用いた対話者感情推定法
○趙 章植, 加藤昇平, 伊藤英則 (名工大)
- 6 Towards expressive online communication: textual affect sensing and visualization
○Alena Neviarouskaya (東大),
Helmut Prendinger (国立情報学研), 石塚 満 (東大)
- 7 クラスタ分析による顔部品形状の階層的分類と顔印象語との対応付け
○佐藤夕介, 金子正秀, 今井順一 (電通大)
- 8 危険へのアウェアネスを支援する不快なインタフェースの提案
○及川ひとみ, 村山優子 (岩手県大)
- 9 形状の変更履歴を利用した折り紙創作システム
○一戸大樹, 向井伸治 (前橋工科大), 古川 進 (山梨大),
清水誠司 (山梨県工業技術センター)

学生セッション [5Y会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

CG: 高速化と線・面 座長 大竹 豊 (理研)

- 1 GPU を用いたボリューム細分割の高速化に関する研究
○内之宮仁志, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)

- 2 分散コンピューティングを用いたマルチディスプレイの有効性の検証
○出島大樹, 太田高志 (東京工科大)
- 3 PC クラスタによる並列レンダリングの高速化に関する研究
○長塩智史, 中嶋正之, 齋藤 豪 (東工大)
- 4 平面 Class A Bezier 曲線の対話的制御
○平岩智之, 吉田典正 (日大), 齋藤隆文 (農工大)
- 5 自由曲線編集の試行錯誤のためのプリミティブベースインタフェース
○伊丹久葵, 中西悠介, 松田浩一 (岩手県大)
- 6 CG における丸め変形操作を適用した細分割曲面の生成
○野崎紘佑, 徳山喜政 (東京工芸大), 今野晃市 (岩手大)
- 7 触覚ディスプレイを用いた細分割曲面の変形方法に関する研究
○田村博之, 徳山喜政 (東京工芸大), 今野晃市 (岩手大)
- 8 3次元形状の詳細を保持したインタラクティブ変形法
○金森由博, 西田友是 (東大)
- 9 GPU による Bezier 曲面の適応的表示
○野村 晃, 吉田典正 (日大)

学生セッション [6Y会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 17:00)

反射と自然現象 座長 柿本 正憲 (日本 SGI)

- 1 視点情報を用いたラジオンシティ法の高速化
○柿澤康範, 和崎浩幸 (木更津高専)
- 2 間接照明計算に関する研究
適応的インポートランスサンプリングにおける SIR 法の適用
○石井 温 (武蔵工大)
- 3 近接光源を含むシーンのイメージベースドライティング
○古矢志帆, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 4 自己反射を考慮した鏡面反射物体の高速レンダリング
○中谷聡志, 岩崎 慶, 高木佐恵子, 吉本富士市 (和歌山大)
- 5 CG による物体破碎アニメーションとその設計
○相澤雄太, 高橋成雄, 西田友是 (東大)
- 6 (講演取消)
- 7 氷塊融解の粒子ベースビジュアルシミュレーション
○森本和範, 岩崎 慶, 高木佐恵子, 吉本富士市 (和歌山大)
- 8 曲面上におけるパーティクルベース高速流体シミュレーション
○師 芳卓, 金森由博 (東大), 岩崎 慶 (和歌山大), 西田友是 (東大)
- 9 自由表面を伴う流体シミュレーションの GPU による高速化
○松田靖広 (東大), 土橋宜典 (北大), 西田友是 (東大)

デモセッション [デモ会場]

デー 09 (3月6日(火))

- 印刷文書へのアノテーションを電子的に管理・検索するソフトウェアの開発
○秋田宣嗣, 織田英人, 小沼元輝, 伊藤禎宣, 中川正樹 (農工大)

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [4G会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)

エンタテインメントコンピューティング 座長 山下 淳 (筑波大)

- 1 家事を楽しくする「歌うキッチン」の提案
○杉野 碧 (お茶の水女子大), 塚田浩二 (産総研),
椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 2 (講演取消)
- 3 バーチャル空間を用いたグループウォーキングシステムの開発
○藤原 樹, 尾崎久実, 大久保雅史 (同志社大)
- 4 共存感を生み出す仮想空間を利用したグループウォーキングシステムの開発
○尾崎久実, 藤原 樹, 大久保雅史 (同志社大)

一般セッション [5G会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

教育支援システム(3) 座長 立田 ルミ (獨協大)

- 1 Web デザインコンテスト運営支援システムの開発
○斎藤 一, 谷川 健, 隼田尚彦, 広奥 暢,
松崎敦司, 林崎裕一, 武石和浩 (北海道情報大)
- 2 OPE プロジェクトとそのインストール CD-ROM 実装
-OSS による情報教育環境構築ツール-
○原 元司 (松江高専), 桐山和彦 (鳥羽商船高専),
山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 白濱成希 (北九州高専),
本間啓道 (奈良高専), 岡田 正 (津山高専), 白石啓一 (東京高専)

- 3 PC ユーザランド環境構築ツール (urdttools) の実証事例について
○桐山和彦 (鳥羽商船高専), 白石啓一 (詫間電波高専), 原 元司 (松江高専), 山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 本間啓道 (奈良高専), 白濱成希 (北九州高専), 岡田 正 (津山高専)
- 4 チャットと映像を組み合わせた遠隔協調学習の実験
○山下智也, 小泉寿男, 高田昭伸 (電機大)
- 5 XML によるシラバスデータベース構築と Web サービスの検討
○井田正明, 野澤孝之, 宮崎和光, 芳鐘冬樹, 渋井 進 (大学評価・学位授与機構), 喜多 一 (京大)
- 6 ピクトグラムと WordNet の連携による概念体系の理解支援システム
○松田基弘, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 7 小学校におけるロボットコンテストでの情報支援について
○熊丸憲男, 中野 明 (久留米高専)
- 一般セッション [6G 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 17:00)**
情報教育 座長 中森眞理雄 (農工大)
- 1 情報リテラシー教育における文字入力練習システムの試作と評価
○吉岡 亨, 飯倉道雄, 樺澤康夫 (日本工大)
- 2 オープンソース CMS を利用した情報処理基礎教育
○小菅貴彦 (日本電子専門学校)
- 3 高大連携による情報教育プログラム
○新田雅道 (小松短大), 山田浩司 (小松市立高等学校)
- 4 情報概念と情報リテラシーについて ○小林 仁 (鎌倉女子短大)
- 5 高校普通教科「情報」の現状と課題
- 担当教員の施行直後と現時点でのアンケート追跡調査から
○橋川 孚 (情報教育研究所), 小島正美 (東北工大), 水戸良広 (東北工大高校), 松田勝敬 (東北工大), 池田正子 (地域・大学連携機構)
- 6 教科「情報」の実態に対応した授業モデルの提案
○栢木紀哉 (鹿児島県短大), 上田千恵 (旭川荘厚生専門学院), 若林義啓 (岡山), 井原 零 (くらしき作陽大)
- 7 異なる専攻におけるグループ学習を用いた情報教育の効果の比較
○寺川佳代子 (常磐会学園大/京大), 喜多 一 (京大)
- 8 ネットワークトラバリングシミュレーション実習環境提供システムにおけるトラブルの拡充とユーザインタフェースの拡張
○立岩佑一郎, 安田孝美, 横井茂樹 (名大)
- 一般セッション [1H 会場] (3月6日(火) 10:00 ~ 12:30)**
情報システムの運用 (1) 座長 井上 明 (甲南大)
- 1 大規模タイムスタンプサービスシステムの構築事例
○佐藤雅之 (三菱)
- 2 検疫ネットワークシステム対応サイジング手法の検討
○安田晃久, 北上真二 (三菱), 手束裕司, 加藤 太, 大森敬介 (三菱電機情報ネットワーク)
- 3 私立大学の情報環境向上を目的とした実態と改善策の提示
○堀亜砂実 (法大), 横山節雄, 宮寺庸造 (東京学芸大)
- 4 自律的組織の集合体としての大学における PKI の運用
○西村 健, 佐藤周行 (東大)
- 5 業務サービスメトリックのロジスティック回帰分析に基づく運用管理モデルの提案
○大野允裕, 加藤清志, 中村暢達 (NEC)
- 6 NewsML 記事配信のためのメタ記事記述言語 KDML について
○大園忠親, 新谷虎松 (名工大), 青崎保好 (共同通信社)
- 7 NewsML に基づく記事配信システムについて
○青崎保好, 佐野 隆, 内田 強, 黒田義和 (共同通信社), 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 一般セッション [2H 会場] (3月6日(火) 15:00 ~ 17:30)**
企業情報システム 座長 市川 照久 (静岡大)
- 1 非定型業務を支援する SOA システム構成法 (NSOA) の一考察
- 業務選択を行うエージェントシステム構成法 -
○宮崎智一, 藤本 洋, 武内 惇 (日大)
- 2 非定型業務を支援する SOA システム構成法 (NSOA) の一考察
- コミュニティマッチングを用いた業務支援ソフトウェア選択法 -
○歌川裕輔, 武内 敦, 藤本 洋 (日大)
- 3 感性パラメータを持つ経営組織シミュレータの設計
○村上隆生 (岩手県大/エイエスウィンドウ), 布川博士 (岩手県大), 大谷 毅 (信州大)
- 4 郵便事業にみる情報処理技術がもたらすパラダイム変換
- 郵便番号7ケタ化のインパクト -
○大江宏子, 内田英夫 (日本郵政公社)
- 5 北海道企業における情報技術導入についての業種・規模別分析
○福永 厚 (北海学園大)
- 6 ビジネスプロセス管理技術 BAM におけるビジネスイベント収集の業務情報補完方式
○小川康志, 細川武彦, 近藤誠一, 北山泰英 (三菱)
- 7 ビジネスプロセス管理技術 業務プロセス改善におけるシミュレータの活用
○馬場昭宏, 山足光義, 細川武彦, 近藤誠一, 北山泰英 (三菱)
- 一般セッション [3H 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)**
e ラーニング (1) 座長 渡辺 博芳 (帝京大)
- 1 A Proposal on Massive Multiplayer Online M-Learning to Improve M-Learning via MMOG Technology and Instructional Design
○Mohd Firdaus Md Khalid, 亀山 渉 (早大)
- 2 フレキシブルな e ラーニング教材の開発と共有・再利用を促進する動的環境の構築に向けて ○井上 仁 (九大), 安武公一 (広島大), 多川孝央 (九大), 隅谷孝洋 (広島大)
- 3 ICT システムを利用した学習効果に関する考察
- ARCS モデルから見た学習環境・組織風土の学習効果への寄与 -
○大江宏子 (日本郵政公社), 新目真紀 (サバ・ソフトウェア)
- 4 HTTP-FUSE-KNOPPIX を基盤としたサーバソフトウェア学習環境システムの実践と評価
○佐々木喜一郎, 安田孝美, 横井茂樹 (名大)
- 5 医学用語ブレンディッド・ラーニングの評価
○小林伸行 (山陽学園大), 板谷道信 (川崎医療短大), 田中伸代 (川崎医療福祉大), David H. Waterbury (川崎医大), 名木田恵理子 (川崎医療短大)
- 6 授業と連動する e-Learning システム (ADLES-FE)
○谷口昌治, 田中千代治 (阪工大)
- 7 e-learning における SCORM 規格によるコンテンツ分散共有のためのリポジトリシステムの開発 (第2報)
- LMS と外部アプリケーションとの連携による学習管理 -
○渡辺将史, 田中文基, 小野里雅彦, 伊達宏昭 (北大)
- 一般セッション [4H 会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)**
災害情報システム 座長 神沼 靖子 (埼玉大)
- 1 RFID アクティビタグと GPS 携帯電話を利用した学童登下校通知システムの開発
○今野貴洋, 森脇康介, 小池秀樹 (NTT コムウェア)
- 2 斜面防災のためのセンサーデータ分析ツールの開発
○桐村綾子, 東 辰輔 (三菱), 島川博光 (立命館大)
- 3 ファースト・ワン・マイルを紙帳票で繋ぐ被災者支援情報収集
○久保裕也 (千葉商科大), 玉村雅敏, 木幡敬史, 金子郁容 (慶大)
- 4 端末物理移動を利用したメッセージ交換方式の検証
○南川敦宣, 森川大補, 太田慎司, 西山 智 (KDDI 研)
- 5 在宅療養患者のための災害時支援システムの開発
○幸村陽子, 榎本紗耶香, 吉野 孝 (和歌山大), 紀平為子, 入江真行 (和歌山県医大)
- 6 アスペクト指向なスクリプト言語を使ったプラント監視制御フレームワーク
○中川晃一 (三菱)
- 7 プラント建設への RFID 応用技術
○羽鳥文雄, 江崎伸一 (日立プラントテクノロジー)
- 一般セッション [5H 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)**
情報システムと社会 座長 山口 高平 (慶大)
- 1 セブエ町におけるブロードバンド化促進のための調査研究会の成果について
○富樫 敦 (宮城大), 総務省東北総合通信局, 宮城県セブエ町
- 2 生活リズム分析による在宅高齢者の生活状況の把握
○塚本吉俊, 奈須野雅明 (富山県工業技術センター), 池谷 薫, 谷川 徹 (立山システム研究所), 森 武俊 (東大)
- 3 人権擁護法案を乗り越える技術 ○井出 明 (近畿大)
- 4 電子マーケットにおける多様な仲介者が存在する際の交渉手法について
○松尾徳朗 (山形大)
- 5 世帯のネットオークション利用意向と不安に関する分析
○小原 宏, 大江宏子 (日本郵政公社)

- 6 多品種少量の農作物生産に対応した大阪版トレーサビリティ支援システムの開発
○新田 仁, 竹田裕紀 (大阪府立産総研)
- 7 遺伝的アルゴリズムを適用した都市ごみ収集作業に関する履歴を基にした人員配置計画策定支援手法に関する研究
○内海秀樹 (京大), 保倉修一 (富士通エフ・アイ・ピー)

一般セッション [6H会場] (3月8日(木) 14:30～17:00)

情報システムの運用 (2) 座長 清水 則之 (名桜大)

- 1 葉書コールバックによる認証の零細企業への応用
○宮原隆行 (上武大)
- 2 XML/Web サービスを利用した分散福祉情報共有システム
○服部 哲, 田畑邦晃 (神奈川工科大)
- 3 学術情報メディアセンターにおけるタスク処理手法の新たな試み
○藤本竜之介 (熊本県大), 長谷川忍, 國藤 進 (北陸先端大)
- 4 科学技術計算のための統合プラットフォームの開発
○松澤邦裕, 小池秀輝, 大須賀弘, 大家 史 (アドバンスソフト)
- 5 非同期リモートコピーにおける書き込み遅延時間監視方式
○江丸裕教, 矢川雄一, 三井小吾, 原 純一, 木原健一 (日立)
- 6 オープン、メインフレームホスト間に通信制約のある混在環境における統合ストレージ管理方式の提案
○山崎謙太, 池ヶ谷直子, 松井義典 (日立)
- 7 デザスタリカバリにおける運用設計の簡略化に向けた検討
○丸山直子, 古橋亮慈, 田口雄一, 山本政行, 兼田泰典 (日立)

一般セッション [1J会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

教育システム (1) 座長 布施 泉 (北大)

- 1 拡張オーバレイモデルに基づく CAI システム
- 教材へのカテゴリ付与支援システムの提案 -
○織田和基, 金子真也, 上之蘭和宏, 古宮誠一 (芝浦工大)
- 2 RPG ツクール XP による日本語学習教材の実装
○佐合尚子, 伊藤 淳, 竹田尚彦 (愛知教育大)
- 3 シラバス内の専門用語間の関連に基づくカリキュラム構造可視化手法の検討
○野澤孝之, 渋井 進, 芳鐘冬樹, 井田正明, 宮崎和光 (大学評価・学位授与機構), 喜多 一 (京大)
- 4 理工系学生の論理的文書作成支援を目的とした論文可視化システム
○松本章代 (静岡大/東京高専), 鈴木雅人 (東京高専), 市村 洋 (サレジオ高専)
- 5 Web コミュニケーションサービスの授業支援への活用事例
○中島玲子 (法大)
- 6 学習履歴情報と AHP を活用した学習者管理 ○宮崎佳典 (静岡大)
- 7 コース管理システムを用いたオンライン定期試験手法
--- 複数の CMS における動作検証 ---
○古川文人, 渡辺博芳, 佐々木茂, 及川芳恵, 高井久美子, 武井恵雄 (帝京大)

一般セッション [2J会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

教育システム (2) 座長 奥村 晴彦 (三重大)

- 1 センサー情報を用いた音楽指導場面における幼児の行動分析手法の提案
○新谷公朗 (常磐会短大), 橋詰和範, 金岩伸悟, 金田重郎 (同志社大)
- 2 薬剤師向け教育システムの開発
○鍋田啓太, 木村昌臣, 大倉典子 (芝浦工大), 土屋文人 (東京医歯大)
- 3 作問学習支援環境における線分図表示機能の開発とその検証
○中野 明, 三宅宏裕 (久留米高専), 平嶋 宗 (広島大), 竹内 章 (九工大)
- 4 資格試験対策教育支援システムの開発 ○榎本守伸 (別府大)
- 5 ライブ授業配信システム研修用シミュレーション型 WBT 教材の開発
○渡部瑞代, 山田悠香未, 松永信介 (東京工科大), 中田康宏, はが弘明 (デジタル・ナレッジ)
- 6 Web 情報を活用した環境調和型エネルギーシステム教材の開発 (2)
○安江正治, 松田健志 (宮城教育大)
- 7 プログラミング入門教育における授業のマッチングの分析
○土肥紳一, 宮川 治, 今野紀子 (電機大)

一般セッション [3J会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

バイオと医療のインフォマティクス 座長 坂内 英夫 (九大)

- 1 発現定量データを用いた判別分析によるデータマイニング支援システム
○谷 正浩, 井上悦子, 吉廣卓哉, 中川 優 (和歌山大)
- 2 (講演取消)
- 3 テキストマイニング手法を用いた医薬品投薬ヒヤリハット事例の解析
○早坂敏治, 木村昌臣, 大倉典子 (芝浦工大), 土屋文人 (東京医歯大)
- 4 二次元電気泳動画像を対象とした前処理に関する一考察
○林 孝哉 (山口短大), 坂本和史, 浜本義彦, 中村和行, 岡 正朗 (山口大)
- 5 ブランド牛 (飛騨牛) の品質向上のための肉質データベースシステムの構築
○山本直樹, 井上悦子, 吉廣卓哉, 中川 優 (和歌山大), 小林直彦 (岐阜県畜産研究所), 永井宏平, 池上春香 (わかやま産業振興財団), 松本和也 (近畿大), 川路英哉 (NTT ソフトウェア)
- 6 メタデータ照合型ネットワーク解析システム MANACO を用いた医療情報通信観測手法の提案
○堀井 洋, 林 正治, 権 仁洙, 吉田武稔 (北陸先端大)

学生セッション [1Z会場] (3月6日(火) 10:00～12:30)

教育支援システム (1) 座長 石田 厚子 (日立コンサルティング)

- 1 プログラミング初学者のための学習支援システムにおける記述問題判定方法の提案
○井田泰平, 菊地優太, 小野智義, 荒井正之 (帝京大)
- 2 (講演取消)
- 3 拡張可能な診断項目記述を用いた多視点からのプログラム診断システム
○高野佑一 (信州大)
- 4 ナレッジマネジメントを応用したプログラミング演習支援システム
○倉俣恵祐 (岩手県大), 菊池幸吉 (岩手県宮古短大)
- 5 Web ページへのアノテーション付けによる学習支援システムの開発
○辻 賢, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 6 高校生を対象としたシステム基盤構築を通じた実践的 IT 教育の試み
○一田陽平, 石崎隆大, 中島 潤 (北海道情報大)
- 7 紙と電子情報を併用した講義のための個人情報保護手法
○松本圭介, 山下亮輔, 上林憲行, 市村 哲 (東京工科大)
- 8 ネットワーク監視・制御技術を用いた PC 上における試験環境を構築するシステムの設計と実装
○望月順一, 天野直紀 (東京工科大)
- 9 (6G セッションに移動)

学生セッション [2Z会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

教育支援システム (2) 座長 福村 好美 (長岡技科大)

- 1 ノートテイキングにおける手書きとワープロの質的な差に関する検討 (1)
- 模擬講義における観察記録に基づく考察 -
○白坂龍平, 前田 諒, 大山典子, 中野雄貴, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)
- 2 ノートテイキングにおける手書きとワープロの質的な差に関する検討 (2)
- ビジュアル情報と文字情報の記述方法の差異をめぐって -
○上野賢太郎, 宮口武門, 綱脇美栄香, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)
- 3 伝統舞踊における視線可視化による姿勢修正
○峯村 惇, 高橋智也, 松田浩一 (岩手県大)
- 4 柔軟な観察項目の構成が可能な幼児の発達記録支援システムの構築
○山本真吾 (同志社大), 新谷公朗, 糠野亜紀 (常磐会短大), 原 勇嗣, 岸田 剛, 芳賀博英 (同志社大)
- 5 図法幾何学演習課題の自動生成配信システム
○斎藤広美, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 6 オンライン講義受講に適したテキスト入力支援システム
○小高正道, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 7 筆跡を用いた学習者状態推定システムに関する基礎研究
○笠野孝志, 平野 靖, 梶田将司, 間瀬健二 (名大)
- 8 タンジブルユーザインタフェースによる算数の教材
○佐伯徳秀, 片山滋友 (日本工大)
- 9 視線を利用した技能継承支援システムの設計と開発
○海江田洋平, 長松 隆, 鎌原淳三, 嶋田博行 (神戸大)

学生セッション [3Z 会場] (3月7日 (水) 9:30 ~ 12:00)

エンタテインメントコンピューティング (ゲーム・ネットワーク・音楽)
座長 倉本 到 (京都市工科大)

- 1 ゲーム開発のための3Dグラフィックス仕様検討支援システム
○新聞信之, 宮岡伸一郎 (東京工科大), 山路和紀 (プレミアムエージェンシー)
- 2 P2PMMOGにおける遅延を考慮した Zone Federation Model の検討
○三尋木織, 十川 基, 石井那由他, 戸辺義人 (電機大)
- 3 P2P 対戦型オンラインゲームにおける不正抑制手法の提案
○伊藤 晋, 十川 基, 齊藤裕樹, 戸辺義人 (電機大)
- 4 AR ユーザインタフェースのカードゲームへの応用
○慈光寺善仲, 岡田英彦 (京産大)
- 5 AR ユーザインタフェースを用いた外国語文書閲読支援システム
○松本星之, 岡田英彦 (京産大)
- 6 短期行事期間に適した PUSH 型会計管理システムの開発
○昆野亜香里, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊 (岩手県大)
- 7 ギタリストの演奏テクニックを視覚化し表現力を向上させる電子楽譜
○築山裕司, 井上亮文, 市村 哲 (東京工科大)
- 8 e-gakki: 描画情報を音に変換するシステム
○葛西信也, 後藤幸功, 村山優子 (岩手県大)
- 9 音楽聴取時の脳活動計測
-Minimal Music と非 Minimal Music との比較 -
○森 悠太, 片寄晴弘, 風井浩志 (関西学院大)

学生セッション [4Z 会場] (3月7日 (水) 14:30 ~ 17:00)

エンタテインメントコンピューティング (ストーリーテリング)
座長 松永 賢次 (専修大)

- 1 ユーザインタラクションに基づく物語の動的自動生成
○中田克繁, 大沢英一 (はこだて未来大)
- 2 (講演取消)
- 3 (講演取消)
- 4 (講演取消)
- 5 物語生成システムにおける自動撮影シミュレーションの基礎的検討
○沼田真克, 小方 孝 (岩手県大)
- 6 ストーリーとブランドの関係に着目した広告分析知識を利用した
広告シナリオ自動生成システム ○吉尾貴史, 小方 孝 (岩手県大)
- 7 現代小説における物語構造分析手法の検討
○金子沙織, 内田彩子, 藤井瑤子, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 8 映像作品構造分析における数量化手法の検討
○重久礼美, 木田小百合, 高田明典 (フェリス女学院大)
- 9 子供向け娯楽制作物の訴求構造の分析
○田澤佑妃, 大木智代, 福島知子, 高田明典 (フェリス女学院大)

学生セッション [5Z 会場] (3月8日 (木) 9:30 ~ 12:00)

eラーニング (2) 座長 井上 仁 (九大)

- 1 (講演取消)
- 2 エージェントによる学習支援を試みる適応型eラーニングシステムの実証
開発 ○上野春毅, 庄司慶市, 丸田和弘, 小松川浩 (千歳科技大)
- 3 eラーニングにおける適応的な教授法に基づく学習支援システムの提案
○小笠原有正, 斎藤 一, 齋藤健司, 前田 隆 (北海道情報大)
- 4 天文教育におけるマルチプラットフォーム向けオンライン星座図鑑の
設計と開発 ○近藤真由 (名大), 浦 正広, 遠藤 守 (中京大),
岩崎公弥子 (金城学院大), 毛利勝廣, 野田 学 (名古屋市科学館),
安田孝美, 横井茂樹 (名大)
- 5 eポートフォリオ型協調学習システムへの学習支援ツールの導入と評価
○小林正和 (千歳科技大), 杉山康彦 (日立), 小松川浩 (千歳科技大)
- 6 セマンティック Web に基づく適応的な教材検索とリコメンデーション
機能 ○中村佳祐, 齋藤健司, 斎藤 一, 前田 隆 (北海道情報大)
- 7 ネットワークを用いたペン習字学習支援システム
○伊藤あをい, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 8 Web サービスを用いた学習支援型学生ポータルシステムの開発と評価
○佐藤 秀, 加藤祐介, 山川広人 (千歳科技大),
杉山秀則 (メディア教育開発センター), 小松川浩 (千歳科技大)
- 9 汎用性の高い SCORM コンテンツオーサリングツールの開発
○山本 稔, 齋藤健司, 斎藤 一, 前田 隆 (北海道情報大)

学生セッション [6Z 会場] (3月8日 (木) 14:30 ~ 17:00)

eラーニング (3) 座長 小松川 浩 (千歳科技大)

- 1 コンピュータアーキテクチャ学習のための CPU シミュレータの開発
○高野光一郎, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- 2 学生が作成した問題の完成度の向上を促進するグループレビューの
ナビゲーション機能の開発
○星野大輔, 高木正則, 勅使河原可海 (創価大)
- 3 (講演取消)
- 4 プロクター制度に基づく情報システム演習のための進捗管理システムの
開発
○砂森浩二, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大), 鈴木克明 (熊本大)
- 5 教育支援システムにおけるコンテンツ推薦に関する研究
○松澤俊典, 高橋泰樹, 山口未来, 和田雄次, 土肥紳一 (電機大)
- 6 小学生向け安全防犯対策のための参加型eラーニング教材の開発
○久保古史, 清澤健一郎, 稲葉竹俊 (東京工科大)
- 7 e-Learning による学習支援システム
○土屋嘉宏, 伊興田光宏, 前川仁孝 (千葉工大)
- 8 子供向け金融経済eラーニング教材の開発と実践
○神田祐佳, 坂本友里, 稲葉竹俊, 松永信介 (東京工科大),
鈴木陽彦 (りそな銀行)
- 9 院内学級でのeラーニング導入の試み
○馬場絢子 (東京工科大), 中村仁美 (アド井上),
吉川ますみ (富士インフォックス・ネット), 松永信介 (東京工科大)

学生セッション [1ZA 会場] (3月6日 (火) 10:00 ~ 12:30)

情報システムと組織・社会 座長 桑原 悟 (新潟国際情報大)

- 1 The Feasibility Study of E-Business Readiness and its Potentials in Malaysia
○Rina Azlin Abdul Rahman, 野地 保, 平山 守, 武 金萍 (東海大)
- 2 (4E セッションに移動)
- 3 コールセンターにおける最適要員スケジューリング作成法
○後藤拓磨 (東京工科大)
- 4 データマイニングと OR の手法を用いた売上情報分析システムの構築
○奥津元靖, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- 5 適応的広告の為の公共空間における複数人の関係推定
○中島由子 (筑波大)
- 6 科学技術政策を対象とした技術予測調査文書の計量的分析
○山田智子, 富樫 敦 (宮城大),
藤井章博 (文部科学省科学技術政策研究所)
- 7 out-degree 分布を用いた Web 利用構造の分析
○石原直幸, 三上喜貴, 中平勝子 (長岡技科大)
- 8 デジタルデバйдの評価指標としてのジニ係数の有効性
○上嶋智大, 三上喜貴, 中平勝子 (長岡技科大)
- 9 公的活動におけるナレッジマネジメントの応用
○岡田美江, 中平勝子, 福村好美 (長岡技科大)

学生セッション [2ZA 会場] (3月6日 (火) 15:00 ~ 17:30)

情報システムと人間社会 座長 鎌田真由美 (日本 IBM)

- 1 コンテキスト・ウェア技術を用いた適応的なサービス提供システムに
関する研究 ○中瀬良和, 相場 亮 (芝浦工大)
- 2 SNS と連携した地域通貨システムの提案
○安政雄一朗, 多田優也, 島津拓典, 藤岡陽介 (東海大),
柿崎淑郎 (東海大連), 小林 隆, 辻 秀一 (東海大)
- 3 疲労改善におけるアドバイス情報を提供するシステムの提案
○Rina Azlin Abdul Rahman, 野地 保, 山崎央紀 (東海大)
- 4 学校給食における食育・地産地消サポートシステムの研究
○古川恵理奈, 佐々木淳, 田中 充, 山田敬三, 船生 豊 (岩手県大)
- 5 GIS を用いた育児生活支援情報提供システムの構築
○三田村唯, 佐々木淳, 田中 充, 山田敬三, 船生 豊 (岩手県大)
- 6 位置情報を考慮した看護業務の分析・可視化
○木下 紋 (奈良女子大/ATR), 納谷 太, 大村 廉,
小作浩美, 小暮 潔 (ATR), 城 和貴 (奈良女子大)
- 7 RFID タグを用いた高齢者向けナビゲートシステム
○松本賢志郎 (阪工大)
- 8 RFID を用いた展覧の記憶の想起支援
○神谷尚保, 月江伸弘, 松永俊雄 (東京工科大)

学生セッション [3ZA 会場] (3月7日(水) 9:30 ~ 12:00)

災害・情報通信システム 座長 野田五十樹(産総研)

- リアルタイム防災システムのためのワイヤレスホームネットワーク
○原山恭輔, 平井裕二, 山口 成, 井上雅裕(芝浦工大)
- 事例ベース推論を用いた震災意識向上システム
○山本知彦, 仲谷善雄(立命館大)
- 気球ワイヤレスネットワークの災害情報システムへの応用
○中井優志, 佐藤洋介, 柴田義孝(岩手県大), 榎原一也(ネクストコム)
- 分散環境を考慮した大規模災害情報共有システムの構築と評価
○越後博之(岩手県大), 湯瀬裕昭(静岡県大), 沢野伸浩(星稜女子短大), 干川剛史(大妻女子大), 高畑一夫(埼玉工大), 柴田義孝(岩手県大)
- 電子国土を用いた災害情報提供システム
○松村 豊, 柴田義孝(岩手県大), 沢野伸浩(星稜女子短大)
- NewsMLのためのメタデータ付加支援機構の提案
○高橋 潤, 大園忠親, 新谷虎松(名工大)
- メタ記事記述言語 KXML における記事リンク整合性管理機構の試作
○伊藤正都, 児玉政幸, 大園忠親, 新谷虎松(名工大), 黒田義和, 青崎保好(共同通信社)
- メタ記事記述言語 KXML における NewsML 記事の価値情報の記述について
○児玉政幸, 伊藤正都, 大園忠親, 新谷虎松(名工大), 内田 強, 青崎保好(共同通信社)
- Web-GIS を用いた道路管理システム「京都道守くん」の開発
○古畑貴志, 吉澤憲治(同志社大), 小野孝司(京都府山城広域振興局), 寺田守正(京都府中丹広域振興局), 吉田和正, 矢野高一, 中村喜輝, 佐野嘉紀(同志社大), 井上 明(甲南大), 金田重朗(同志社大)

学生セッション [4ZA 会場] (3月7日(水) 14:30 ~ 17:00)

情報システムとインタラクション 座長 大場みち子(日立)

- パッシブ型 RFID を用いた UD 観光情報システムの開発
○前本虎太郎, 佐藤 歩, 田中雄二, 大平恵理, 米田信之, 市川 尚, 狩野 徹, 阿部昭博(岩手県大)
- パッシブ型 RFID を用いた UD 観光情報システムの評価
○佐藤 歩, 前本虎太郎, 田中雄二, 大平恵理, 米田信之, 市川 尚, 狩野 徹, 阿部昭博(岩手県大)
- パッシブ型 RFID を活用した文化財学習支援に関する考察
○田中雄二, 前本虎太郎, 佐藤 歩, 大平恵理, 米田信之, 市川 尚, 狩野 徹, 阿部昭博(岩手県大)
- 画像閲覧システムによる博物館資料画像の閲覧箇所の評価法の検討
○早野浩章, 徳永幸生(芝浦工大), 安達文夫(国立歴史民俗博物館)
- (講演取消)
- 木簡解読支援のための情報処理システムの実現
○戸根康隆, 末代誠仁, 中川正樹(農工大), 馬場 基, 渡邊晃宏(文化財研究所奈良文化財研究所)
- 音楽による緊張緩和を目的とした医療支援システムの提案
○渡部容子, 野地 保, 平山 守(東海大)
- 色情報を活用したコーディネートサポートシステムの提案
○高 穎, 野地 保, 則座和陽(東海大)
- 感情による音楽のプレイリスト作成システムの提案
○Rina Azlin Abdul Rahman, 野地 保, ジャルワン プティカルコット, 平山 守, 内田一哉(東海大)

学生セッション [5ZA 会場] (3月8日(木) 9:30 ~ 12:00)

情報システムの実例 座長 菊島 靖弘(アイネス)

- 異機種システム間における連携の柔軟性に関する研究
○韓 斌, 森本喜一郎, 松家英雄(産能大)
- 列車単位のダイヤ情報管理のためのオブジェクト指向モデルの提案
○岩崎勇典, 中尾和夫(阪工大)
- 農産物産地直売所における入荷計画立案支援システムの開発
○立柳賢恵, 半澤幸恵, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政(岩手県大)
- ICT を活用した農水産物の価値を向上させる試み
○中野 誠, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊(岩手県大)

- ブランド形成を対象とした水産物トレーサビリティシステムの開発
○香西一人, 三上貞芳, 長野 章(はこだて未来大), 桑原伸司(北日本港湾コンサルタント), 嶋海日出人(日本データサービス), 若林隆司(アルファ水工コンサルタンツ)
- ホームネットワークを用いた消費生活用製品のリコール支援システム
○大野裕将, 真田将幸, 塩谷隆人, 伊藤胤人, 井上雅裕(芝浦工大)
- ディレクトリ構造に基づくインターフェースから検索インターフェースへの移行における情報管理の変容
~ Google デスクトップ検索と Gmail を対象としたケーススタディ ~
○坂田真莉, 森岡亜沙子, 上林憲行(東京工大)
- 電子メールアドレス・ヘッダ部分の国際化に対応するクライアントソフトの実装
○長島 徹, 伊藤一成, Martin J. Duerst(青学大)
- Web ブラウザに基づくオフラインに対応した記事エディタの試作
○深萱裕二郎, 大園忠親, 新谷虎松(名工大), 佐野 隆, 青崎保好(共同通信社)

学生セッション [6ZA 会場] (3月8日(木) 14:30 ~ 17:00)

教育システム(4) 座長 辰己 丈夫(農工大)

- 類似記事の関連付けを用いた学習教材の制作支援に関する研究
○熊本真也, 中村健二, 田中成典, 池辺正典, 吉村智史(関西大)
- 発想法を用いた分散同期型協調学習に対する学習効果
○高木広明, 小泉寿男, 高田昭伸(電機大)
- ソーシャルタギングによるグループ学習システムの提案
○志賀靖子(筑波大)
- 履修科目の文脈に基づく履修計画スケジューリングシステム
○瀧本正志, 堀 幸雄, 今井慈郎(香川大)
- 大教室講義における個別フィードバックを支援する複合的なメディアを活用した教育サービス - サービス設計と運用方法 -
○小山内直樹, 神林博幸, 長井康訓, 上林憲行, 市村 哲, 山下亮輔(東京工大), 田丸恵理子, 三浦 均(富士ゼロックス)
- 大教室講義における個別フィードバックを支援する複合的なメディアを活用した教育サービス ~ フィールド実験 ~
○神林博幸, 小山内直樹, 長井康訓, 上林憲行, 山下亮輔, 市村 哲(東京工大), 田丸恵理子, 三浦 均(富士ゼロックス)
- 大教室講義における個別フィードバックを支援する複合的なメディアを活用する教育サービス - ヒューマンエラーの分析とサービスの進化 -
○長井康訓, 小山内直樹, 神林博幸, 上林憲行, 市村 哲, 山下亮輔(東京工大), 田丸恵理子, 三浦 均(富士ゼロックス)

学生セッション [1ZB 会場] (3月6日(火) 10:00 ~ 12:30)

医療システム・インフォマティクス 座長 清水 佳奈(産総研)

- 携帯電話を利用した予防接種情報提供システムの評価
○柳町 浩, 佐々木晃, 宇土沢直哉, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和(岩手県大)
- 地理情報を考慮した、過疎地域向け診療予約システム
○金谷彰博, 高山 毅(岩手県大), 石木幹人(岩手県立高田病院), 村田嘉利(岩手県大), 池田哲夫(静岡県大), 志田 健(岩手県大)
- 医療の情報公開における信頼性の検討
○渡部容子, 野地 保, 池本聡也(東海大)
- PDA を用いた同期・非同期対応型在宅医療従事者間情報共有システムの開発
○榎本紗耶香, 幸村陽子, 吉野 孝(和歌山大), 紀平為子, 入江真行(和歌山県医大)
- 利用継続性を考慮した在宅健康管理支援システムの構築
○岩崎佑香, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊(岩手県大)
- HomeDentalClinic- 患者中心の歯科用電子カルテ -
○津村美絵, 金入千夏子, 小館亮之(津田塾大)
- 栄養士による食事指導支援システムの構築
○浜田優子, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊(岩手県大)
- 運動継続支援システムの提案
○堀米 論, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊(岩手県大)
- 失調症患者映像の数値評価のための基礎的検討
○佐藤優太, 高橋智也, 松田浩一(岩手県大)

学生セッション [2ZB 会場] (3月6日(火) 15:00～17:30)

バイオインフォマティクス 座長 加納 真 (日本IBM)

- 1 (講演取消)
- 2 ギブスサンプリングを用いた可変長頻出配列パターンの抽出
○加藤智之, 森 康真, 荒木康太郎, 黒木 進, 北上 始 (広島市大)
- 3 最小汎化された曖昧な頻出配列パターンの抽出
○荒木康太郎, 田村慶一, 加藤智之, 黒木 進, 北上 始 (広島市大)
- 4 確率ネットワークを用いた相同タンパク質検索ツール
○吉原久雄, 賀屋秀隆, 松井藤五郎, 朽津和幸, 大和田勇人 (東理大)
- 5 ベイジアンネットワークを用いた遺伝子制御ネットワークの推定
○島田公敬, 相場 亮 (芝浦工大)
- 6 遺伝子群の共通機能に着目した GO 表示の研究
○水谷枝理子, 瀬々 潤 (お茶の水女子大)
- 7 モデル植物購買履歴に基づく遺伝子選択支援システム
○佐藤貴命, 賀屋秀隆, 松井藤五郎, 朽津和幸, 大和田勇人 (東理大)
- 8 バイオインフォマティクス解析における Web サービス統合利用のためのメタサービスの提案
○小野圭亮, 松田秀雄, 竹中要一 (阪大)
- 9 Healthy Life Project: 次世代 Web 技術による疾病予防システムの構築
○鈴木智充, 西城英之, 湯本純也 (宮城大),
板橋吾一 (サイエンティア / 仙台応用情報学研),
村上隆生 (ASWINDOW / 岩手県大),
山田智子 (宮城大 / 仙台応用情報学研), 只浦寛子, 吉田俊子,
富樫 敦 (宮城大), 野口正一 (仙台応用情報学研)

学生セッション [3ZB 会場] (3月7日(水) 9:30～12:00)

教育システム (3) 座長 小山 博史 (ガリレオ)

- 1 Web ページでの質疑応答学習支援システムの開発
○志村 圭, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 2 学習者の興味関心分野の例文を用いた英単語学習システム
○保坂貴子, 青柳龍也 (津田塾大)
- 3 スポーツを事例とした感情情報共有のための遠隔実時間教育システムの設計と開発
○木下貴志, 細田祥平 (東京高専), 谷沢智史 (電通大),
松本章代, 鈴木雅人 (東京高専), 市村 洋 (サレジオ高専)
- 4 聴覚障害児の授業支援のための HMD による音声認識結果提示システムの設計
○徳田浩一, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 5 デジタル環境アーカイブシステムの構築
○横山 純 (長岡技科大)
- 6 新分野を学習する為の専門用語支援システムの改善と報告
○深山鷹一, 水澤純一, 野村 亮, 福山 光, 武田洋和 (青学大)
- 7 授業資料作成支援システムの構築: 構造化データから実資料への変換
○羽根昭裕, 藤澤公也 (東京工科大)
- 8 授業資料作成支援システムの構築: 素材データ蓄積及び授業内容構造化
○柴田ちひろ, 千葉華子, 藤澤公也 (東京工科大)
- 9 組込みシステム学習環境「港」における3次元ロボットシミュレータの開発
○幸坂 晋, 川口貴弘, 早川栄一 (拓大)

デモセッション [デモ会場]

デー05 (3月6日(火))

ホモロジー解析のためのアミノ酸配列視覚化手法の提案
○斎藤大輔, 齊藤康彦 (北海道情報大)

デー07 (3月6日(火), 3月7日(水), 3月8日(木))

OSS による情報教育環境構築
-OPE インストール CD-ROM によるシステム構築の実際-
○原 元司 (松江高専), 桐山和彦 (鳥羽商船高専),
山本喜一 (OpenEdu プロジェクト), 白濱成希 (北九州高専),
本間啓道 (奈良高専), 岡田 正 (津山高専), 白石啓一 (東京高専)

デー08 (3月6日(火))

電子ボード上での板書を検索可能な e-learning コンテンツにするシステム
○久保賢太郎, 織田英人, 末代誠仁, 塚原 渉, 中川正樹 (農工大)

デー11 (3月6日(火))

言語グリッドを用いた医療用例対訳の収集
○岩部正明 (京大), 田淵裕章 (関西学院大), 村上陽平 (NICT),
重野亜久里 (多文化共生センター・きょうと), 石田 亨 (京大),
北村泰彦 (関西学院大), 河原達也 (京大),
吉野 孝 (和歌山大), 津村 宏 (東京医療保健大)

第69回全国大会委員名簿

第69回全国大会組織委員会

委員長 旭 寛治(日立テクニカルコミュニケーションズ)
副委員長 阿草 清滋(名大)
委員 青山 幹雄(南山大), 石田 亨(京大), 笈 捷彦(早大), 富田 悦次(電通大), 萩原 兼一(阪大), 橋田 浩一(産総研),
平川 秀樹(東芝), 平田 圭二(NTT), 前田 章(日立)

第69回全国大会プログラム委員会

委員長 笈 捷彦(早大)
委員 阿草 清滋(名大), 石田 亨(京大), 市瀬龍太郎(国立情報学研), 井手 一郎(名大), 片岡 欣夫(東芝), 杉本 雅則(東大),
酢山 明弘(東芝), 中島 達夫(早大), 平田 富夫(名大), 村瀬 一郎(三菱総研), 元木 光雄(北陸先端大),
森中 康弘(松下電器), 屋代 智之(千葉工大), 山崎 竹視(富士ゼロックス)

第69回全国大会現地実行委員会

委員長 中島 達夫(早大)
委員 石川 広男(早大), 市川 祐輔(早大), 片岡 正樹(早大), 菅谷みどり(早大), 鄭 顕志(早大), 徳永 英治(早大),
引地 謙治(早大), 藤波 香織(早大), 和田 康孝(早大)

第69回全国大会プログラム編成WG

委員長 笈 捷彦(早大)
委員 安東 孝二(東大), 飯塚 史之(富士通研), 板倉 憲一(海洋研究開発機構), 井手 一郎(名大), 上田 浩(群馬大),
上田 清志(NTT), 上原 貴夫(東京工大), 梅谷 俊治(電通大), 岡田 稔(早大), 加藤 恒夫(KDDI研),
木下 俊之(東京工大), 久保田浩司(NTT-AT), 蔵田 武志(産総研), 倉橋 節也(筑波大), 小池 賢一(三菱),
近藤 正章(東大), 塩野入 理(NTT), 地引 昌弘(NEC), 渋谷 哲朗(東大), 鈴木 健嗣(筑波大), 高木 真一(早大),
高汐 一紀(慶大), 田村 直良(横浜国大), 千田 浩司(NTT), 寺田 努(阪大), 戸田 真志(ほこだて未来大),
中島 一彰(NEC), 中野美由紀(東大), 中平 勝子(長岡技科大), 中山 泰一(電通大), 西村 拓一(産総研),
新田 祐介(ルネサステクノロジ), 長谷川晶一(東工大), 藤野 信次(富士通研), 松永 賢次(専修大), 森 辰則(横浜国大),
鷺崎 弘宜(国立情報学研)

第69回全国大会 イベント企画

- 特別セッション(1)：安全・安心を保障する組込みソフトウェアに向けて
中島 達夫(早大), 片岡 欣夫(東芝)
- 特別セッション(2)：情報爆発時代における理論と実際
井手 一郎(名大), 元木 光雄(北陸先端大)
- 特別セッション(3)：真に社会的受容をもたらすイノベーションの創出へむけて —新しいユーザー像と提供価値—
山崎 竹視(富士ゼロックス)
- 特別セッション(4)：産学連携によるIT人材の育成
市瀬龍太郎(国立情報学研), 平田 富夫(名大)
- 特別セッション(5)：文部科学省先導的ITスペシャリスト人材育成推進プログラム
西尾章治郎(阪大), 井上 克郎(阪大), 石田 亨(京大)
- シンポジウム(1)：情報専門学科カリキュラムJ07—その骨子
駒谷 昇一(NTTソフトウェア)
- シンポジウム(2)：5周年を迎えたJABEE認定制度：現状分析と今後の展望
掛下 哲郎(佐賀大), 情報処理教育委員会, アクレディテーション委員会
- シンポジウム(3)：情報家電ネットワーク：技術とサービス —ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は?—
発田 弘(沖電気), 小島 富彦(情報処理相互運用技術協会)
- シンポジウム(4)："Competitive Learning(競合学習)"を進めよう
笈 捷彦(早大), 繁富 利恵(産総研)

今大会では、早稲田大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。